

江田島市公共施設白書

平成 25 年 3 月

江 田 島 市

江田島市公共施設白書

～目次～

第1章 序論 -----	1
第1節 公共施設白書作成の背景と目的	2
第2節 公共施設白書の位置づけと作成の視点	3
1 公共施設白書の位置づけ	3
2 白書の作成における調査・検討の視点	4
第3節 白書で取り上げる公共施設	5
第2章 江田島市の概況 -----	7
第1節 位置と交通条件	8
第2節 歴史的条件	9
第3節 自然的条件	10
1 地形	10
2 気候	11
第4節 人口	12
1 人口の推移	12
2 年齢別人口構成・地区別人口	13
第5節 財政	15
第6節 行政組織	18
1 行政組織	18
2 職員数	19
第7節 将来の都市構造	20
第3章 公共施設の現状 -----	23
第1節 公共施設の全体的な状況	24
1 公共施設（建物）の概要	24
2 建物の建築年次	26
3 施設用途（機能）別の状況	31
4 運営管理経費の状況	32
5 公共施設の配置	34
第2節 用途別公共施設の状況	41
1 市民文化系施設（集会施設）	41
2 社会教育系施設	48
3 スポーツ・レクリエーション系施設	50
4 産業系施設	52
5 学校教育系施設	53
6 子育て支援施設	56
7 保健・福祉施設	59
8 行政系施設	61
9 その他	65

第3節 公共施設の現状のまとめ	67
第4章 公共施設が抱える課題 -----	69
第1節 江田島市の公共施設が抱える課題の設定	70
第2節 江田島市の公共施設が抱える課題	71
資料 江田島市における公共施設の利用状況・住民意識アンケート調査結果概要 -----	73

第1章 序論

第1節 公共施設白書作成の背景と目的

江田島市は、平成16(2004)年11月に江田島町、能美町、沖美町及び大柿町が合併し、市として歩み始めることになりました。

合併前を含めこれまで江田島市では、市民ニーズを踏まえながら、公民館や集会所、小中学校、図書館、スポーツ・レクリエーション施設、幼稚園、保育園、産業系施設、庁舎など、様々な公共施設を整備し、運営管理をしてきています。

こうした施設の中には、建築後、相当の年数が経過したもの、耐震性が基準に達していないもの、設備が現在のニーズに合わなくなったもの、合併による施設の重複や偏在など、数々の問題・課題を抱えているものも少なくありません。また、国勢調査でみると昭和60(1985)年までは、人口が4万人を超えていましたが、平成22(2010)年には27,031人まで減少し、この面からも公共施設を取り巻く環境は大きく変化しています。さらに、市民のライフスタイルやニーズの多様化なども加わり、施設を利用する人が少なくなっているもの、本来の機能が十分発揮できていないものもみられます。

これら公共施設をこのまま維持していくなれば、経年劣化による維持・修繕費の増加、築30年程度が経過した場合の大規模改修、さらには建替え等の検討も必要になってきます。また、人口減少や少子高齢化に伴う人口構成の変化によって、公共施設の利用やニーズの変化も想定されます。

加えて、今後とも、厳しい財政状況が続くことが予測される中で、現在ある公共施設をそのまま維持することは不可能な状況です。

このため、限られた予算と人員を有効に活用し、市民サービスを提供していくためには、公共施設の今後のあり方についても、学識経験者等の専門的な意見を踏まえながら、市民や市議会と江田島市が一体となって、協議・検討していく必要があります。

本白書は、そうした協議・検討を進めるための基礎資料として作成するものです。

第2節 公共施設白書の位置づけと作成の視点

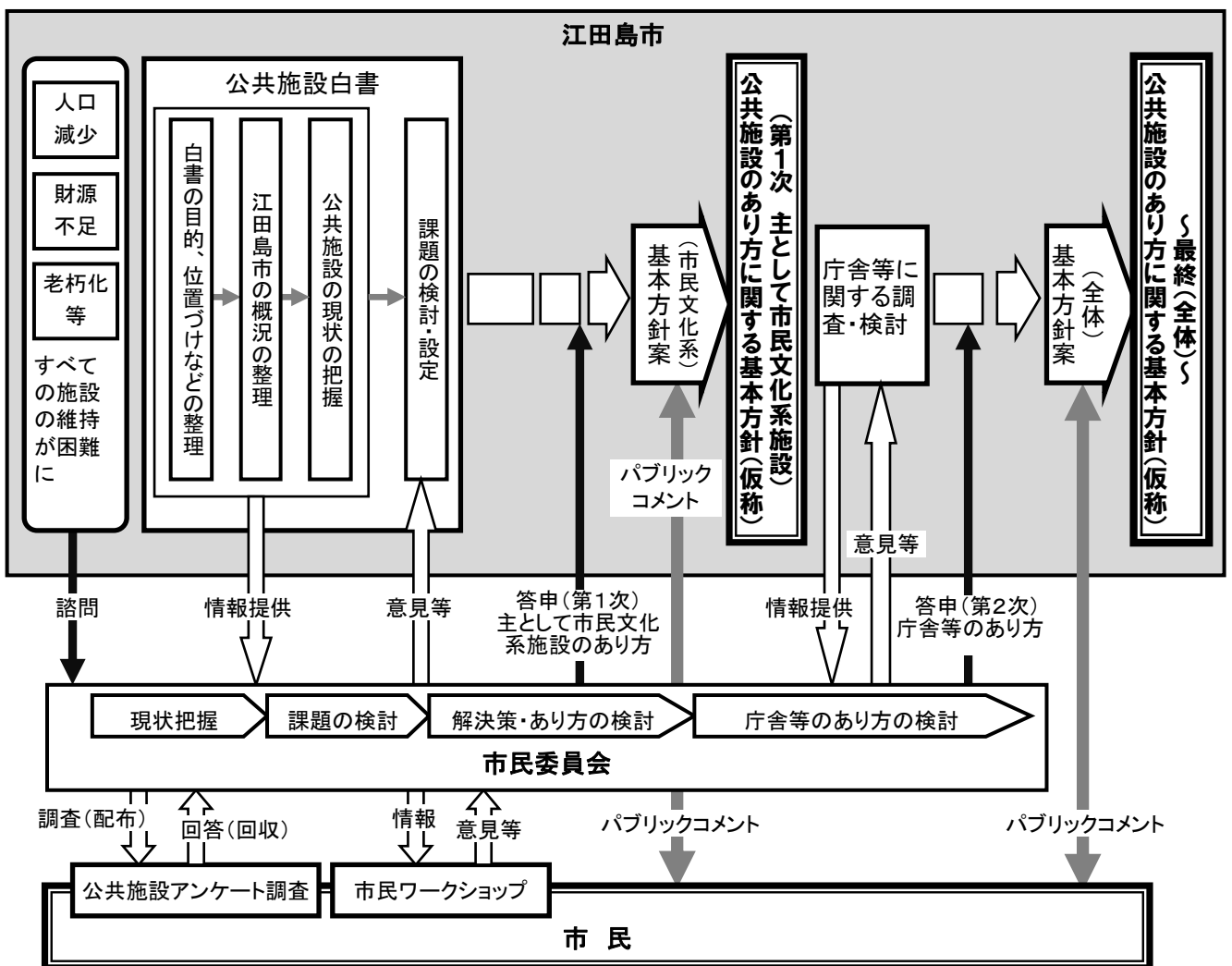
1 公共施設白書の位置づけ

江田島市公共施設白書は、公共施設の現状と課題を明らかにし、今後の公共施設のあり方を協議・検討するための基礎資料とするものですが、作成に当たっては、そのプロセスでの情報を「公共施設のあり方市民委員会」（以下「市民委員会」といいます。）に提示するとともに、市民委員会の意見を踏まえながら、まとめました。また、「江田島市における公共施設の利用状況・住民意識アンケート」（以下「公共施設アンケート調査」といいます。）や市民ワークショップを実施し、その結果を課題等に反映させています。

市民委員会は、この白書や公共施設アンケート調査、第2次江田島市行財政改革実施計画（平成22～26年度）、公共施設見直しの基本方針、未利用財産利活用基本方針などを踏まえ、市長から諮問があった「庁舎をはじめとする公共施設のあり方」を調査・審議し、答申します。

江田島市は、この答申に基づき、全市的かつ総合的視点から「公共施設のあり方に関する基本方針（仮称）」を策定し、公共施設の適正管理及び有効活用に努めます。

図1-1 白書の位置づけと作成における調査・検討の視点とプロセス



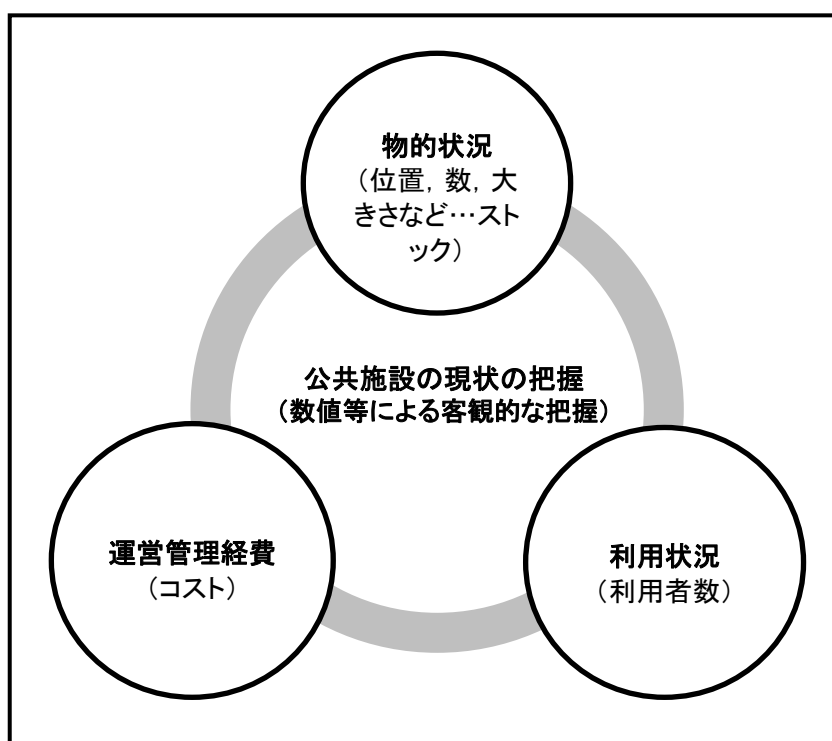
2 白書の作成における調査・検討の視点

江田島市公共施設白書の作成においては、まず、公共施設の現状を把握する必要があります。

その視点としては、位置、数、大きさ、建築時期など、公共施設そのものの物的状況、運営管理経費、利用状況の観点から、数値データ・地図データによる客観的な把握を行います。

さらに、公共施設アンケート調査や市民ワークショップによる市民意識・意見や市民委員会の意見を加味し、公共施設の特性と問題点を整理するとともに、公共施設が抱える課題を設定します。

図1-2 公共施設白書の作成における調査・検討の視点



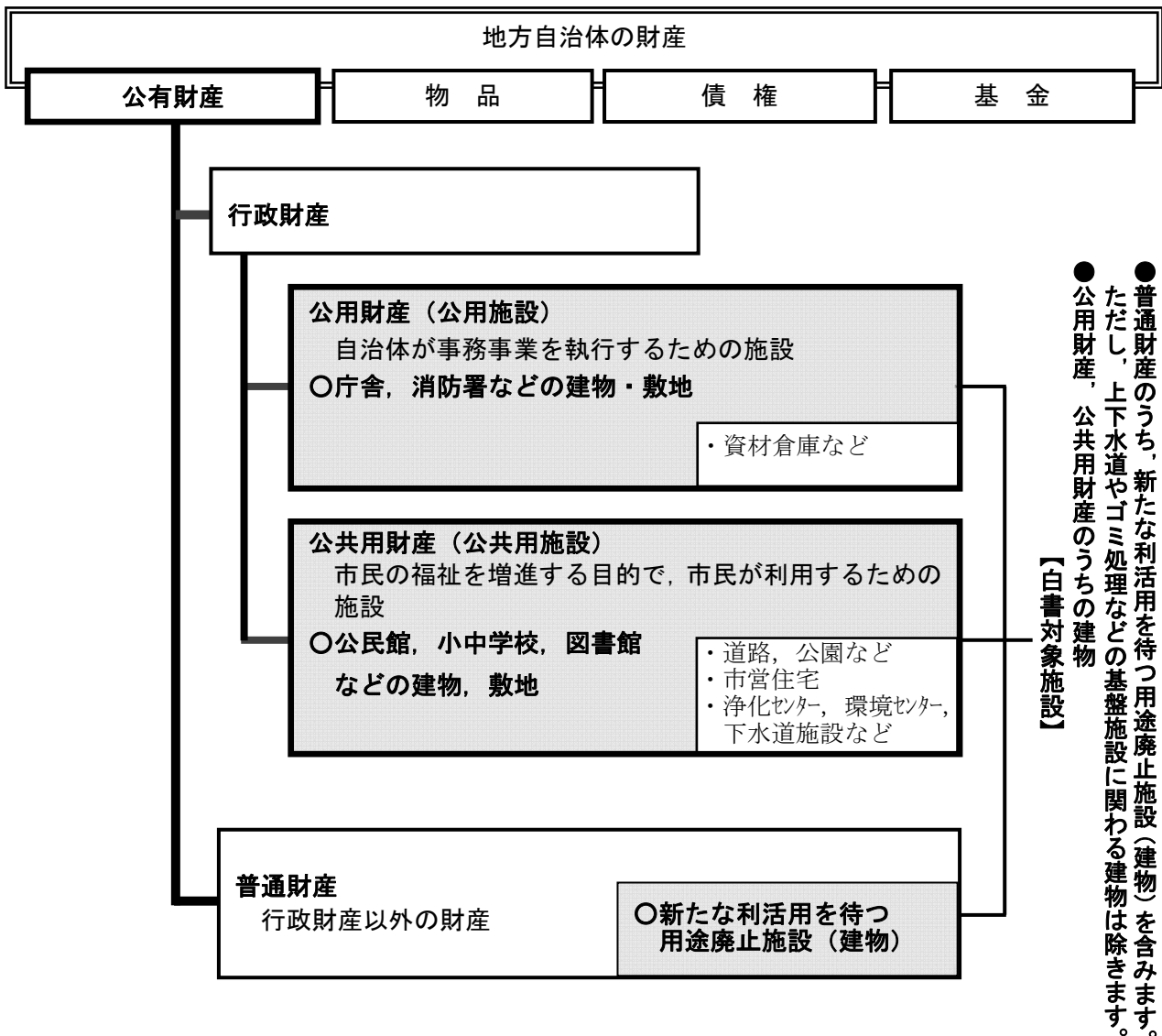
第3節 白書で取り上げる公共施設

江田島市公共施設白書において対象とする施設（以下「白書対象施設」といいます。）は、市民の福祉を増進する目的で、市民が利用するための建物（公共用施設）または庁舎等（公用施設）の建物で、上下水道やゴミ処理などの基盤施設に関わる建物は除きます。なお、新たな利活用を待つ、用途廃止施設（旧学校等）を含みます。

表1-1 白書で取り上げる公共施設（白書対象施設）の施設用途分類

施設大分類	中分類	江田島市における施設例
市民文化系施設	集会施設	・コミュニティホーム ・公民館 ・集会所 ・隣保館 ・ふれあいセンター
社会教育系施設	図書館	・図書館
	博物館等	・学びの館 ・さとうみ科学館 ・記念郷土館
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	・体育館（学校屋内運動場を除く） ・スポーツセンター ・武道館
	レクリエーション施設・観光施設	・ふるさと交流館 ・国民宿舎 ・シーサイド温泉
産業系施設		・水産振興センター ・産品開発センター
学校教育系施設	学校	・小学校 ・中学校
	その他教育施設	・給食調理場
子育て支援施設	幼稚園・保育園	・幼稚園 ・保育園
	幼児・児童施設	・児童館 ・子育て支援センター ・放課後児童クラブ
保健・福祉施設	高齢福祉施設	・老人福祉センター ・福祉センター
	保健施設	・保健センター
行政系施設	庁舎等	・市庁舎 ・支所，出張所
	消防施設	・消防本部・消防署 ・出張所・消防屯所
その他		・教職員住宅 ・用途廃止施設（旧学校等）

図 1-3 参考：公共施設の地方自治法における位置づけと白書対象施設



<地方自治法>

第 237 条 この法律において「財産」とは、公有財産、物品及び債権並びに基金をいう。

第 238 条 この法律において「公有財産」とは、普通地方公共団体の所有に属する財産のうち次に掲げるもの（基金に属するものを除く。）をいう。

- 一 不動産
 - 二 船舶、浮標、浮棧橋及び浮ドック並びに航空機
 - 三 前二号に掲げる不動産及び動産の従物
 - 四 地上権、地役権、鉱業権その他これらに準ずる権利
 - 五 特許権、著作権、商標権、実用新案権その他これらに準ずる権利
 - 六 株式、社債（特別の法律により設立された法人の発行する債券に表示されるべき権利を含み、短期社債等を除く。）、地方債及び国債その他これらに準ずる権利
 - 七 出資による権利
 - 八 財産の信託の受益権
- (2：省略)

3 公有財産は、これを行政財産と普通財産とに分類する。

4 行政財産とは、普通地方公共団体において公用又は公共用に供し、又は供することと決定した財産をいい、普通財産とは、行政財産以外の一切の公有財産をいう。

第2章 江田島市の概況

第2節 歴史的條件

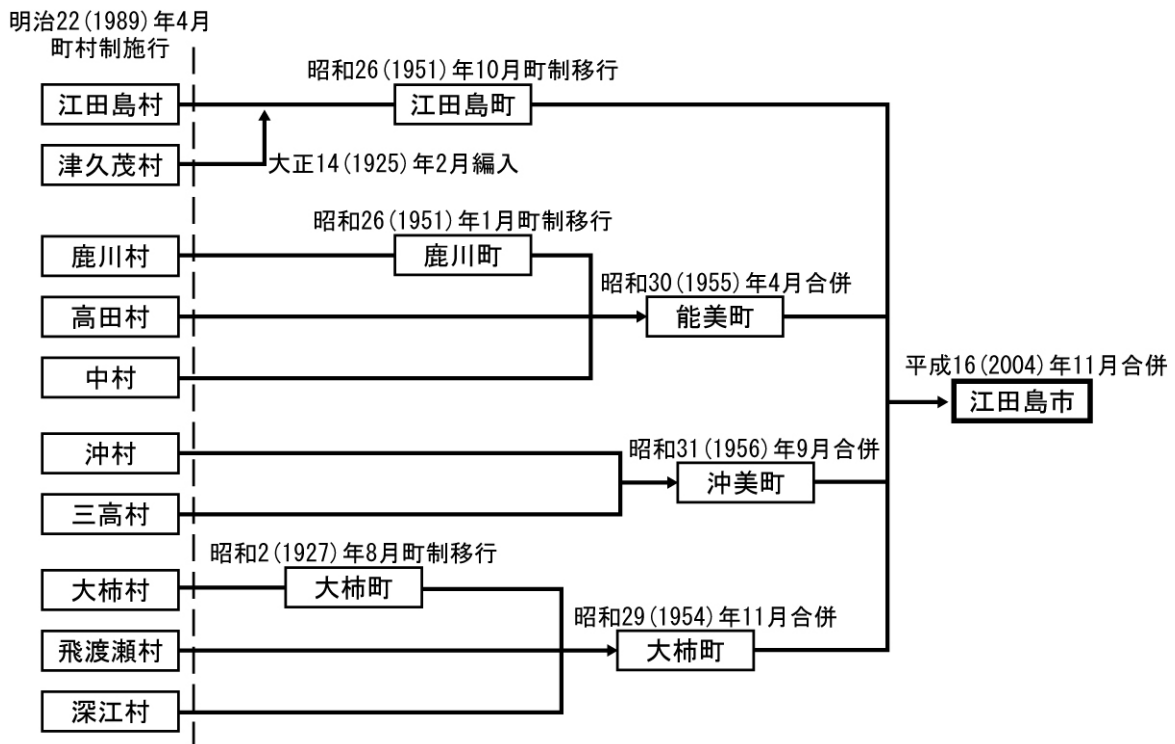
江田島、能美島には、先史時代から人々が定住し、主として漁業や農業を営み、古代、中世、近世へと暮らしと文化を積み重ね、引き継ぎながら、地域を形づくってきたと考えられます。

このような地域に明治21(1888)年、海軍兵学校が東京・築地から移転してきました。それから昭和20(1945)年の終戦に至るまで、海軍将校揺籃の島として広く知られ、昭和31(1956)年からは海上自衛隊第1術科学校などの自衛隊施設が立地しています。また、昭和42(1967)年には国立江田島青年の家(現：江田島青少年交流の家)が設置され、昭和48(1973)年には早瀬大橋が完成するなど、広域的な拠点機能や交流条件を高めながら、今日の江田島市が築かれています。

江田島市の沿革をみると、海軍兵学校の移転した明治21(1888)年には16の村がありました。

それが翌年に行われたいわゆる明治の大合併で10の村となり、さらに編入や合併、町制施行を行い、昭和26(1951)年に江田島町、昭和29(1954)年に大柿町、昭和30(1955)年に能美町、昭和31(1956)年に沖美町が誕生しました。そして、平成16(2004)年11月1日、これら4町が合併し、江田島市としてスタートしています。

図2-2 江田島市の沿革



※揺籃(ようらん)…ゆりかご。転じて、物事の発展の初期の段階。

第3節 自然的条件

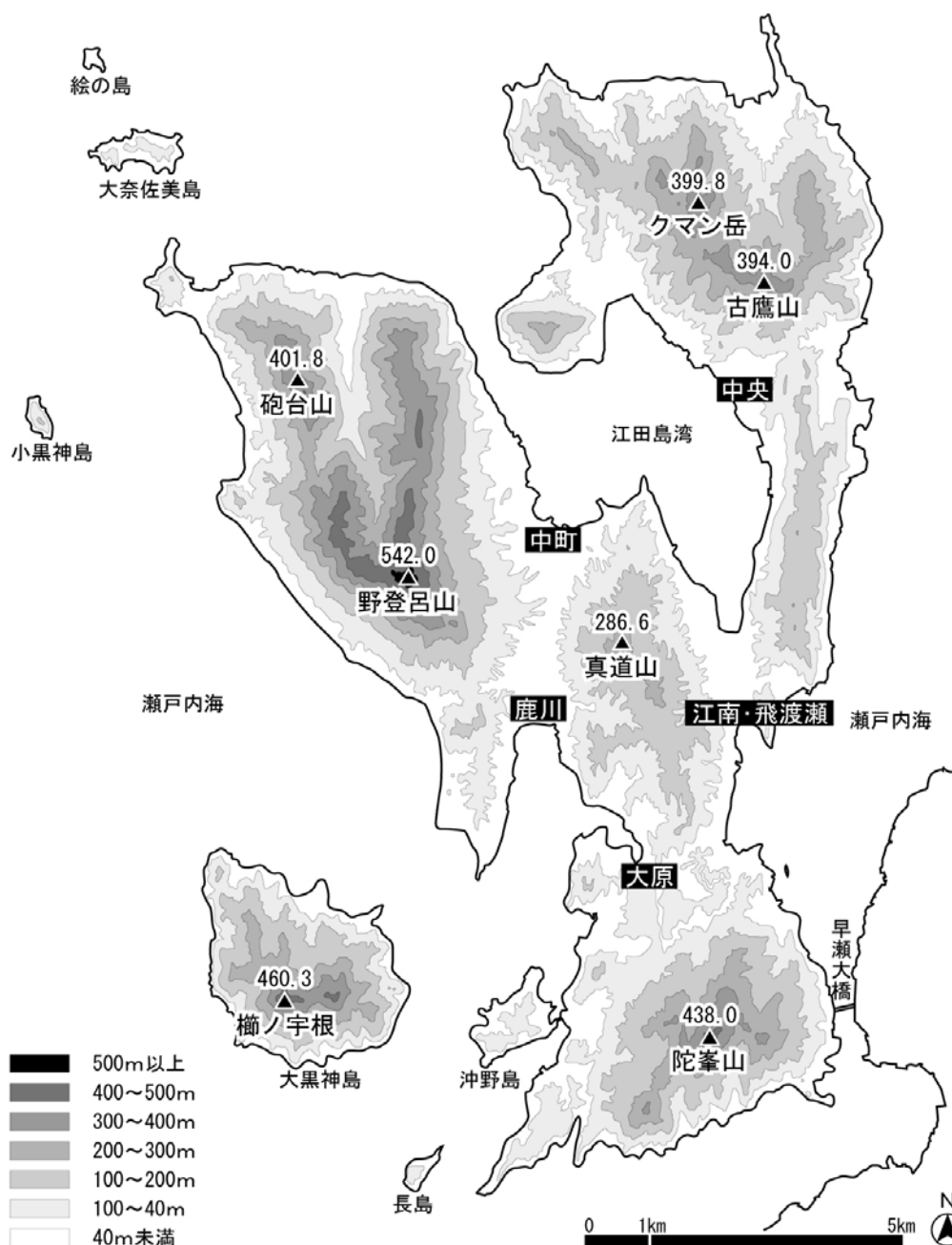
1 地形

江田島市は、広島湾の南に位置する島であり、変化に富んだ海岸線や平地、丘陵地、山地などの多様な地形条件となっています。

このうち、野登呂山(542.0m)、陀峯山(438.0m)、砲台山(401.8m)、クマン岳(399.8m)、古鷹山(394.0m)、真道山(286.6m)などを中心とした山地部や、その山麓付近の丘陵地が面積の多くを占めています。

その中で、まとまった平地は、江田島町の中央、江田島町と大柿町の境界付近の江南・飛渡瀬、能美町の中町・鹿川、大柿町の大原などに広がっています。

図2-3 地形条件

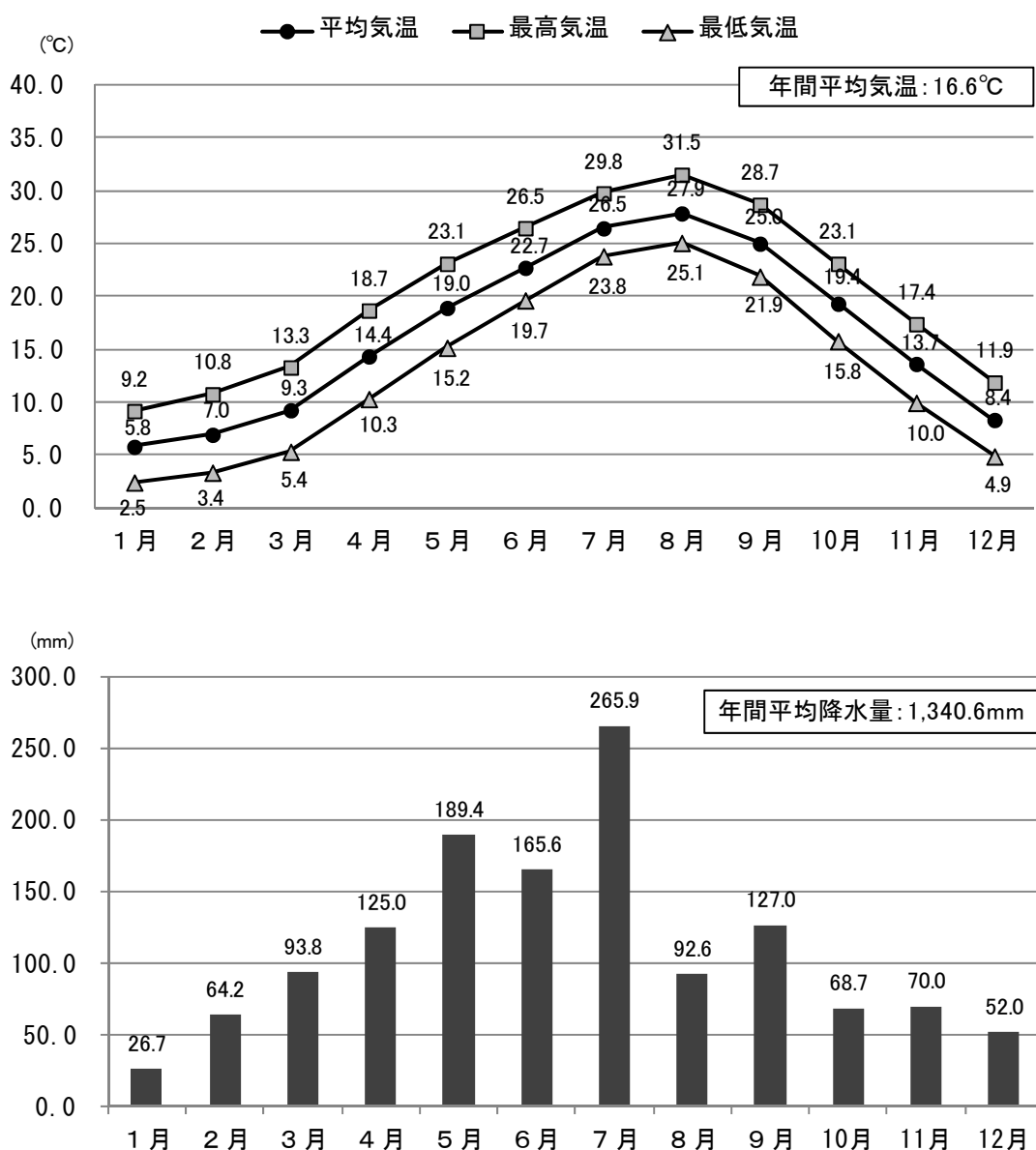


2 気候

江田島市は、瀬戸内の穏やかな気候にはぐくまれており、年平均気温は16.6℃と暖かくなっています。また、平成23(2011)年の最高気温(極値)は8月に34.0℃を記録しているほか、6～9月において30℃を超えています。一方、平成23(2011)年の最低気温(極値)は1月に-3.9℃となっており、これは過去10年間で最も低い値となっています。

平均年間降水量は1,340.6mmと比較的小雨となっています。

図2-4 江田島市の気温と降水量



資料：気象庁ホームページ（平成14年～平成23年の10年間の平均値）

第4節 人口

1 人口の推移

江田島市の人口は、平成22(2010)年において27,031人となっており、平成17(2005)年に比べて9.7%の減少となり、減少率が大きくなる傾向にあります。

また、国勢調査による人口の推移をみると、戦後の昭和22(1947)年臨時国勢調査における63,560人がピークとなっており、以降は減少傾向にあり、町別にみても全市と同様の傾向にあります。

また、1世帯当たりの人員は、核家族化や単身者の増加で減少を続けており、平成22(2010)年において2.36人/世帯まで低下しています。

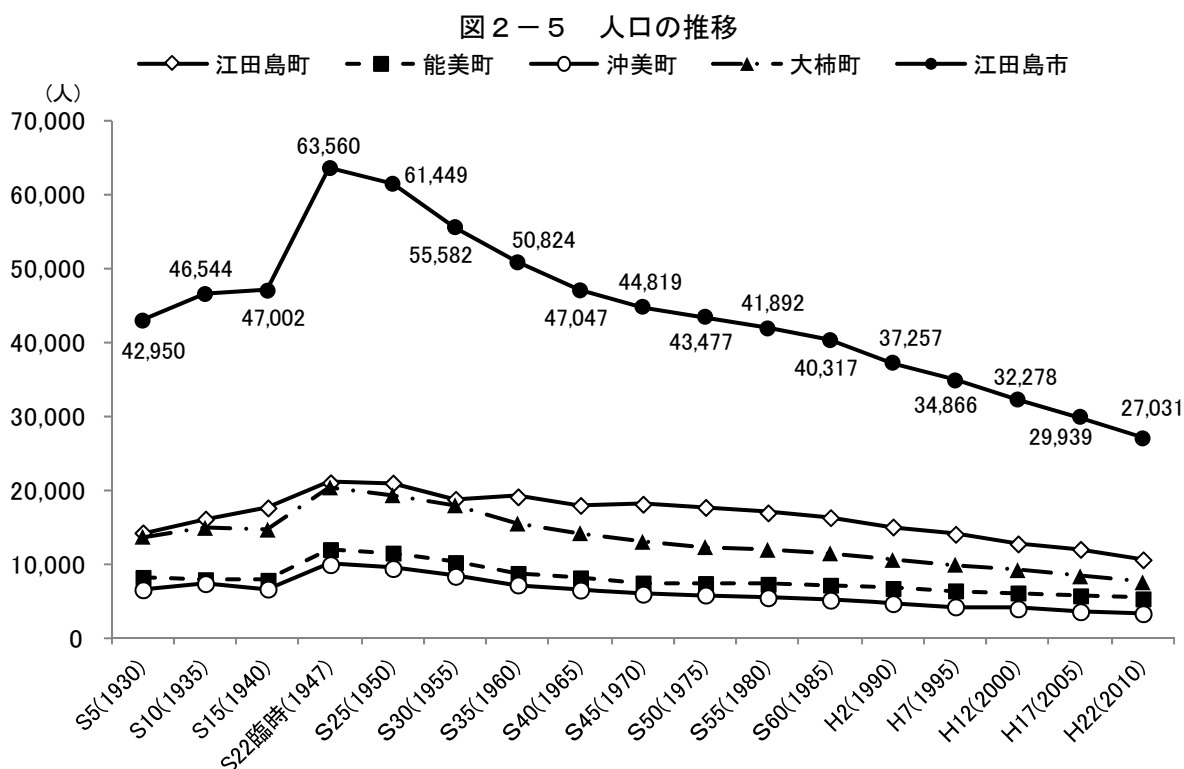


表2-1 人口等の推移 (各年10月1日現在)

区分	人口			世帯数	1世帯当たり人員	人口増加率 (%)
	総数	男	女			
昭和 35(1960)年	50,824	25,061	25,763	12,441	4.09	—
昭和 40(1965)年	47,047	22,919	24,128	12,514	3.76	-7.4
昭和 45(1970)年	44,819	21,936	22,883	12,733	3.52	-4.7
昭和 50(1975)年	43,477	21,415	22,062	13,090	3.32	-3.0
昭和 55(1980)年	41,892	20,475	21,417	13,194	3.18	-3.6
昭和 60(1985)年	40,317	19,767	20,550	13,339	3.02	-3.8
平成 2(1990)年	37,257	18,106	19,151	13,058	2.85	-7.6
平成 7(1995)年	34,866	16,893	17,973	12,936	2.70	-6.4
平成 12(2000)年	32,278	15,717	16,561	12,613	2.56	-7.4
平成 17(2005)年	29,939	14,734	15,205	12,038	2.49	-7.2
平成 22(2010)年	27,031	13,272	13,759	11,451	2.36	-9.7

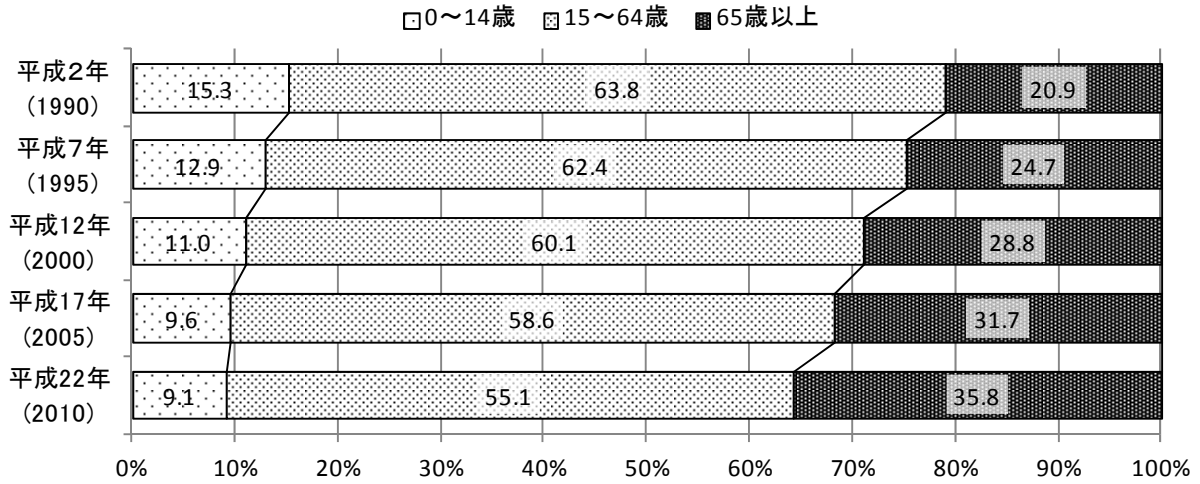
※人口増減率は国勢調査間(5年間)

資料: 国勢調査

2 年齢別人口構成・地区別人口

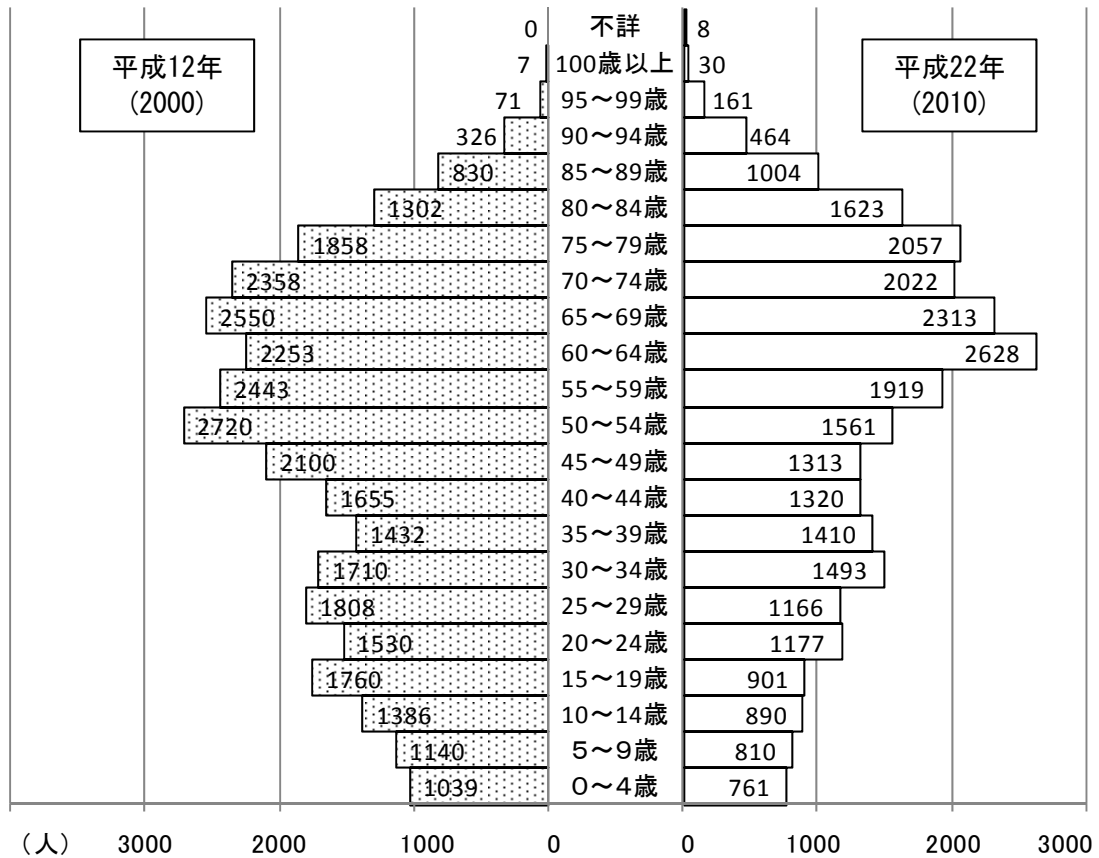
江田島市の人口を年齢3区分別にみると、0～14歳、15～64歳の割合が減少し続けており、65歳以上人口の割合は平成22(2010)年において35.8%と高い割合（広島県：23.9%）となっています。

図2-6 江田島市の年齢3区分別人口構成の推移



資料：国勢調査

図2-7 江田島市の5歳階級別人口の比較



資料：国勢調査

表 2-2 江田島市の地区別人口及び分布率

町名等	分布率	人口 総数	人口		世帯数	1世帯当たり の人数
			男	女		
江田島町	36.0%	9,640	4,719	4,921	4,843	2.0
中央	5.8%	1,546	699	847	732	2.1
鷺部	3.9%	1,038	556	482	543	1.9
江南	2.4%	647	319	328	296	2.2
秋月	2.1%	573	253	320	289	2.0
小用	5.9%	1,582	725	857	793	2.0
切串	7.2%	1,930	907	1,023	902	2.1
幸ノ浦	0.3%	78	36	42	36	2.2
大須	1.0%	260	114	146	122	2.1
津久茂	2.5%	671	348	323	281	2.4
宮ノ原	3.4%	911	403	508	449	2.0
第一術科学学校等	1.5%	404	359	45	400	1.0
能美町	20.7%	5,543	2,624	2,919	2,561	2.2
鹿川	8.3%	2,210	1,055	1,155	1,001	2.2
中町	7.8%	2,087	994	1,093	958	2.2
高田	4.7%	1,246	575	671	602	2.1
沖美町	12.8%	3,421	1,606	1,815	1,707	2.0
岡大王	1.9%	521	232	289	288	1.8
畑	1.1%	295	146	149	158	1.9
是長	2.1%	574	263	311	304	1.9
三吉	4.4%	1,172	554	618	554	2.1
高祖	1.9%	498	245	253	217	2.3
美能	1.3%	361	166	195	186	1.9
大柿町	28.8%	7,697	3,685	4,012	3,676	2.1
深江	3.1%	817	366	451	423	1.9
大原	8.9%	2,388	1,133	1,255	1,088	2.2
小古江	1.9%	515	259	256	244	2.1
大君	3.4%	909	431	478	449	2.0
柿浦	6.2%	1,659	823	836	802	2.1
飛渡瀬	5.3%	1,409	673	736	670	2.1
住基外外国人	1.7%	443	242	201	346	1.3
合計	100.0%	26,744	12,876	13,868	13,133	2.0

資料：住民基本台帳（平成24(2012)年3月末現在）

第5節 財政

江田島市の財政は、平成23(2011)年度(決算)において、歳入は157.5億円、歳出は148.4億円となっています。

歳入の内訳は、地方交付税が全体の44.1%を占め、次いで市民税が17.9%、国・県支出金が14.2%などとなっています。

歳出については、人件費が24.2%、公債費が13.8%、扶助費が10.7%、投資的経費が9.7%などとなっています。

また、歳入の推移をみると、合併した翌年度にあたる平成17(2005)年度には193.1億円となっていました。その翌年度から平成23(2011)年度にかけては、140億円から170億円の間で推移しています。

歳出についても、総額は歳入と同様の傾向ですが、投資的経費が平成23(2011)年度は14.4億円で、平成17(2005)年度などの半額程度となっています。

平成23(2011)年度に策定した「江田島市財政計画」における今後の収支見通しでは、平成27(2015)年度までは、財源不足が発生しない見込みですが、平成28(2016)年度以降は、普通交付税合併算定替えの特例措置の段階的な減少とほぼ時を同じくして財源不足が生じ、平成32(2020)年度までに約22億円の財源不足が見込まれており、今後はさらに厳しい財政状況になることが予測されます。

図2-8 平成23(2011)年度の財政状況(決算)

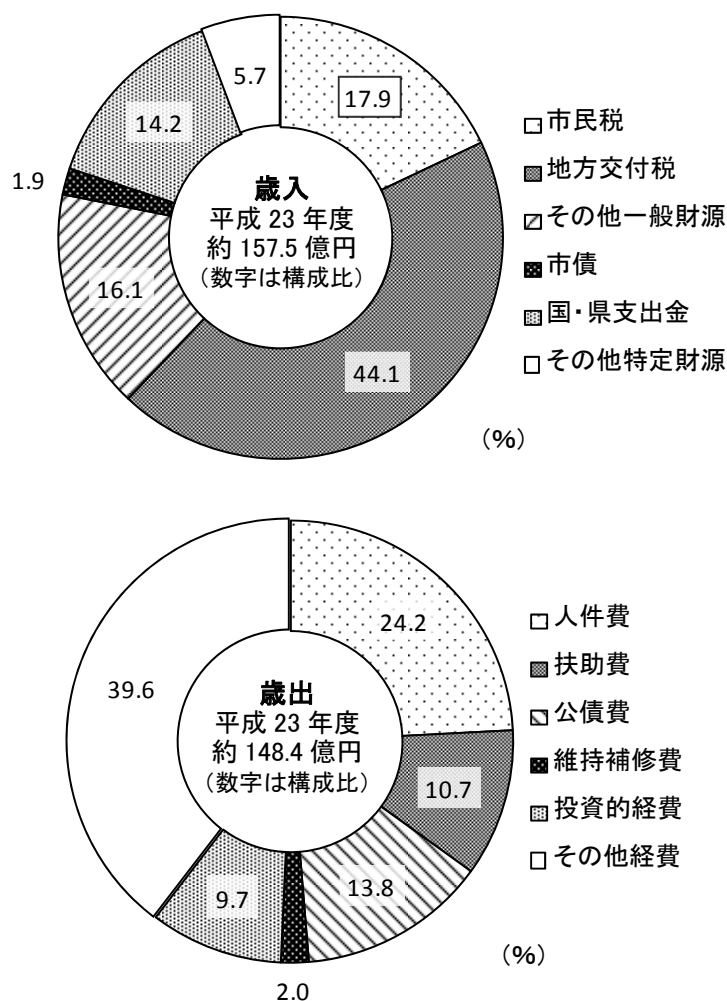


図2-9 歳入状況

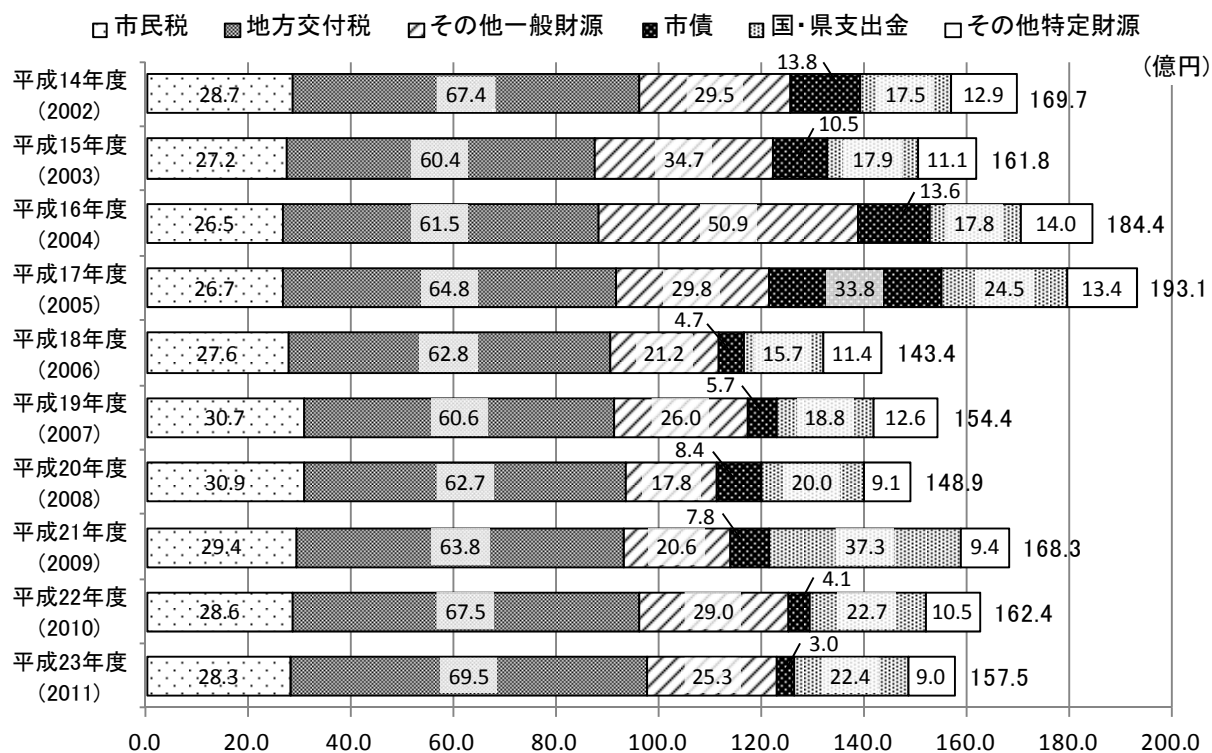
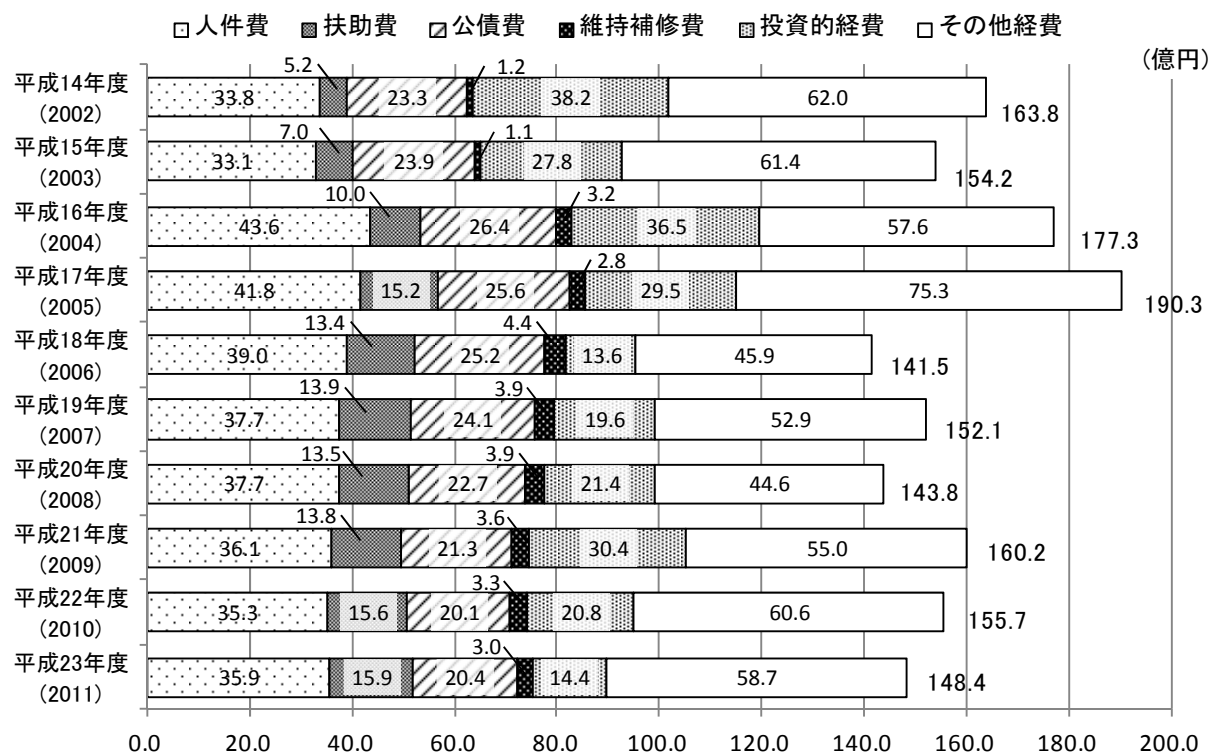


図2-10 歳出状況



参考：財政に関わる語句の説明

■歳入

○市民税

一般的に「住民税」と呼ばれる地方普通税。市民税は、毎年1月1日現在、江田島市にお住まいの方や、事業所等を置く方が市に納付することになっている。

○地方交付税

地方公共団体の自主性を損なわずに、地方財源の均衡化を図り、かつ地方行政の計画的な運営を保障するために、国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税のそれぞれ一定割合の額を、国が地方公共団体に対して交付する税。

地方交付税には、普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税がある。普通交付税は、基準財政需要額が基準財政収入額を超える地方公共団体に対して、その差額（財源不足額）を基本として交付される。

○その他一般財源

一般財源のほか、一般財源と同様に財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用できる財源を合わせたもの。目的が特定されていない寄附金や売却目的が具体的事業に特定されない財産収入等のほか、減税補てん債や臨時財政対策債等が含まれる。

○市債

地方公共団体の長期借入金（年度を超えて元利を償還する借入金）のことをいう。
税収や国庫支出金等だけでは、財源が足りない場合に不足を補うために発行し、原則として建設事業関係の経費に充てるもの。

○国支出金

国と地方公共団体の経費負担区分に基づき、国が地方公共団体に対して支出する負担金、委託費、特定の施策の奨励又は財政援助のための補助金等。

○県支出金

県の市町村に対する支出金。県が自らの施策として単独で市町村に交付する支出金と、県が国庫支出金を経費の全部又は一部として市町村に交付する支出金（間接補助金）とがある。

○その他特定財源

上記に該当しないもので、その用途が特定されている財源。

■歳出

○人件費

人件費（議員・職員・その他報酬・賃金）の額（退職手当を除く）。

○扶助費

性質別歳出の一分類で、社会保障制度の一環として地方公共団体が各種法令に基づいて実施する給付や、地方公共団体が単独で行っている各種扶助に係る経費。

○公債費

地方公共団体が発行した地方債の元利償還等に要する経費。

○維持補修費

建物などの補修関係経費。

○投資的経費

道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備等に要する経費であり、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費から構成されている。

○その他経費

上記に該当しないもの。

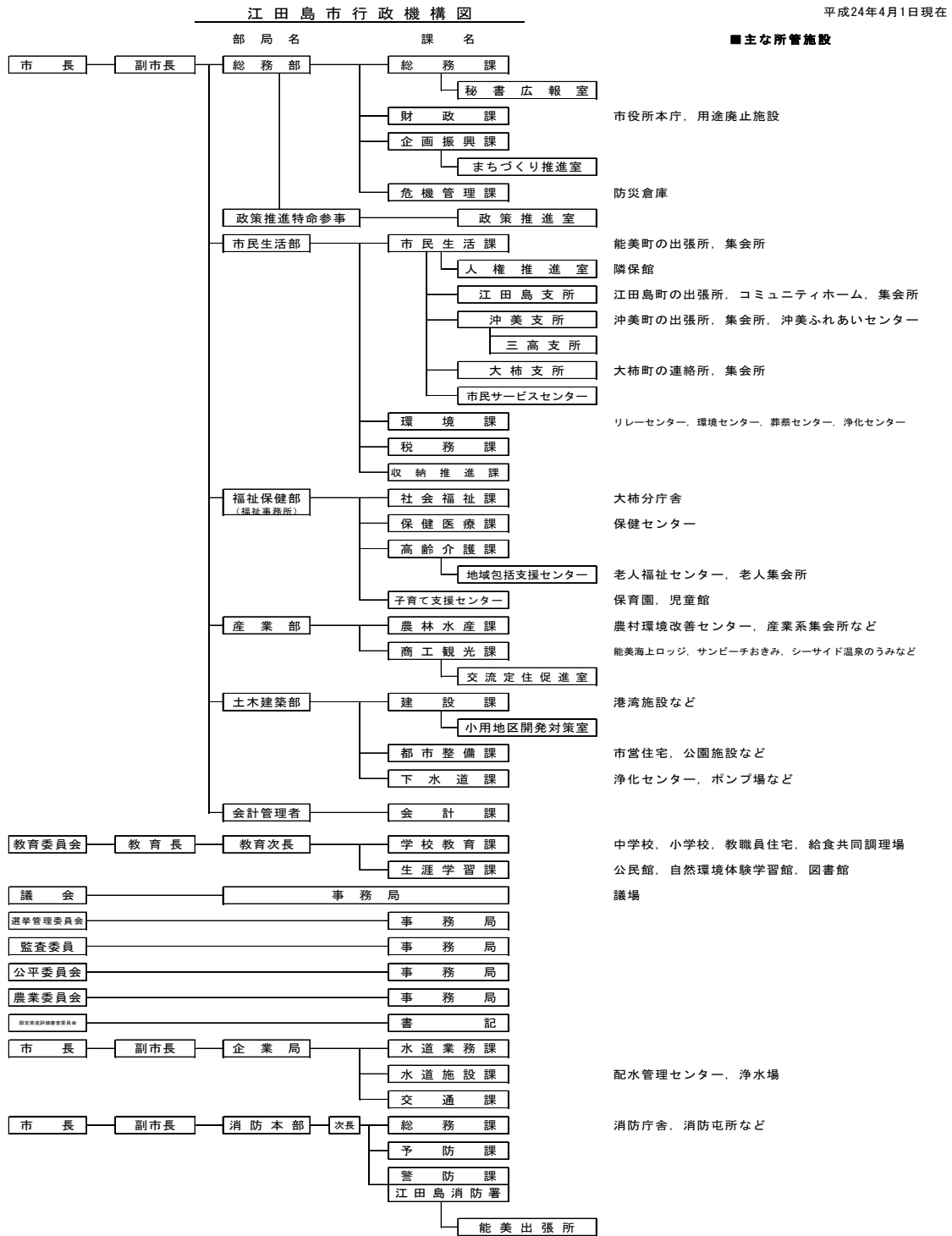
第6節 行政組織

1 行政組織

江田島市では、行政ニーズに対応した効果的・効率的な組織づくりを目指し、随時整備強化や統廃合を行っています。

また、支所、出張所・連絡所等の運営については、効率的な組織運営に努めています。

図2-11 江田島市の行政組織機構図

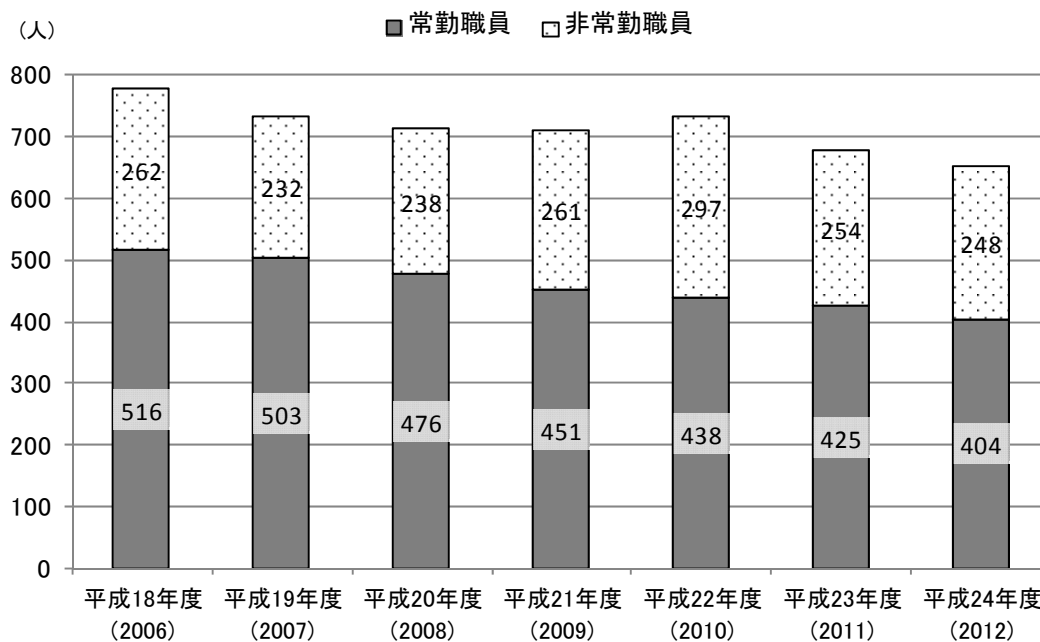


2 職員数

江田島市は、平成17(2005)年から「第1次江田島市行財政改革大綱」に基づく定員適正化計画により、職員数の適正化に取り組んでいます。

平成24(2012)年度の常勤職員は404人、合併した平成16(2004)年度(538人)と比べると、134人、率にして24.9%の減少となっています。

図2-12 江田島市の職員数の推移



注1) 常勤職員は4月現在数

注2) 非常勤職員は3月現在数

注3) 平成22(2010)年度非常勤職員数の急増は、国の緊急経済対策によるもの

※合併した平成16(2004)年度の常勤職員数は538人、翌平成17(2005)年度は525人

第7節 将来の都市構造

江田島市都市計画マスタープラン（平成23年3月）においては、江田島市総合計画（平成19年3月）を踏まえながら、将来の都市構造と都市づくりの方針を示しています。

このうち、市民生活や公共施設の立地に関係の深い「都市活動と暮らしを支える拠点」については、以下のとおりです。

■都市拠点

本市の中央に位置し、商業施設等の集積している江南・飛渡瀬を、都市拠点として位置づけ、全市を対象とした広域的な都市機能の集積化と島内の交通結節機能の充実、強化に努めます。

■地域拠点

行政施設、商業施設等が集積し、生活圏の中心地としての役割を担っている中央、中町、三高、大原の各地区を地域拠点として位置づけ、公共公益機能、商業機能、交流機能、島内外の交通結節機能等の充実に努めます。

■生活拠点

公共公益施設、商業施設、事業所等の集積している切串、小用、高田、鹿川、畑・岡大王、柿浦などの地区を、地域拠点を補完する生活拠点として位置づけ、公共公益機能、産業機能、島内外の交通結節機能、情報提供機能、集会・交流機能など、それぞれの拠点の特性に応じた機能の充実に努めます。

■コミュニティ中心地

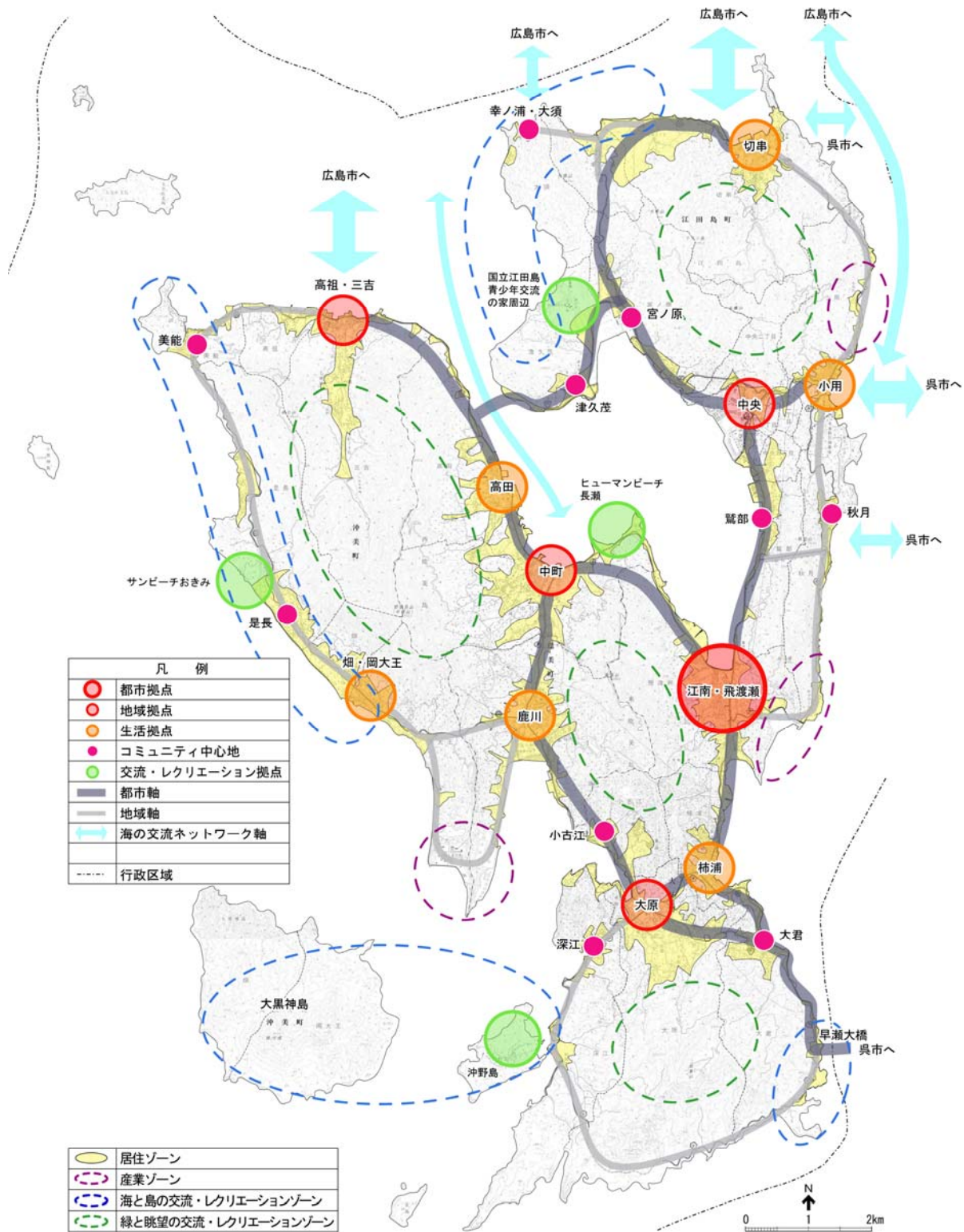
地域拠点、生活拠点のほか、基礎的なコミュニティ単位として、江田島町5地区（秋月、鷺部、幸ノ浦・大須、津久茂、宮ノ原）、沖美町2地区（美能、是長）、大柿町3地区（深江、小古江、大君）をコミュニティ中心地として位置づけ、集会・交流機能等の充実に努めます。

■交流・レクリエーション拠点

国立江田島青少年交流の家周辺、ヒューマンビーチ長瀬、サンビーチおきみ、沖野島などを交流・レクリエーション拠点として位置づけ、滞在型観光・レクリエーション地としての環境整備に努めます。

こうした都市構造におけるそれぞれの拠点等の役割や位置、相互の関係などを考慮しながら、公共施設のあり方を検討する必要があります。

図 2-13 江田島市の将来の都市構造



第3章 公共施設の現状

第1節 公共施設の全体的な状況

1 公共施設（建物）の概要

江田島市のすべての公共施設（建物）は、平成24(2012)年3月末現在で、総延床面積225,530㎡となり、これを市民1人当たり（平成24年3月末現在26,744人）で見ると、8.43㎡/人となっています。ちなみに平成21(2009)年度末現在の全国平均は3.22㎡/人（総務省データ：すべての公共施設）となっています。

白書対象施設についてみると、総施設数が190施設、総建物数が276棟、総延床面積は148,432㎡となり、すべての公共施設の約2/3（65.8%）を占めています。

また、白書対象施設を施設用途で分類すると、下表及び次頁の図のようになり、市民文化系施設（集会施設）が白書対象施設全体の33.2%を占める63施設で最も多く、次いで行政系施設が43施設（本庁・支所4，出張所・連絡所11，消防施設28），子育て支援施設が18施設などとなっています。

表3-1 江田島市の公共施設（建物）の施設概要（平成24年3月31日現在）

すべての公共施設 ※下記（本計画の対象）に公営住宅、 下水道施設、港湾施設などを含めた 江田島市の公共施設（建物）全体	総延床面積	225,530㎡
	白書対象施設 （本白書で対象とする公共施設）	
	箇所数	168箇所
	施設数	190施設
	棟数	276棟
	総延床面積	148,432㎡

表3-2 施設用途分類（白書対象施設）

施設大分類	中分類	施設数		
市民文化系施設	集会施設	63	63	
社会教育系施設	図書館	2	6	
	博物館等	4		
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	8	12	
	レクリエーション施設・ 観光施設	4		
産業系施設		6	6	
学校教育系施設	学校	13	16	
	その他教育施設	3		
子育て支援施設	幼稚園・保育園	12	18	
	幼児・児童施設	6		
保健・福祉施設	高齢福祉施設	3	7	
	保健施設	4		
行政系施設	庁舎等	本庁・支所	4	43
		出張所・連絡所	11	
	消防施設	28		
その他		19	19	
合計		190		

図3-1 江田島市の公共施設の用途（中分類）別施設数（白書対象施設）

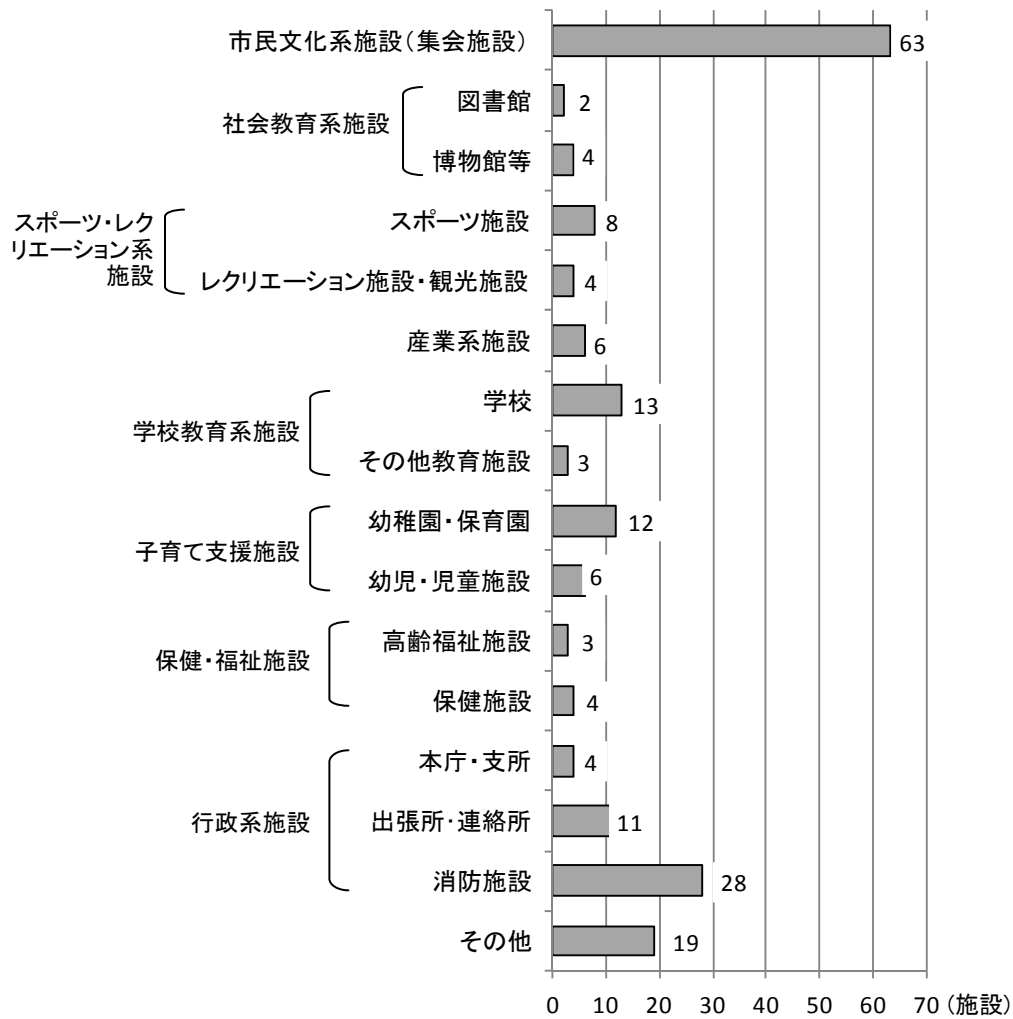
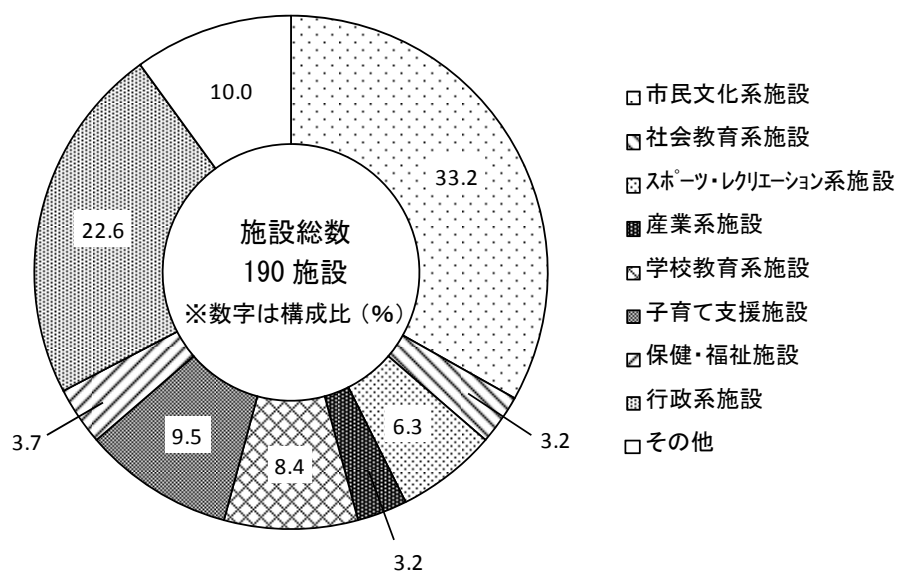


図3-2 江田島市の公共施設の用途（大分類）別構成



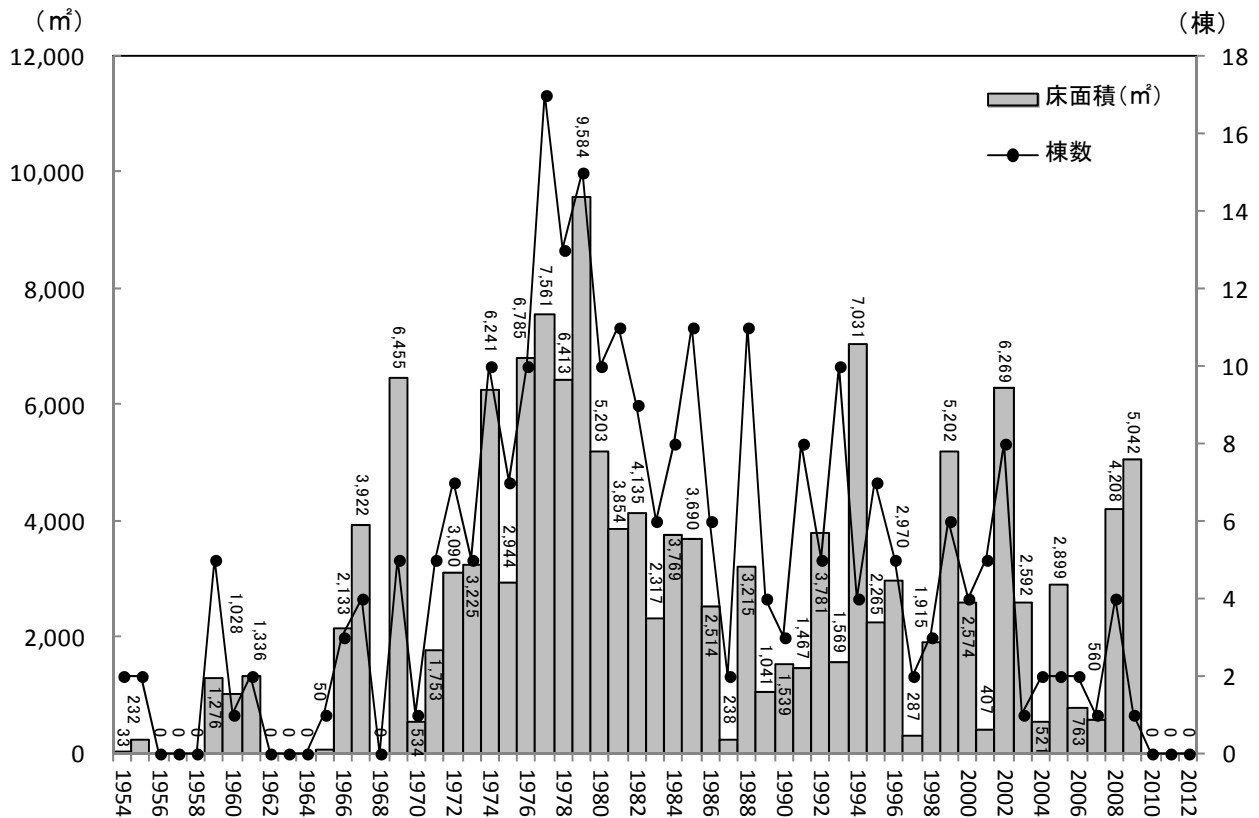
2 建物の建築年次

(1) 建築年次別公共施設の状況

江田島市は、1970年代に多くの公共施設（白書対象施設）を整備し、設置棟数のピークは昭和52(1977)年度で、その後は年度ごとの変動はあるものの減少傾向にあります。

一般的に大規模改修や設備更新などが必要とされる築30年以上（昭和57(1982)年度以前に建築）を経過した施設は、145棟、延床面積77,787㎡となっており、棟数で全体の52.5%、面積で52.4%を占めており、多くの建物が設備の更新等が必要な状況となってきました。

図3-3 建築年次（年度）別延床面積・棟数（白書対象施設）



資料：市所有データ

図3-4 築年数別延床面積割合（白書対象施設）

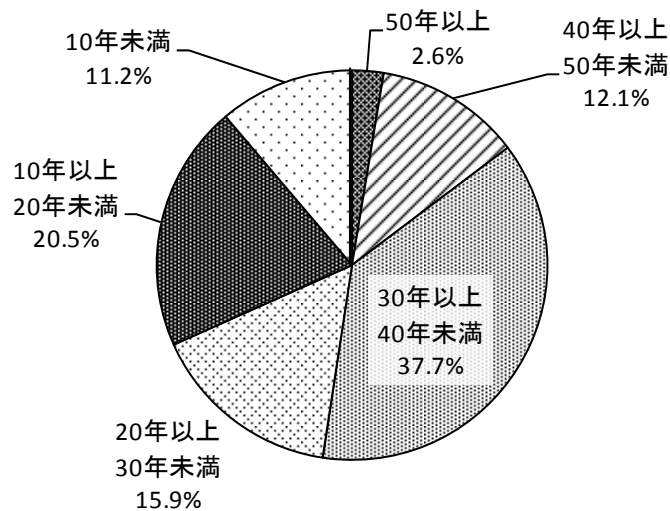


表 3-3 建築年次（年度）・構造別内訳（白書対象施設）

建築年度	RC・SRC造		S造・軽量鉄骨造		木造		その他構造		合計	
	棟数	面積 (㎡)	棟数	面積 (㎡)	棟数	面積 (㎡)	棟数	面積 (㎡)	棟数	面積 (㎡)
50年以上 ～1962	4	3,330	2	217	4	265	2	93	12	3,905
45～49年 1963～1967	5	5,932	0	0	0	0	3	173	8	6,105
40～44年 1968～1972	11	9,033	5	2,228	0	0	2	572	18	11,833
35～39年 1973～1977	30	21,907	9	3,413	9	1,125	1	310	49	26,755
30～34年 1978～1982	39	25,489	9	2,814	8	846	2	40	58	29,189
25～29年 1983～1987	20	11,341	9	1,031	2	91	2	66	33	12,529
20～24年 1988～1992	15	9,914	6	390	5	608	5	130	31	11,042
15～19年 1993～1997	11	11,431	11	2,080	6	610	0	0	28	14,121
10～14年 1998～2002	14	14,803	6	852	6	712	0	0	26	16,367
5～9年 2003～2007	3	5,708	4	1,516	1	111	0	0	8	7,335
5年未満 2008～	3	8,950	2	301	0	0	0	0	5	9,251
合計	155	127,838	63	14,842	41	4,368	17	1,384	276	148,432

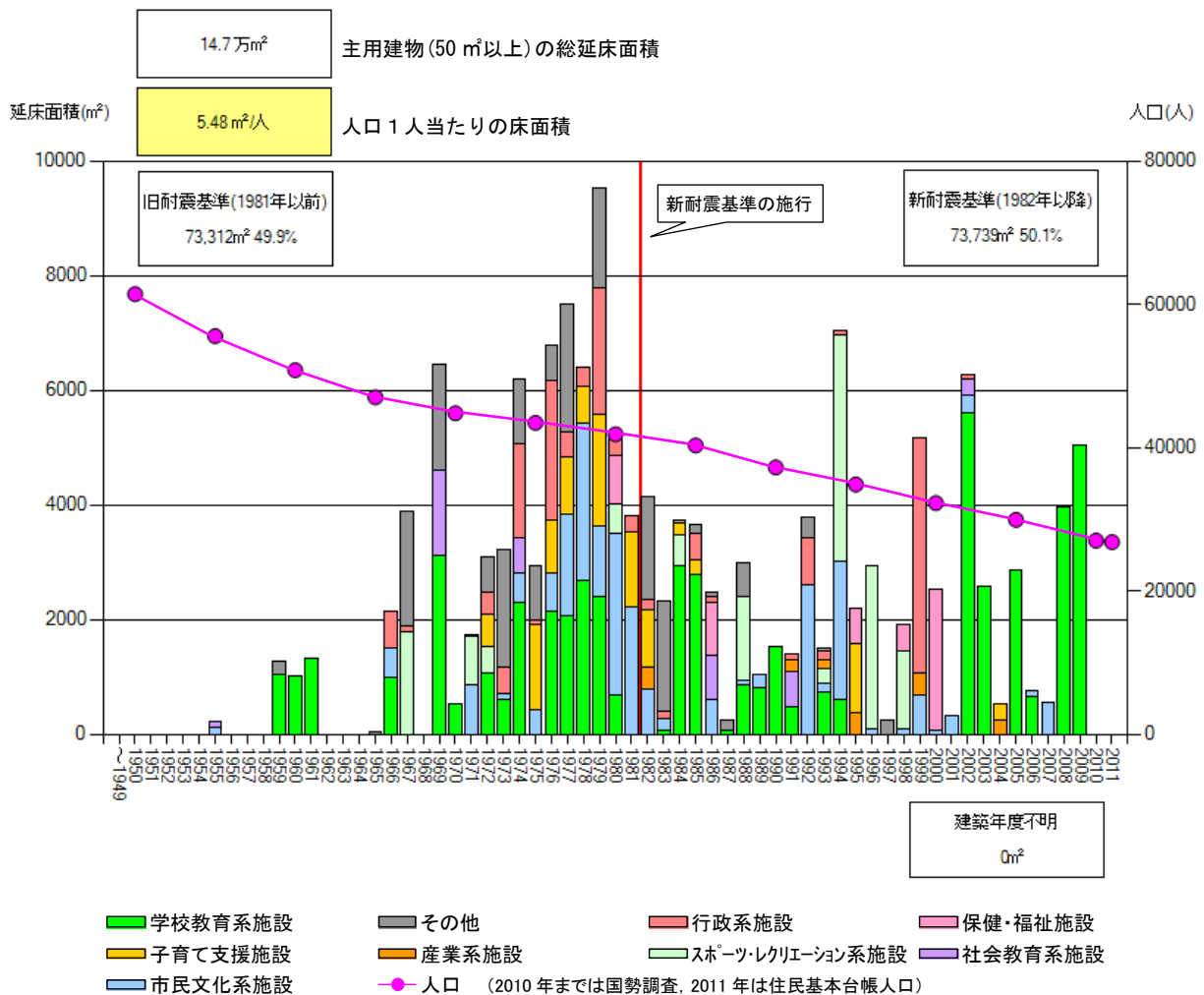
資料：市所有データ ※面積は延床面積

■主要建物（50㎡以上）の建築年次別整備状況

○建物用途別に整備状況をみると、平成14(2002)年度以降は、大半が学校教育系施設の建物となっています。

○耐震性の面からみると、新耐震基準（昭和57(1982)年以降）で整備（新築）した建物は、全体（延床面積）の50.1%となっています。

図3-5 主要建物の建築年次別整備状況（白書対象施設）



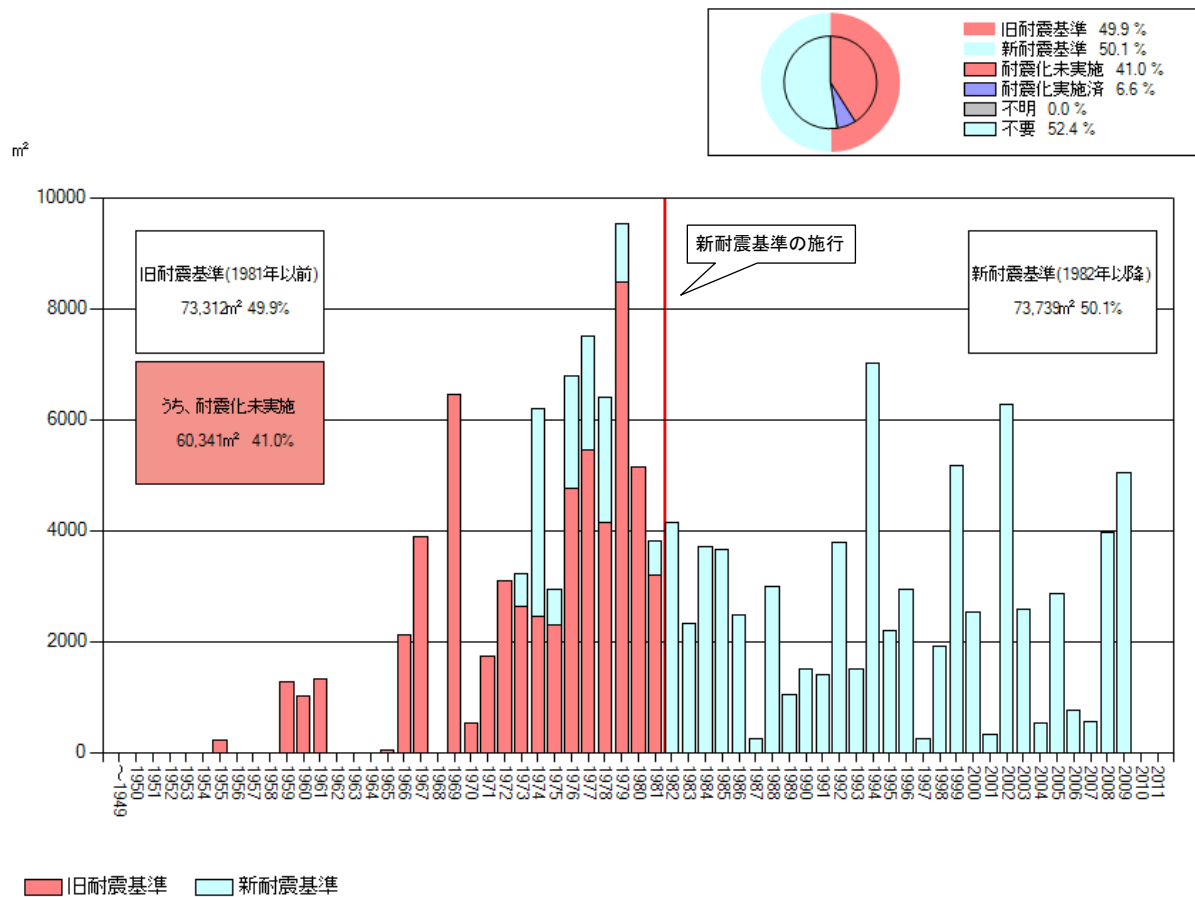
※人口1人当たり床面積は、平成23(2011)年10月1日人口（26,834人）による数値。

■主要建物（50㎡以上）の耐震化の状況

○新耐震基準に適合している施設は、耐震化（耐震改修）を実施した施設を含め、全体（延床面積）の59.0%となっています。

→41.0%は耐震化未実施の施設

図3-6 主要建物の耐震化の状況（白書対象施設）



(2) 建築年次に基づいた建替え・大規模改修の試算

<試算の前提>

- 総務省の「更新費用試算ソフト」を用います。
- 上記における設定条件
 - ・延床面積50㎡以上の建物が対象
 - ・大規模改修は築30年
 - ・建替えは築60年
 - ・施設用途分類ごとに単価を設定（右表）

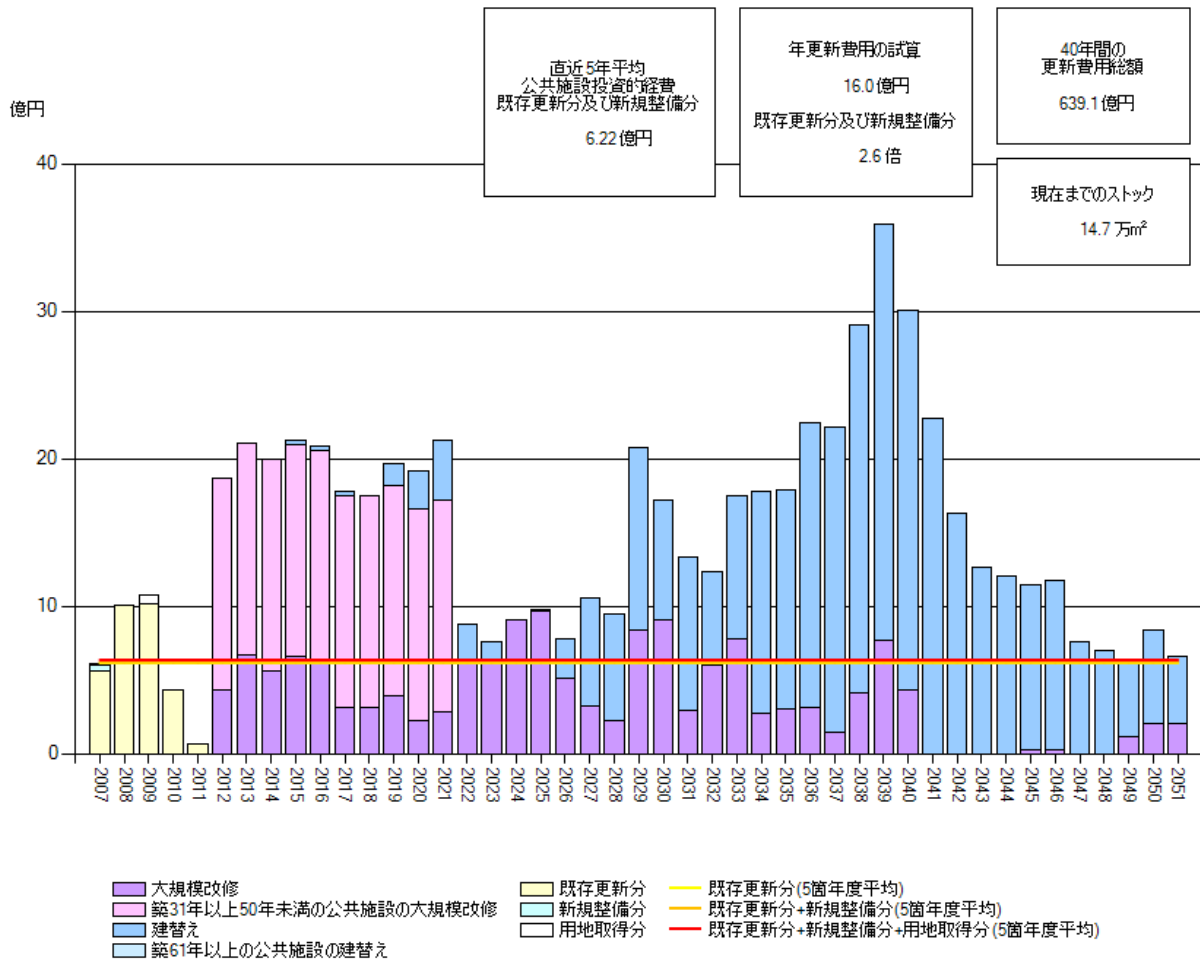
表3-4 試算の単価（一部）（単位：万円/㎡）

施設用途分類	大規模改修	建替え (解体等を含む)
市民文化系施設	25	40
社会教育系施設	25	40
スポーツ・レクリエーション系施設	20	36
産業系施設	25	40
学校教育系施設	17	33
子育て支援施設	17	33
保健・福祉施設	20	36

試算：公共施設の将来の更新費用の推計

- 平成33(2021)年度までは、大規模改修を中心に毎年度おおむね20億円前後の費用が必要です。
 - 平成34(2022)年度～平成40(2028)年度までは、毎年度おおむね10億円までで収まりますが、その後一部年度を除き増加傾向となり、建替え費用が総更新費用の半額以上を占め、ピークの平成51(2039)年度には35億円を超えます。
- ※江田島市の投資的経費：平成23(2011)年度…約14億4千万円

図3-7 公共施設の将来の更新費用の推計（白書対象施設）



※大規模改修

建築基準法第2条第14号に規定されている「大規模の修繕」を指し、「建築物の主要構造部の一種以上について行う過半の修繕をいう」と定義されています。ここでいう「主要構造部」とは「壁、柱、床、はり、屋根または階段」です。これら主要構造部のどこかを、半分を超えて（過半）修繕することです。

3 施設用途（機能）別の状況

江田島市の主な公共施設を用途別（大分類）でみると、施設数では「市民文化系施設」が63施設（33.2%）あり、最も多くなっていますが、延床面積でみると23,050㎡（15.5%）となっています。これは、集会所などの小規模な施設が多数あることが要因です。

また、施設数では16施設（8.4%）となっている「学校教育系施設」は敷地面積、延床面積でいずれも最大割合となっていますが、小・中学校施設が含まれることから面積における占有率が高くなっています。

図3-8 施設用途別施設数・敷地面積・延床面積の構成

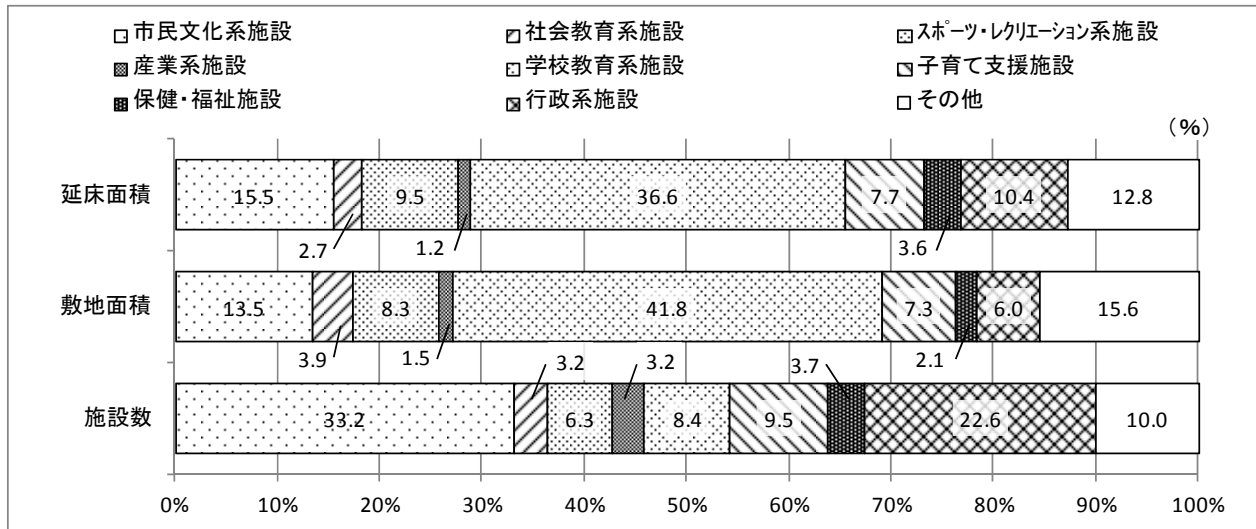


表3-5 施設用途別施設数・敷地面積・延床面積

施設用途分類	施設数	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)
市民文化系施設	63	52,868	23,050
社会教育系施設	6	15,342	4,046
スポーツ・レクリエーション系施設	12	32,428	14,034
産業系施設	6	5,733	1,746
学校教育系施設	16	163,457	54,264
子育て支援施設	18	28,713	11,499
保健・福祉施設	7	8,018	5,329
行政系施設	43	23,386	15,424
その他	19	60,763	19,040
合計	190	390,708	148,432

注：敷地面積は、複合・併設施設の場合は主たる用途の施設に算入した。

資料：市所有データ

4 運営管理経費の状況

(1) 運営管理経費の全体的な状況

江田島市の公共施設（建物）の運営管理経費は、平成23(2011)年度において約35億1千5百万円かかっています。

市民1人当たり（平成24年3月末現在26,744人）で運営管理経費をみると、年間約13万1千円かかっていることとなります。

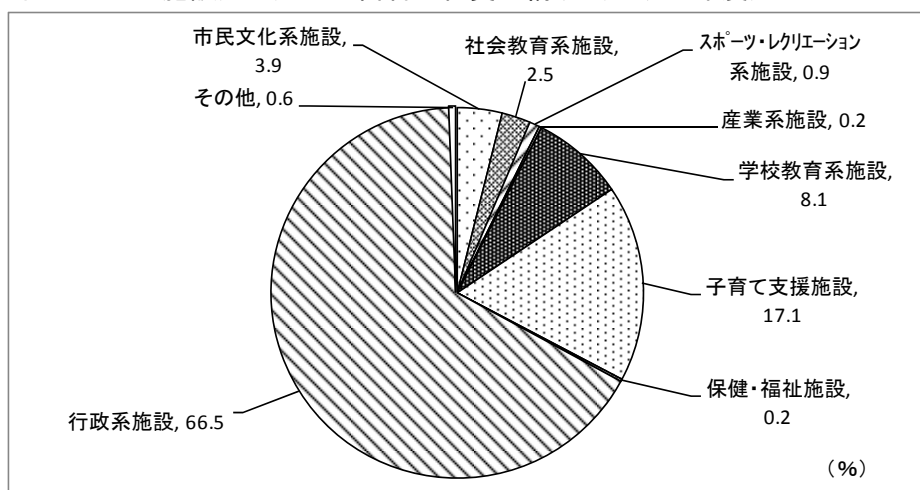
施設用途別にみると、行政系施設が全体の66.5%（約23億3千9百万円）を占め、次いで子育て支援施設が17.1%（約6億円）、学校教育系施設が8.1%（約2億8千4百万円）となっています。

これを、人件費を除く運営管理経費でみると、全体では約4億7千万円となり、市民1人当たりでは年間約1万8千円となります。

施設用途別には、学校教育系施設が全体の36.8%を占め、次いで行政系施設16.6%、市民文化系施設14.6%などとなっています。

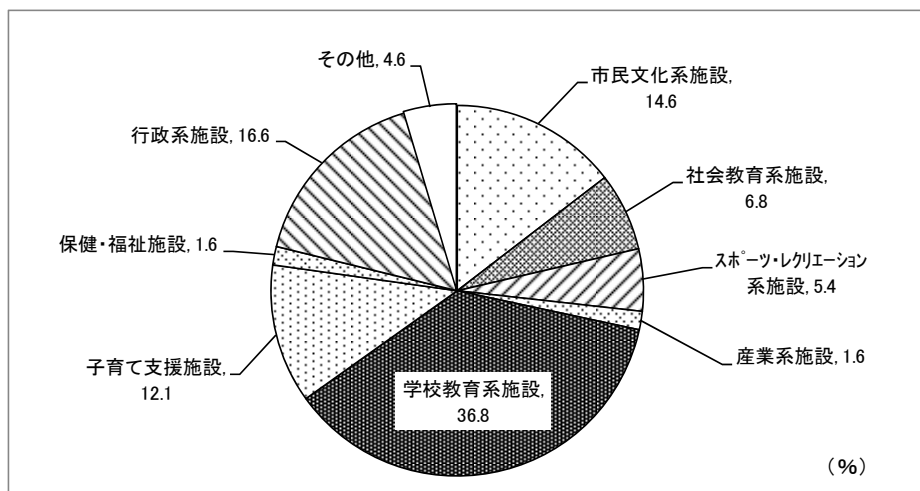
なお、県費で負担する小中学校の教職員の人件費は除いています。

図3-9 施設用途別の運営管理経費の構成（平成23年度）



平成 23(2011)年度決算額：3,515,282,523 円

図3-10 施設用途別の人件費を除く運営管理経費の構成（平成23年度）



平成 23(2011)年度決算額：469,726,861 円

(2) 施設用途別の運営管理経費の状況

<施設用途別1施設当たり運営管理経費>

施設用途別に運営管理経費をみると下表のようになります。

このうち1施設当たり最も運営管理経費がかかっているのは、庁舎等（本庁・支所）で約4億5千5百万円となっています。次いで、その他教育施設（給食調理場）が約7千2百万円、幼稚園・保育園が約4千5百万円、図書館が約2千9百万円、消防施設が約1千7百万円、幼児・児童施設が約1千1百万円となっており、これらの施設が1千万円を超えています。

また、市民の身近な施設である集会施設については、1施設当たり約216万円かかっています。

表3-6 施設用途別の運営管理経費の内訳（平成23年度決算額）

大分類	中分類	施設数	運営管理経費 (円)	構成比 (%)	1施設当たり 運営管理経費 (円)
市民文化系施設	集会施設	63	135,958,951	3.9	2,158,079
社会教育系施設	図書館	2	57,333,900	1.6	28,666,950
	博物館等	4	32,177,808	0.9	8,044,452
	小計	6	89,511,708	2.5	14,918,618
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	8	17,370,787	0.5	2,171,348
	レクリエーション施設・観光施設	4	12,900,000	0.4	3,225,000
	小計	12	30,270,787	0.9	2,522,566
産業系施設		6	7,366,444	0.2	1,227,741
学校教育系施設	学校	13	68,319,361	1.9	5,255,335
	その他教育施設	3	215,638,713	6.1	71,879,571
	小計	16	283,958,074	8.1	17,747,380
子育て支援施設	幼稚園・保育園	12	534,317,277	15.2	44,526,440
	幼児・児童施設	6	65,683,601	1.9	10,947,267
	小計	18	600,000,878	17.1	33,333,382
保健・福祉施設	高齢福祉施設	3	4,073,948	0.1	1,357,983
	保健施設	4	3,338,331	0.1	834,583
	小計	7	7,412,279	0.2	1,058,897
行政系施設	庁舎等（本庁・支所）	4	1,820,966,337	51.8	455,241,584
	庁舎等（出張所・連絡所）	11	33,814,412	1.0	3,074,037
	消防施設	28	484,535,371	13.8	17,304,835
	小計	43	2,339,316,120	66.5	54,402,700
その他		19	21,487,282	0.6	1,130,910
総計		190	3,515,282,523	100.0	18,501,487

5 公共施設の配置

平成23(2011)年度末現在の公共施設の配置を町別でみると、江田島町に全体の40.0%に当たる76施設があり、次いで大柿町が49施設(25.8%)、能美町が33施設(17.4%)、沖美町が32施設(16.8%)となっています。

また、用途別で施設数をみると、市民文化系施設(集会施設)、スポーツ施設、庁舎等、消防施設などで、江田島町が相対的に多くなっています。

学校については、能美町、大柿町がともに4校(平成23年度末廃校の飛渡瀬小学校を含む)あり、江田島町より多くなっています。

さらに、施設ごとにみると、公民館については、江田島町に6施設ありますが、能美町は3施設、沖美町及び大柿町は各1施設となっています。博物館については、大柿町に3施設、江田島町に1施設となっています。体育館等のスポーツ施設については、江田島町に5施設ありますが、他の3町は各1施設となっています。

表3-7 施設用途分類

施設大分類	中分類	町別施設数					計
		江田島	能美	沖美	大柿	計	
市民文化系施設	集会施設	25	9	11	18	63	63
社会教育系施設	図書館	1	1	0	0	2	6
	博物館等	1	0	0	3	4	
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	5	1	1	1	8	12
	レクリエーション施設・観光施設	1	2	1	0	4	
産業系施設		3	0	1	2	6	6
学校教育系施設	学校	3	4	2	4	13	16
	その他教育施設	1	1	0	1	3	
子育て支援施設	幼稚園・保育園	5	3	1	3	12	18
	幼児・児童施設	3	2	0	1	6	
保健・福祉施設	高齢福祉施設	1	1	0	1	3	7
	保健施設	1	1	1	1	4	
行政系施設	庁舎等(本庁・支所)	1	1	1	1	4	43
	庁舎等(出張所・連絡所)	5	2	2	2	11	
	消防施設	13	4	6	5	28	
その他		7	1	5	6	19	19
計(上段:実数, 下段:構成比%)		76	33	32	49	190	
		40.0	17.4	16.8	25.8	100.0	

※平成23年度末現在。そのため飛渡瀬小学校(平成23年度末廃校)は、学校教育施設に含んでいます。

図3-11 町別公共施設の分布状況

江田島市
27,031人 (H22国勢調査)
100.98km² (市域面積)

	江田島町 人口：10,674人	能美町 人口：5,402人	沖美町 人口：3,393人	大柿町 人口：7,562人	凡例
集会施設 (63)	<p>1,432㎡ 江田島公民館 (1980)</p> <p>1,293㎡ 江田島コミュニティセンター/宮ノ原隣保館 (1982ほか)</p> <p>492㎡ 江南ふれあいセンター (1999)</p> <p>616㎡ 鷺部公民館 (1986)</p> <p>443㎡ 秋月公民館 (1977)</p> <p>903㎡ 切串公民館 (1979)</p> <p>617㎡ 大須公民館 (1977)</p> <p>298㎡ 宮ノ原公民館 (1971)</p> <p>160㎡ 矢ノ浦老人集会所 (1975)</p> <p>162㎡ 小用老人集会所 (1979)</p> <p>103㎡ 幸ノ浦老人集会所 (1976)</p> <p>355㎡ 大須老人集会所 (1977)</p> <p>53㎡ 石居老人集会所 (1977)</p> <p>149㎡ 江田島大須老人集会所 (1977)</p> <p>117㎡ 津久茂老人集会所 (1976)</p> <p>123㎡ 中郷老人集会所 (2001)</p> <p>146㎡ 向側老人集会所 (1955)</p> <p>197㎡ 山田老人集会所 (1980)</p> <p>83㎡ 北高下集会所 (1976)</p> <p>96㎡ 西沖集会所 (1977)</p> <p>187㎡ 大須老人集会所 (1979)</p> <p>92㎡ 宮ノ原老人集会所 (1997)</p> <p>83㎡ 立石集会所 (1978)</p> <p>219㎡ 江南集会所 (1978ほか)</p>	<p>1,309㎡ 農村環境改善センター (1992)</p> <p>395㎡ 鹿川公民館 (1971)</p> <p>516㎡ 高田公民館 (1974)</p> <p>1,071㎡ 中町公民館 (1980)</p> <p>375㎡ 鹿川文化センター (1981)</p> <p>267㎡ 鹿川老人集会所 (1975)</p> <p>179㎡ 中町老人憩いの家 (1971)</p> <p>49㎡ 東浜上集会所 (1999)</p> <p>111㎡ 南区住宅団地集会所 (2000)</p>	<p>2,489㎡ 沖美ふれあいセンター (1994)</p> <p>566㎡ 沖美公民館 (1966)</p> <p>560㎡ 三高公民館 (2007)</p> <p>339㎡ 沖美就業改善センター (1981)</p> <p>136㎡ 沖老人集会所 (1980)</p> <p>118㎡ 是長老人集会所 (1977)</p> <p>151㎡ 三高老人集会所 (1978)</p> <p>82㎡ 美能老人集会所 (1978)</p> <p>111㎡ 東の浜集会所 (2006)</p> <p>214㎡ 高祖多目的集会所 (2002)</p> <p>120㎡ 奥多目的集会所 (1983)</p>	<p>2,150㎡ 大柿公民館 (1978)</p> <p>548㎡ 大柿厚生文化センター (1981)</p> <p>272㎡ 融光会館 (1981)</p> <p>102㎡ 大原老人集会所 (1973)</p> <p>83㎡ 新聞老人集会所 (1988)</p> <p>230㎡ 深江老人集会所 (1982)</p> <p>148㎡ 大原老人集会所 (1989)</p> <p>103㎡ 小古江老人集会所 (1982)</p> <p>159㎡ 大君ふれあいセンター (1993)</p> <p>118㎡ 柿浦老人集会所 (1981)</p> <p>354㎡ 飛渡瀬老人集会所 (1976)</p> <p>99㎡ 香澤集会所 (2001)</p> <p>100㎡ 山の手集会所 (2002)</p> <p>99㎡ 榎田集会所 (2001)</p> <p>83㎡ 引島集会所 (1983)</p> <p>82㎡ 坊地集会所 (1989)</p> <p>87㎡ 内海集会所 (1992)</p> <p>94㎡ 大盤集会所 (1996)</p>	<p>延床面積規模</p> <p>5,000㎡～</p> <p>4,000～4,999㎡</p> <p>2,000～3,999㎡</p> <p>1,000～1,999㎡</p> <p>500～999㎡</p> <p>0～499㎡</p>
図書館・博物館等 (6)	<p>632㎡ 江田島図書館 (1991)</p> <p>322㎡ 江田島市学びの館 (2002ほか)</p>	<p>464㎡ 能美図書館 (1986)</p>		<p>2,205㎡ 大柿自然環境体験学習交流館 (1969)</p> <p>303㎡ 瀬尾記念文庫・大柿地区歴史資料館 (1986)</p> <p>120㎡ 平塩記念郷土館 (1955)</p>	
スポーツ・レクリエーション施設 (12)	<p>548㎡ 秋月体育館 (1984)</p> <p>830㎡ 切串体育館 (1971)</p> <p>528㎡ 津久茂体育館 (1980)</p> <p>475㎡ 宮ノ原体育館 (1972)</p> <p>707㎡ 江田島武道館 (1996)</p> <p>259㎡ ふるさと交流館 (1993)</p>	<p>3,944㎡ 江田島市スポーツセンター (1994)</p> <p>1,358㎡ シティ温泉のうみ (1998)</p> <p>1,789㎡ 国民宿舎能美海上クラブ (1967)</p>	<p>2,144㎡ 沖美子どもおきみ (1996)</p> <p>611㎡ 沖体育館 (1988)</p>	<p>841㎡ 大君体育館 (1988)</p>	
産業系施設 (6)	<p>394㎡ 海辺の新鮮市場 (1999)</p> <p>208㎡ 切串シーフード (1991)</p> <p>249㎡ 宮ノ原水産振興センター (2004)</p>		<p>377㎡ 沖美産品開発センター (1982)</p>	<p>364㎡ 江田島市交流促進センター (1995)</p> <p>155㎡ 大柿産品加工センター (1993)</p>	
学校・教育系施設 (16)	<p>6,232㎡ 江田島小 (1966ほか)</p> <p>3,437㎡ 切串小 (1984ほか)</p> <p>4,955㎡ 江田島中 (1989ほか)</p> <p>598㎡ 江田島学校給食共同調理場 (1994)</p>	<p>3,517㎡ 鹿川小 (1972ほか)</p> <p>2,601㎡ 中町小 (1972ほか)</p> <p>2,908㎡ 高田小 (1978ほか)</p> <p>4,894㎡ 能美中 (1959ほか)</p> <p>652㎡ 西能美学校給食共同調理場 (2006)</p>	<p>3,761㎡ 三高小 (1970ほか)</p> <p>3,183㎡ 三高中 (1979ほか)</p>	<p>4,363㎡ 大古小 (1984ほか)</p> <p>3,032㎡ 柿浦小 (1969ほか)</p> <p>2,445㎡ 飛渡瀬小 (1969ほか)</p> <p>7,806㎡ 大柿中 (1974ほか)</p> <p>575㎡ 大柿学校給食共同調理場 (1993)</p>	
幼稚園・保育園 (12)	<p>634㎡ 江田島幼稚園 (1981)</p> <p>929㎡ 江田島保育園 (1976)</p> <p>1,069㎡ 小用保育園 (1979)</p> <p>1,054㎡ 切串保育園 (1981)</p> <p>632㎡ 宮ノ原保育園 (1975)</p>	<p>850㎡ 鹿川保育園 (1975)</p> <p>883㎡ 中町保育園 (1979)</p> <p>636㎡ 高田保育園 (1978)</p>	<p>1,219㎡ 三高保育園 (1995)</p>	<p>788㎡ 大古保育園 (1982)</p> <p>563㎡ 柿浦保育園 (1972)</p> <p>561㎡ 飛渡瀬保育園 (1977)</p>	
幼児・児童施設 (6)	<p>255㎡ 放課後児童クラブ室 (1985)</p> <p>448㎡ 子育て支援センター (1977)</p> <p>240㎡ 津久茂児童館 (1982ほか)</p>	<p>272㎡ 中町児童館 (2004)</p> <p>207㎡ 高田児童館 (1984)</p>		<p>258㎡ 柿浦児童館 (1981)</p>	
保健・福祉施設 (7)	<p>840㎡ 江田島老人福祉センター (1980)</p> <p>1,435㎡ 江田島保健センター (2000)</p>	<p>645㎡ 能美福祉センター (1995)</p> <p>780㎡ 能美保健センター (2000)</p>	<p>(面積は沖美ふれあいセンターに含む)</p> <p>沖美保健センター (1994)</p>	<p>911㎡ 大柿老人福祉センター (1986)</p> <p>466㎡ 大柿保健センター (1998)</p>	
庁舎等 (15)	<p>2,628㎡ 江田島支所 (1976)</p> <p>19㎡ 秋月出張所 (1977)</p> <p>29㎡ 切串出張所 (1979)</p> <p>30㎡ 大須出張所 (1977)</p> <p>74㎡ 小用出張所 (1992)</p> <p>15㎡ 津久茂出張所 (1982)</p>	<p>2,907㎡ 市役所本庁・別館 (1979ほか)</p> <p>24㎡ 鹿川出張所 (1971)</p> <p>53㎡ 高田出張所 (1974)</p>	<p>1,034㎡ 沖美支所 (1966ほか)</p> <p>38㎡ 三高支所 (1966)</p> <p>58㎡ 美能出張所 (1994)</p>	<p>4,129㎡ 大柿分庁舎 (1999)</p> <p>37㎡ 深江連絡所 (1981)</p> <p>29㎡ 柿浦連絡所 (1981)</p>	
消防施設 (28)	<p>1,310㎡ 江田島市消防本部・江田島消防署 (1974)</p> <p>109㎡ 向側 (1981)</p> <p>78㎡ 矢ノ浦 (1977)</p> <p>61㎡ 山田 (1976)</p> <p>97㎡ 鷺部 (1967)</p> <p>60㎡ 江南 (1978)</p> <p>93㎡ 秋月 (1975)</p> <p>146㎡ 小用 (1972)</p> <p>109㎡ 切串 (1986)</p> <p>51㎡ 大幸分団車庫 (1978)</p> <p>40㎡ 大幸 (1979)</p> <p>69㎡ 津久茂 (1978ほか)</p> <p>96㎡ 宮ノ原 (1977ほか)</p> <p>92㎡ 中郷 (1982)</p>	<p>469㎡ 江田島市消防署 能美出張所 (1974)</p> <p>108㎡ 中町 (1983)</p> <p>108㎡ 鹿川 (1985)</p> <p>78㎡ 高田 (1982)</p>	<p>240㎡ 沖 (1972)</p> <p>156㎡ 是長 (1973)</p> <p>67㎡ 高祖 (2002)</p> <p>26㎡ 奥 (1983)</p> <p>320㎡ 三高 (1973)</p> <p>71㎡ 美能 (1985)</p>	<p>111㎡ 深江 (1981)</p> <p>144㎡ 大古 (1974)</p> <p>233㎡ 大君 (1977)</p> <p>113㎡ 柿浦 (1980)</p> <p>89㎡ 飛渡瀬 (1991)</p>	
その他 (19)	<p>255㎡ 鷺部教職員住宅 (1997)</p> <p>479㎡ 旧山本医院 (1977)</p> <p>1,783㎡ 旧秋月小 (1982)</p> <p>1,756㎡ 旧津久茂小 (1979)</p> <p>1,889㎡ 旧宮ノ原小 (1983ほか)</p> <p>2,524㎡ 旧切串中 (1969ほか)</p> <p>656㎡ 旧江田島市立事務組合事務所 (1976)</p>	<p>365㎡ 高田教職員住宅 (1992)</p>	<p>56㎡ 三高教職員住宅 (1993)</p> <p>2,111㎡ 旧沖中 (1973ほか)</p> <p>826㎡ 旧沖中体育館 (1974)</p> <p>2,399㎡ 旧沖小 (1969ほか)</p> <p>604㎡ 旧沖保育園 (1972)</p>	<p>209㎡ 大原教職員住宅 (1988)</p> <p>139㎡ 旧榎田会館 (1977)</p> <p>270㎡ 旧広島県大柿土木事務所庁舎 (1959)</p> <p>310㎡ 旧深江保育園 (1974)</p> <p>1,684㎡ 旧大君小 (1977ほか)</p> <p>514㎡ 旧大君保育園 (1975)</p>	

図3-12 江田島町の公共施設の立地状況

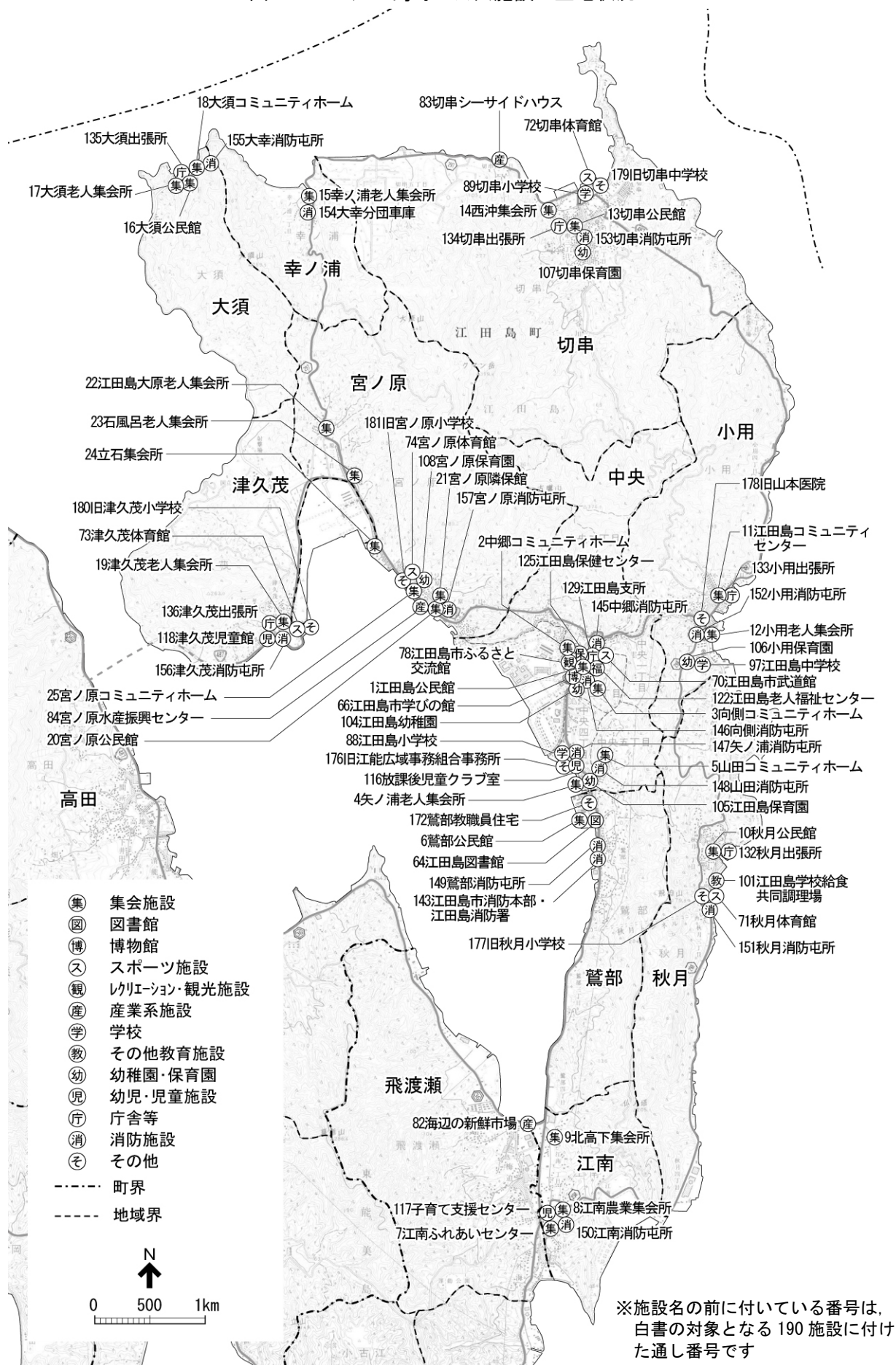


図 3-13 能美町の公共施設の立地状況

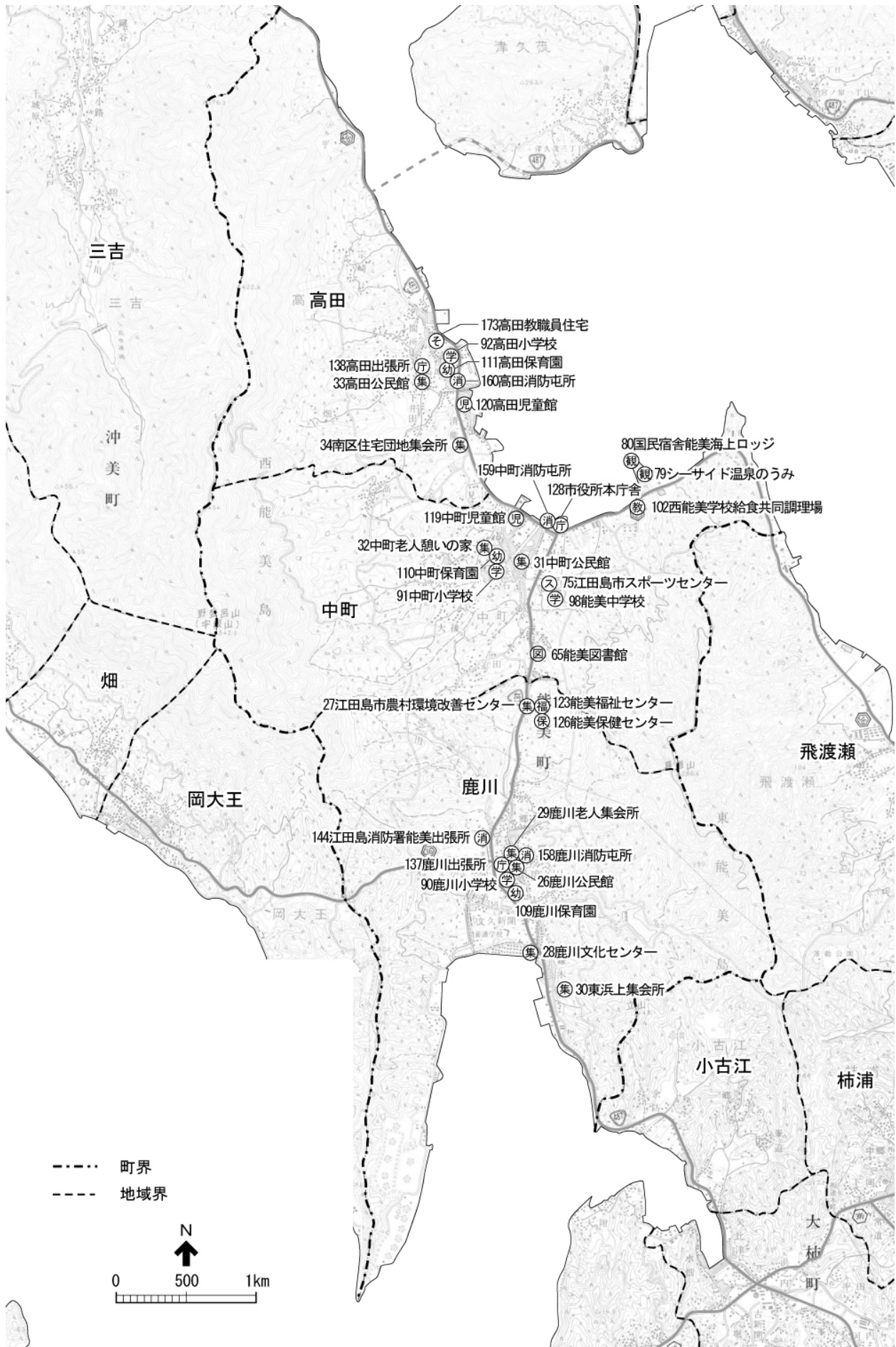


図 3-14 沖美町の公共施設の立地状況

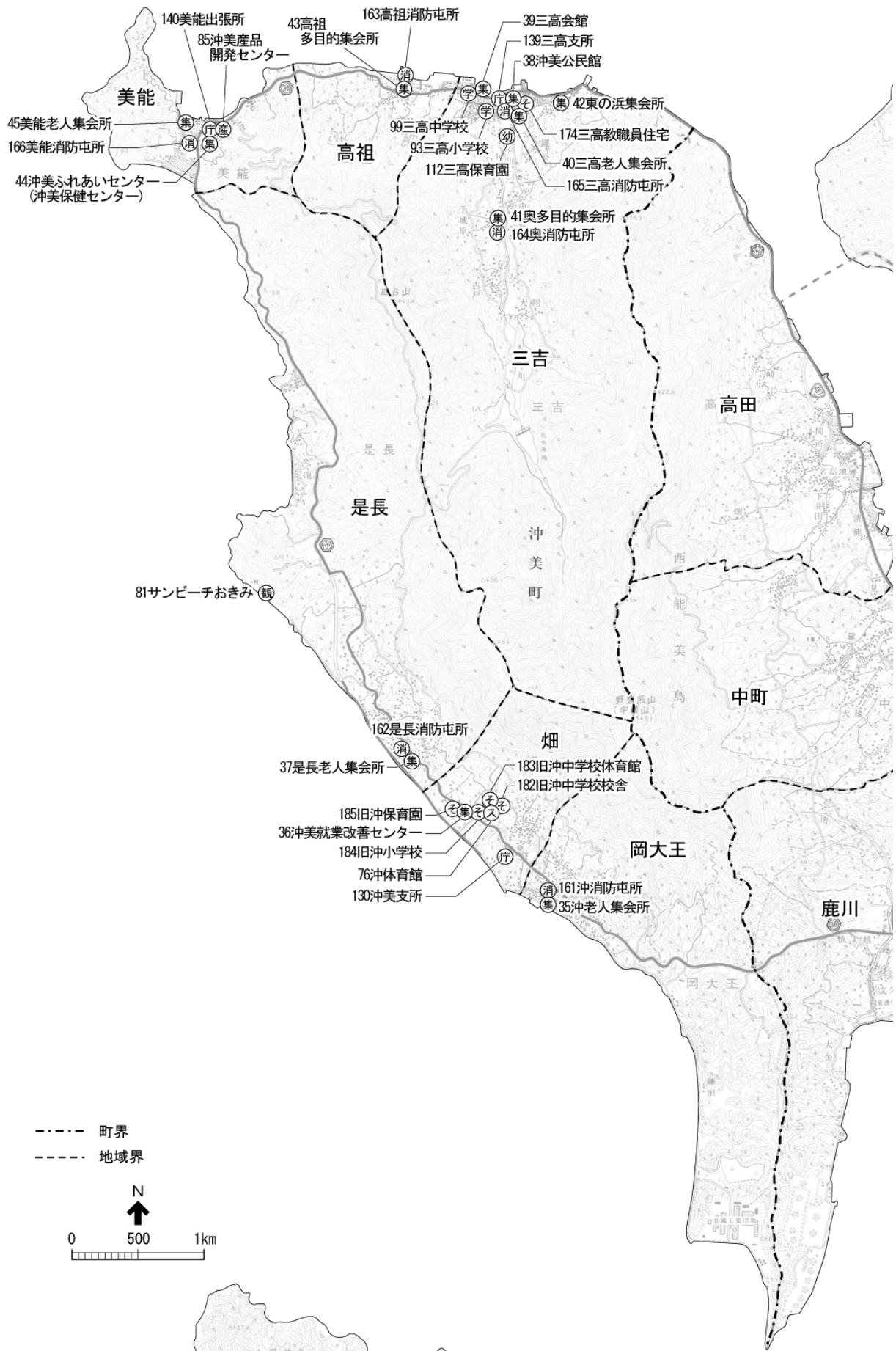
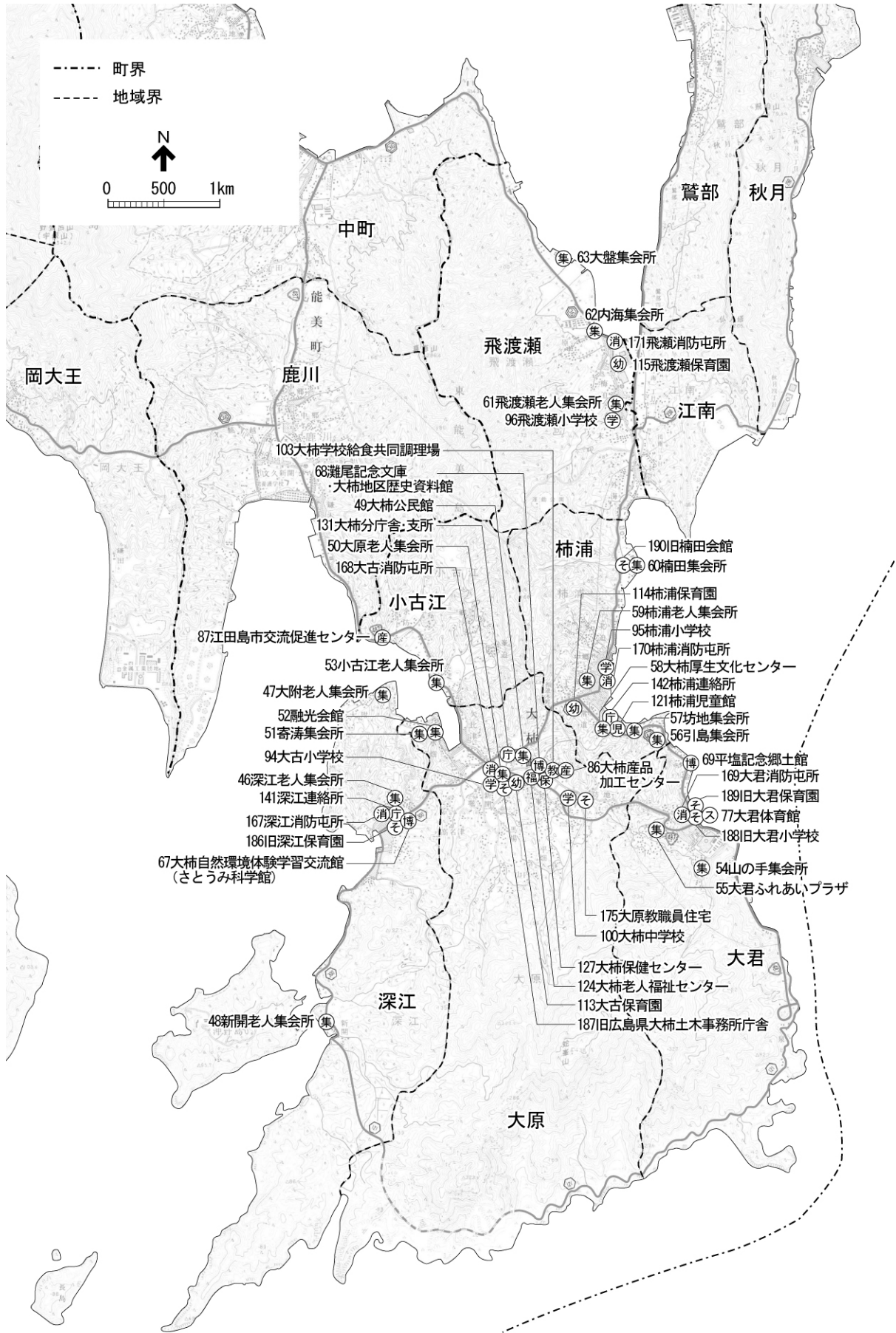


図 3-15 大柿町の公共施設の立地状況



第2節 用途別公共施設の状況

1 市民文化系施設（集会施設）

（1）立地状況

江田島市における市民文化系施設は集会施設であり、63施設が立地しています。

このうち25施設(39.7%)が江田島町にあり、次いで大柿町が18施設(28.6%)、沖美町が11施設(17.5%)、能美町が9施設(14.3%)となっています。

公民館についてみると、市全体で11施設あり、そのうち江田島町は6施設(54.5%)、能美町は3施設(27.3%)、沖美町及び大柿町は各1施設(各9.1%)となっています。

また、江田島市には固定席が300席を超えるホールはありませんが、延床面積が2,000㎡を超える集会施設としては、沖美町の沖美ふれあいセンターと大柿公民館があります。

全市的な行事での利用が多い施設としては、沖美ふれあいセンターと能美町の江田島市農村環境改善センターがあります。

（2）運営管理経費と利用状況

<運営管理経費>

市民文化系施設のうち、集会所、老人集会所、コミュニティホームといった基礎的なコミュニティ単位の施設の運営管理経費（平成23年度）をみると、0円（大須老人集会所は大須公民館で経費計上、東浜上集会所と南区住宅団地集会所は地元による管理運営）～約108万円（融光会館）となっています。また、10万円台の施設が23施設と多くなっています。

全市的な行事での利用が多い施設（江田島市農村環境改善センター、沖美ふれあいセンター）や町レベル・小学校区レベルでの利用が多い施設（公民館など）については、約50万円（大須公民館、沖美公民館）～約2,282万円（大柿公民館）となっています。また、大柿町の公民館は1か所であり、6か所ある江田島町の公民館の総額は約1,932万円となっています。

なお、運営管理経費に対する使用料収入の割合は、次の表のとおりです。

表3-8 集会施設の運営管理経費に対する使用料収入の割合

施設	運営管理経費	使用料収入	使用料の割合
市民文化系施設（集会施設）63施設	135,958,951円	3,584,975円	2.6%

<年間利用者数>

年間の利用者数（平成23年度）についてみると、基礎的なコミュニティ単位での利用が多い施設では0人（北高下集会所、立石集会所、宮ノ原コミュニティホーム、山の手集会所、引島集会所、大盤集会所）～3,721人（飛渡瀬老人集会所）となっています。

全市的または町レベル・小学校区レベルでの利用が多い施設については、沖美就業改善センターが474人となっていますが、それ以外では1,132人（大須公民館）～17,629人（大柿公民館）となっています。

<利用者1人当たり運営管理経費>

利用者1人当たりの運営管理経費（0人、0円を除く）は、基礎的なコミュニティ単位での利用が多い施設では、大附老人集会所が31,105円/人、融光会館が7,221円/人と突出して高くなっていますが、それ以外は104円/人（是長老人集会所）～2,817円/人（山田コミュ

ニティホーム) となっています。

全市的または町レベル・小学校区レベルでの利用が多い施設については、116円/人(沖美公民館)～4,457円(大柿厚生文化センター)となっています。

図3-16 運営管理経費・利用者数・利用者1人当たりコストの状況(平成23年度) (1/2)

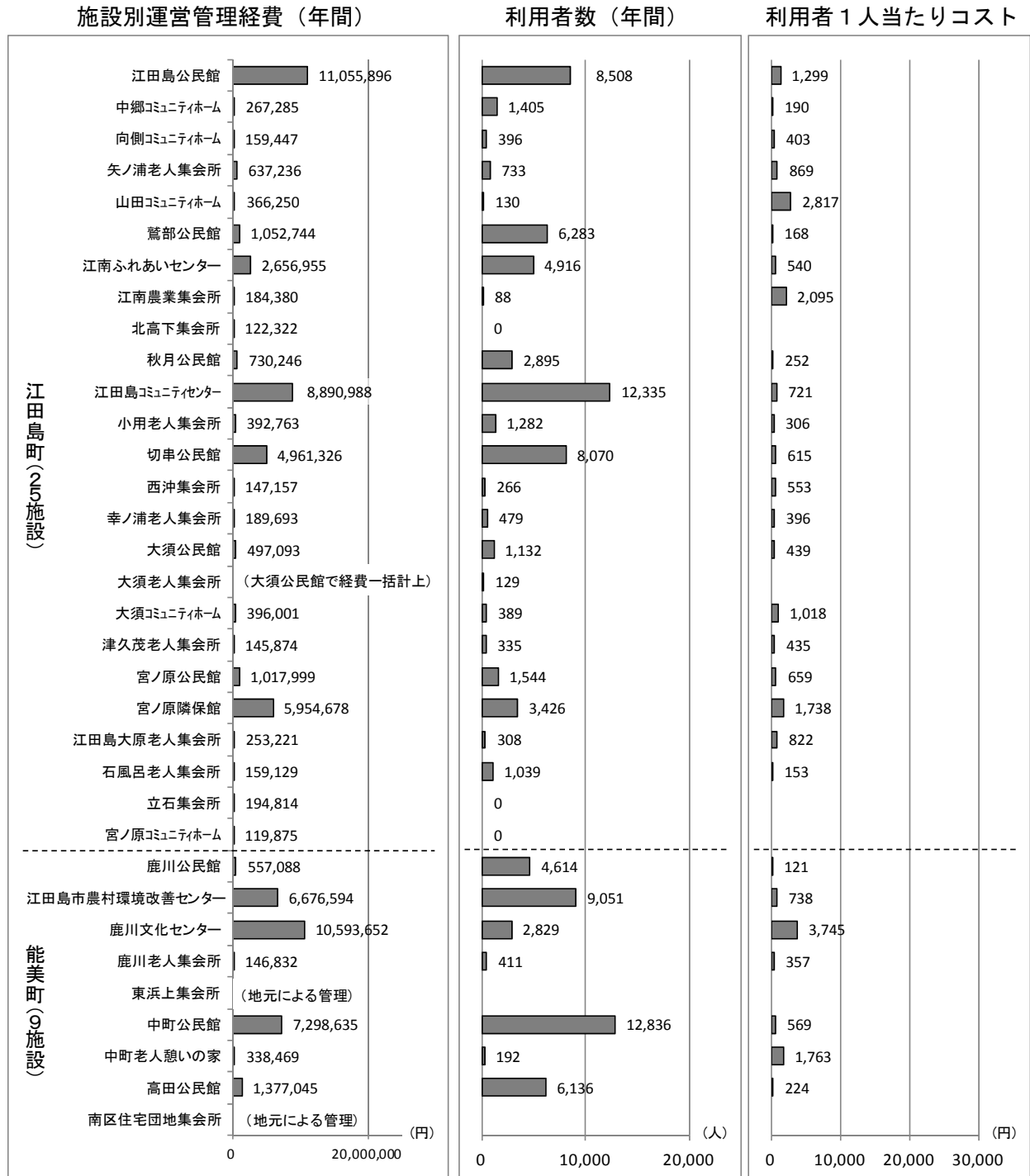
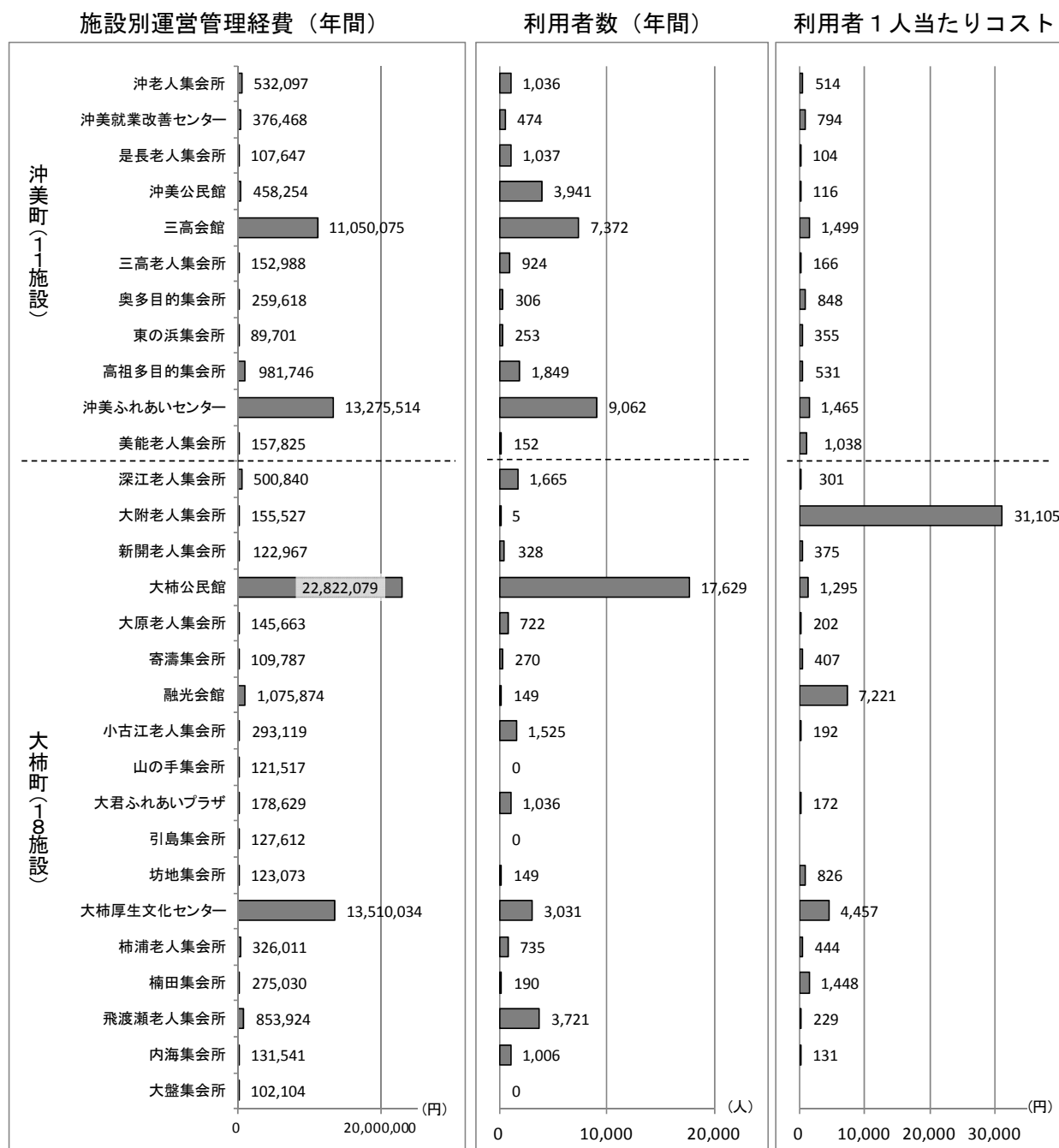


図3-16 運営管理経費・利用者数・利用者1人当たりコストの状況（平成23年度）（2/2）



(3) 建築時期と大規模改修等の検討の必要性

建築時期からみると、40施設が1982年度以前（建築後30年以上）の建築となっており、すでに大規模改修の必要となる時期の目安を迎えています。

また、前記の施設を含め63施設中61施設（三高会館、東の浜集会所以外）が、今後20年までに建築後30年を迎えることとなります。

さらに、向側コミュニティホーム、沖美公民館、鹿川公民館、中町老人憩いの家の4施設については、今後20年までに建替えの必要となる時期の目安である建築後60年を迎えることとなります。

表3-9 建築後30年及び60年を迎える施設（今後20年先まで）～市民文化系施設～

区分	今後5年 (2013～2017年度)	今後6～10年 (2018～2022年度)	今後11～15年 (2023～2027年度)	今後16～20年 (2028～2032年度)
建築後30年を迎える施設	<2012年度までに築30年を経過した建物> ※ページ最下枠の40施設 <2013年度> ※これ以降については、すべて新耐震基準建物 引島集会所 奥多目的集会所 <2014年度> - <2015年度> - <2016年度> 鷺部公民館 <2017年度> -	<2018年度> 新開老人集会所 <2019年度> 大原老人集会所 坊地集会所 <2020年度> - <2021年度> - <2022年度> 江田島コミュニティセンター 江田島市農村環境改善センター 内海集会所	<2023年度> 大君ふれあいプラザ <2024年度> 沖美ふれあいセンター <2025年度> - <2026年度> 大盤集会所 <2027年度> 宮ノ原コミュニティホーム	<2028年度> - <2029年度> 江南ふれあいセンター 東浜上集会所 <2030年度> 南区住宅団地集会所 <2031年度> 中郷コミュニティホーム 寄濤集会所 楠田集会所 <2032年度> 高祖多目的集会所 山の手集会所
建築後60年を迎える施設	<2013年度> - <2014年度> - <2015年度> 向側コミュニティホーム <2016年度> - <2017年度> -	<2018年度> - <2019年度> - <2020年度> - <2021年度> - <2022年度> -	<2023年度> - <2024年度> - <2025年度> - <2026年度> 沖美公民館 <2027年度> -	<2028年度> - <2029年度> - <2030年度> - <2031年度> 鹿川公民館 中町老人憩いの家 <2032年度> -

※建築後30年：一般的に大規模改修の必要な時期の目安とされています。

※建築後60年：一般的に建替えの必要な時期の目安とされています。

<2012年度までに築30年を経過した建物：40施設>

★：新耐震基準建物（1982年度建築）もしくは耐震診断の適合建物

江田島公民館、向側コミュニティホーム、矢ノ浦老人集会所、山田コミュニティホーム、北高下集会所、秋月公民館、小用老人集会所、切申公民館、西沖集会所、幸ノ浦老人集会所、大須公民館、大須老人集会所、大須コミュニティホーム、津久茂老人集会所、宮ノ原公民館、宮ノ原隣保館★、江田島大原老人集会所、石風呂老人集会所、立石集会所、江南農業集会所、鹿川公民館、鹿川文化センター、鹿川老人集会所、中町公民館、中町老人憩いの家、高田公民館、沖老人集会所、沖美就業改善センター、是長老人集会所、沖美公民館、三高老人集会所、美能老人集会所、深江老人集会所、大附老人集会所、大柿公民館、融光会館、小古江老人集会所★、大柿厚生文化センター、柿浦老人集会所、飛渡瀬老人集会所

表3-10 市民文化系施設一覧(1/3)

通し番号	町	地区	都市計画マスタープラン上の都市構造(注)	施設名	建築時期(主な棟)	新耐震基準	H23年度利用者(人)	延床面積(m ²)	総床面積(m ²)	住民基本台帳人口H24/4/1	人口1人当たりの床面積(m ² /人)	人口1人当たりの運営管理経費(円/人)
1	江田島	中央	地域	江田島公民館	1980	—	8,508	1,432	2,058	1,546	1.33	8,076
2	江田島	中央	地域	中郷コミュニティホーム	2001	○	1,405	123				
3	江田島	中央	地域	向側コミュニティホーム	1955	—	396	146				
4	江田島	中央	地域	矢ノ浦老人集会所	1975	—	733	160				
5	江田島	中央	地域	山田コミュニティホーム	1980	—	130	197				
6	江田島	鷺部	コミュ	鷺部公民館	1986	○	6,283	616	616	1,038	0.59	1,014
7	江田島	江南	都市	江南ふれあいセンター	1999	○	4,916	630	932	647	1.44	4,581
8	江田島	江南	都市	江南農業集会所	1978	—	88	219				
9	江田島	江南	都市	北高下集会所	1976	—	0	83				
10	江田島	秋月	コミュ	秋月公民館	1977	—	2,895	443	443	573	0.77	1,274
11	江田島	小用	生活	江田島コミュニティセンター	1992	○	12,335	1,293	1,455	1,582	0.92	5,868
12	江田島	小用	生活	小用老人集会所	1979	—	1,282	162				
13	江田島	切串	生活	切串公民館	1979	—	8,070	903	999	1,930	0.52	2,647
14	江田島	切串	生活	西沖集会所	1977	—	266	96				
15	江田島	幸ノ浦	コミュ	幸ノ浦老人集会所	1976	—	479	103	103	78	1.32	2,432
16	江田島	大須	コミュ	大須公民館	1977	—	1,132	617	1,159	260	4.46	3,435
17	江田島	大須	コミュ	大須老人集会所	1977	—	129	355				
18	江田島	大須	コミュ	大須コミュニティホーム	1979	—	389	187				
19	江田島	津久茂	コミュ	津久茂老人集会所	1976	—	335	117	117	671	0.17	217
20	江田島	宮ノ原	コミュ	宮ノ原公民館	1971	—	1,544	298	1,167	911	1.28	8,452
21	江田島	宮ノ原	コミュ	宮ノ原隣保館	1982	○	3,426	492				
22	江田島	宮ノ原	コミュ	江田島大原老人集会所	1977	—	308	149				
23	江田島	宮ノ原	コミュ	石風呂老人集会所	1977	—	1,039	53				
24	江田島	宮ノ原	コミュ	立石集会所	1978	—	0	83				
25	江田島	宮ノ原	コミュ	宮ノ原コミュニティホーム	1997	○	0	92				

注：都市：都市拠点，地域：地域拠点，生活：生活拠点，コミュ：コミュニティ中心地

表3-10 市民文化系施設一覧(2/3)

通し 番号	町	地区	都市計画マ スタープラン上の 都市構造(注)	施設名	建築時期 (主な棟)	新耐震 基準	H23年度 利用者 (人)	延床面積 (㎡)	総床面積 (㎡)	住民基本 台帳人口 H24/4/1	人口1人当り の床面積 (㎡/人)	人口1人当りの 運営管理経費 (円/人)
26	能美	鹿川	生活	鹿川公民館	1971	—	4,614	395	2,395	2,210	1.08	8,133
27	能美	鹿川	生活	江田島市農村環境改善センター	1992	○	9,051	1,309				
28	能美	鹿川	生活	鹿川文化センター	1981	—	2,829	375				
29	能美	鹿川	生活	鹿川老人集会所	1975	—	411	267				
30	能美	鹿川	生活	東浜上集会所	1999	○	—	49				
31	能美	中町	地域	中町公民館	1980	—	12,836	1,071	1,250	2,087	0.60	3,659
32	能美	中町	地域	中町老人憩いの家	1971	—	192	179				
33	能美	高田	生活	高田公民館	1974	—	6,136	516	627	1,246	0.50	1,105
34	能美	高田	生活	南区住宅団地集会所	2000	○	—	111				
35	沖美	岡大王	生活	沖老人集会所	1980	—	1,036	136	136	521	0.26	1,021
36	沖美	畑	生活	沖美就業改善センター	1981	—	474	339	339	295	1.15	1,276
37	沖美	是長	コミュ	是長老人集会所	1977	—	1,037	118	118	574	0.21	188
38	沖美	三吉	地域	沖美公民館	1966	—	3,941	566	1,508	1,172	1.29	10,248
39	沖美	三吉	地域	三高会館	2007	○	7,372	560				
40	沖美	三吉	地域	三高老人集会所	1978	—	924	151				
41	沖美	三吉	地域	奥多目的集会所	1983	○	306	120				
42	沖美	三吉	地域	東の浜集会所	2006	○	253	111				
43	沖美	高祖	地域	高祖多目的集会所	2002	○	1,849	214	214	498	0.43	1,971
44	沖美	美能	コミュ	沖美ふれあいセンター (沖美保健センター)	1994	○	9,062	2,489	2,571	361	7.12	37,211
45	沖美	美能	コミュ	美能老人集会所	1978	—	152	82				

注：都市：都市拠点，地域：地域拠点，生活：生活拠点，コミュ：コミュニティ中心地

東浜上集会所及び南区住宅団地集会所については，地元による管理

表3-10 市民文化系施設一覧（3/3）

通し 番号	町	地区	都市計画マ スタープラン上の 都市構造(注)	施設名	建築時期 (主な棟)	新耐 震基準	H23年度 利用者 (人)	延床面積 (㎡)	総床面積 (㎡)	住民基本 台帳人口 H24/4/1	人口1人当 たりの床面積 (㎡/人)	人口1人当 たりの 運営管理経費 (円/人)
46	大柿	深江	コミュ	深江老人集会所	1982	—	1,665	230	415	817	0.51	954
47	大柿	深江	コミュ	大附老人集会所	1973	—	5	102				
48	大柿	深江	コミュ	新開老人集会所	1988	○	328	83				
49	大柿	大原	地域	大柿公民館	1978	—	17,629	2,150	2,669	2,388	1.12	10,114
50	大柿	大原	地域	大原老人集会所	1989	○	722	148				
51	大柿	大原	地域	寄濤集会所	2001	○	270	99				
52	大柿	大原	地域	融光会館	1981	—	149	272				
53	大柿	小古江	コミュ	小古江老人集会所	1982	○	1,525	103	103	515	0.20	569
54	大柿	大君	コミュ	山の手集会所	2002	○	0	100	259	909	0.28	330
55	大柿	大君	コミュ	大君ふれあいプラザ	1993	○	1,036	159				
56	大柿	柿浦	生活	引島集会所	1983	○	0	83	930	1,659	0.56	8,657
57	大柿	柿浦	生活	坊地集会所	1989	○	149	82				
58	大柿	柿浦	生活	大柿厚生文化センター	1981	—	3,031	548				
59	大柿	柿浦	生活	柿浦老人集会所	1981	—	735	118				
60	大柿	柿浦	生活	楠田集会所	2001	○	190	99	535	1,409	0.38	772
61	大柿	飛渡瀬	都市	飛渡瀬老人集会所	1976	—	3,721	354				
62	大柿	飛渡瀬	都市	内海集会所	1992	○	1,006	87				
63	大柿	飛渡瀬	都市	大盤集会所	1996	○	0	94				

注：都市：都市拠点，地域：地域拠点，生活：生活拠点，コミュ：コミュニティ中心地

2 社会教育系施設

(1) 立地状況

江田島市における社会教育系施設は6施設が立地しており、図書館が2施設、博物館等が4施設となっています。

町別にみると、大柿町に3施設(50.0%)あり、次いで江田島町が2施設(33.3%)、能美町が1施設(16.7%)となっており、沖美町に該当する施設はありません。

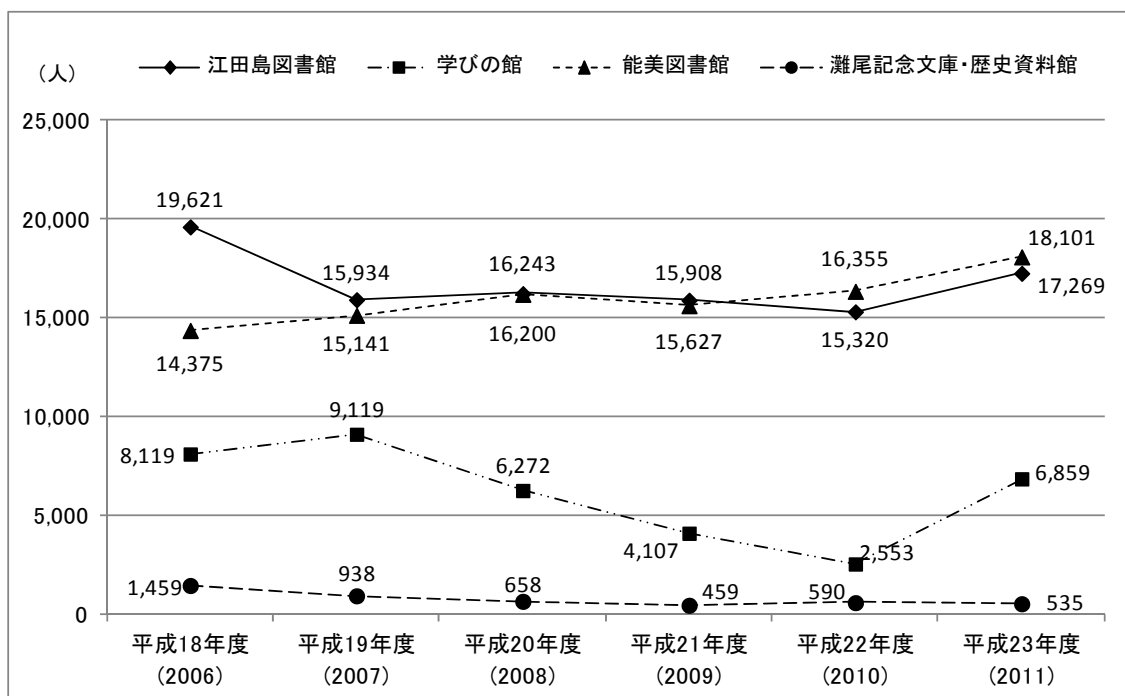
(2) 運営管理経費と利用状況

運営管理経費(平成23年度)は、江田島図書館が約3,212万円で最も高く、次いで大柿自然環境体験学習交流館が約2,620万円、能美図書館が約2,521万円などとなっています。

平成23(2011)年度における利用者数をみると、図書館2施設は17,000人を超えています、灘尾記念文庫・大柿地区歴史資料館は535人、平塩記念郷土館は4人となっています。

利用者1人当たりの運営管理経費は、利用者数が少ない平塩記念郷土館が45,742円/人と突出しています。その他の施設では、461円/人(江田島市学びの館)~4,982円/人(灘尾記念文庫・大柿地区歴史資料館)となっています。

図3-17 社会教育系施設4施設の利用者数推移(年度)



(3) 建築時期と大規模改修等の検討の必要性

建築時期からみると、大柿自然環境体験学習交流館と平塩記念郷土館が、建築後30年を迎えています。

また、すべての施設が、今後20年までに建築後30年を迎えることとなります。

さらに、大柿自然環境体験学習交流館(校舎)については、今後20年までに建築後60年を迎えることとなります。

表3-11 建築後30年及び60年を迎える施設（今後20年先まで）～社会教育系施設～

区分	今後5年 (2013～2017年度)	今後6～10年 (2018～2022年度)	今後11～15年 (2023～2027年度)	今後16～20年 (2028～2032年度)
建築後30年を迎える施設	<2012年度までに築30年を経過した建物> 大柿自然環境体験学習交流館（校舎・屋内運動場） 平塩記念郷土館 <2016年度> ※これ以降については、すべて新耐震基準建物 灘尾記念文庫・大柿地区歴史資料館 能美図書館	<2021年度> 江田島図書館	—	<2032年度> 江田島市学びの館
建築後60年を迎える施設	<2015年度> 平塩記念郷土館	—	—	<2029年度> 大柿自然環境体験学習交流館（校舎）

※建築後30年：一般的に大規模改修の必要な時期の目安とされています。

※建築後60年：一般的に建替えの必要な時期の目安とされています。

表3-12 社会教育系施設一覧

区分	町	施設名（主な棟）	建築時期 (主な棟)	新耐震基準	H23年度利用者 (人)	延床面積 (㎡)	運営管理経費 (円)	利用者1人当たりの 運営管理経費 (円/人)	
図書館	江田島	江田島図書館	1991	○	17,269	632	32,119,177	1,860	
	能美	能美図書館	1986	○	18,101	464	25,214,723	1,393	
博物館等	江田島	江田島市学びの館	2002	○	6,859	322	3,164,151	461	
	大柿	灘尾記念文庫・大柿地区歴史資料館 (複合：大柿老人福祉センター)	1986	○	535	303	2,665,459	4,982	
	大柿	大柿自然環境体験学習交流館	校舎	1969	—	7,626	2,205	26,165,231	3,431
			屋内運動場	1974	—				
大柿	平塩記念郷土館	1955	—	4	120	182,967	45,742		

3 スポーツ・レクリエーション系施設

(1) 立地状況

江田島市におけるスポーツ・レクリエーション系施設は12施設が立地しており、スポーツ施設が8施設、レクリエーション施設・観光施設が4施設となっています。

町別にみると、江田島町に6施設(50.0%)あり、次いで能美町が3施設(25.0%)、沖美町2施設(16.7%)、大柿町1施設(8.3%)となっています。

また、全市的な行事での利用が多い施設としては、江田島市スポーツセンターがあります。

(2) 運営管理経費と利用状況

運営管理経費（平成23年度）は、江田島市スポーツセンターが約1,007万円で最も高く、次いで江田島市武道館が約407万円、江田島市ふるさと交流館が290万円などとなっています。

平成23(2011)年度における利用者数をみると、シーサイド温泉のうみが107,771人と最も多く、次いで江田島市スポーツセンターが29,522人、国民宿舎能美海上ロッジが15,659人となっている一方で、津久茂・宮ノ原・沖・大君の各体育館は利用者数が千人台にとどまっています。

利用者数の推移をみると、江田島市スポーツセンターは平成18(2006)年度から22(2010)年度にかけて増加し、江田島市武道館は横ばいとなっています。

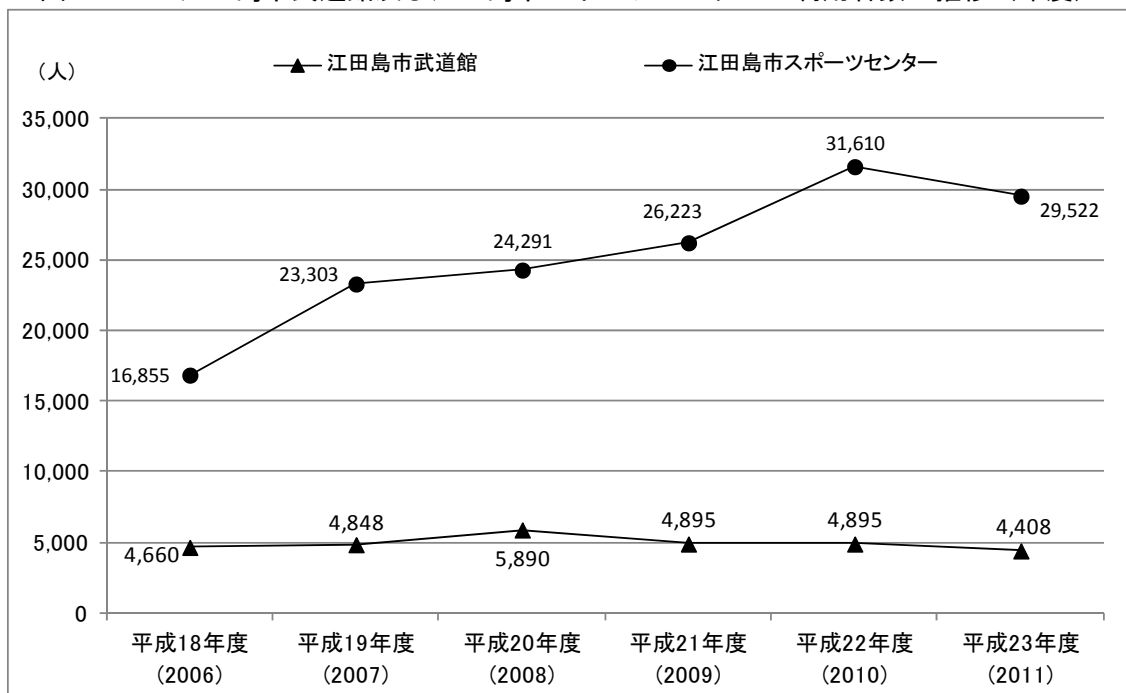
利用者1人当たりの運営管理経費は、7円/人（大君体育館）～924円/人（江田島市武道館）となっています。

なお、運営管理経費に対する使用料収入の割合は、次の表のとおりです。

表3-13 スポーツ施設の運営管理経費に対する使用料収入の割合

施設	運営管理経費	使用料収入	使用料の割合
スポーツ施設 8施設	17,370,787円	3,636,750円	20.9%

図3-18 江田島市武道館及び江田島市スポーツセンターの利用者数の推移（年度）



(3) 建築時期と大規模改修等の検討の必要性

建築時期からみると、切串体育館、津久茂体育館、宮ノ原体育館、国民宿舎能美海上ロッジの4施設は、建築後30年を経過しており、これらを含め今後20年でみると12施設すべてが建築後30年を迎えます。

また、国民宿舎能美海上ロッジは今後15年までに、切串体育館と宮ノ原体育館については今後20年までに、建築後60年を迎えることとなります。

表3-14 建築後30年及び60年を迎える施設（今後20年先まで）～スポーツ・レクリエーション系施設～

区分	今後5年 (2013～2017年度)	今後6～10年 (2018～2022年度)	今後11～15年 (2023～2027年度)	今後16～20年 (2028～2032年度)
建築後30年を迎える施設	<2012年度までに築30年を経過した建物> 切串体育館 津久茂体育館 宮ノ原体育館 国民宿舎能美海上ロッジ <2014年度> ※これ以降については、すべて新耐震基準建物 秋月体育館	<2018年度> 沖体育館 大君体育館	<2023年度> 江田島市ふるさと交流館 <2024年度> 江田島市スポーツセンター <2026年度> 江田島市武道館 サンビーチおきみ	<2028年度> シーサイド温泉のうみ
建築後60年を迎える施設	—	—	<2027年度> 国民宿舎能美海上ロッジ	<2031年度> 切串体育館 <2032年度> 宮ノ原体育館

※建築後30年：一般的に大規模改修の必要な時期の目安とされています。

※建築後60年：一般的に建替えの必要な時期の目安とされています。

表3-15 スポーツ・レクリエーション系施設一覧

区分	町	施設名	建築時期 (主な棟)	新耐震基準	H23年度 利用者 (人)	延床面積 (㎡)	運営管理経費 (円)	利用者1人当たりの 運営管理経費 (円/人)
スポーツ施設	江田島	江田島市武道館	1996	○	4,408	707	4,073,687	924
	江田島	秋月体育館	1984	○	3,300	548	633,533	192
	江田島	切串体育館	1971	—	2,834	830	1,515,035	535
	江田島	津久茂体育館	1980	—	1,923	528	443,910	231
	江田島	宮ノ原体育館	1972	—	1,079	475	595,757	552
	能美	江田島市スポーツセンター	1994	○	29,522	3,944	10,067,655	341
	沖美	沖体育館	1988	○	1,757	611	30,550	17
	大柿	大君体育館	1988	○	1,527	841	10,660	7
レク・観光施設	江田島	江田島市ふるさと交流館	1993	○	8,402	259	2,900,000	345
	能美	シーサイド温泉のうみ	1998	○	107,771	1,358	指定管理	—
	能美	国民宿舎能美海上ロッジ	1967	—	15,659	1,789	指定管理	—
	沖美	サンビーチおきみ	1996	○	4,703	2,144	指定管理	—

※指定管理施設のシーサイド温泉のうみ、国民宿舎能美海上ロッジ、サンビーチおきみは3施設合計で10,000,000円の委託費となっています。

4 産業系施設

(1) 立地状況

江田島市における産業系施設は6施設が立地しています。

町別にみると、江田島町に3施設(50.0%)あり、次いで大柿町が2施設(33.3%)、沖美町1施設(16.7%)となっており、能美町に産業系施設はありません。

(2) 運営管理経費と利用状況

運営管理経費(平成23年度)は、江田島市交流促進センターが約357万円で最も高く、次いで海辺の新鮮市場が約240万円、大柿産品加工センターが約84万円などとなっています。

平成23(2011)年度における利用者数をみると、江田島市交流促進センターは89,720人、海辺の新鮮市場は45,988人となっている一方で、宮ノ原水産振興センター、沖美産品開発センター、大柿産品加工センターの3施設は千人を下回っています。

利用者1人当たりの運営管理経費は、大柿産品加工センターが1,730円と突出しており、その他の施設は20円/人(切串シーサイドハウス)～841円/人(宮ノ原水産振興センター)となっています。

(3) 建築時期と大規模改修等の検討の必要性

建築時期からみると、沖美産品開発センターが建築後30年を経過しており、今後20年では6施設中5施設でその時期を迎えることとなります。

産業系施設については、1982年以降に建築されていることもあり、今後20年間で建築後60年を迎える施設はありません。

表3-16 建築後30年及び60年を迎える施設(今後20年先まで)～産業系施設～

区分	今後5年 (2013～2017年度)	今後6～10年 (2018～2022年度)	今後11～15年 (2023～2027年度)	今後16～20年 (2028～2032年度)
30年 施設を 迎	<2012年度までに築30年を経過した建物> 沖美産品開発センター	<2021年度> 切串シーサイドハウス	<2023年度> 大柿産品加工センター <2025年度> 江田島市交流促進センター	<2029年度> 海辺の新鮮市場
60年 施設を 迎	—	—	—	—

※建築後30年：一般的に大規模改修の必要な時期の目安とされています。

※建築後60年：一般的に建替えの必要な時期の目安とされています。

※すべて新耐震基準建物

表3-17 産業系施設一覧

町	施設名	建築時期 (主な棟)	新耐震基準	H23年度 利用者 (人)	延床面積 (㎡)	運営管理経費 (円)	利用者1人当たりの 運営管理経費 (円/人)
江田島	海辺の海鮮市場	1999	○	45,988	394	2,398,925	52
江田島	切串シーサイドハウス	1991	○	5,000	208	100,000	20
江田島	宮ノ原水産振興センター	2004	○	285	249	239,784	841
沖美	沖美産品開発センター	1982	○	906	377	226,567	250
大柿	大柿産品加工センター	1993	○	483	155	835,332	1,730
大柿	江田島市交流促進センター	1995	○	89,720	364	3,565,836	40

※江田島市海辺の新鮮市場、切串シーサイドハウス、江田島市交流促進センターは指定管理施設。

5 学校教育系施設

(1) 立地状況

江田島市における学校教育系施設は16施設35棟（主な建物）が立地しており、内訳としては学校が13施設（小学校9施設，中学校4施設），その他教育施設が3施設となっています。

町別にみると，能美町と大柿町に各5施設（各31.3%）あり，次いで江田島町が4施設（25.0%），沖美町が2施設（12.5%）となっています。

(2) 運営管理経費

運営管理経費（平成23年度）は，西能美学校給食共同調理場が約8,951万円，次いで江田島学校給食共同調理場が約8,199万円，大柿学校給食共同調理場が約4,405万円となっています。

また，小中学校の運営管理経費は，能美中学校が約1,736万円，江田島小学校が約730万円，大柿中学校が約580万円などとなっています。

なお，県費で負担する教職員の人件費は除いています。

(3) 建築時期と大規模改修等の検討の必要性

建築時期からみると，平成24(2012)，25(2013)年度において建替え中の能美中学校校舎3棟を除くと，9施設13棟ですでに建築後30年を経過しているほか，今後5年でさらに3施設4棟が建築後30年を迎えることとなります。また，今後20年でみると，15施設（西能学校給食共同調理場以外すべて）26棟が建築後30年以上となります。

さらに，比較的古い時期に建築された施設が多いことから，今後20年では建替え中の能美中学校校舎3棟を除く6施設6棟が建築後60年を迎えることとなります。

表3-18 建築後30年及び60年を迎える施設（今後20年先まで）～学校教育系施設～

区分	今後5年 (2013～2017年度)	今後6～10年 (2018～2022年度)	今後11～15年 (2023～2027年度)	今後16～20年 (2028～2032年度)
建築後30年を迎える施設	<p><2012年度までに築30年を経過した建物> 江田島小学校 (屋内運動場) 鹿川小学校(屋内運動場) 中町小学校 (校舎★・屋内運動場) 高田小学校(校舎★) 能美中学校 (校舎3棟:建替え中) 三高小学校 (校舎2・屋内運動場) 三高中学校(校舎) 柿浦小学校 (校舎2棟) 飛渡瀬小学校(校舎) ※H23年度末閉校 大柿中学校 (校舎★・特別教室★)</p> <p><2014年度> ※これ以降については、 すべて新耐震基準建物 切串小学校(校舎) 大古小学校(特別教室)</p> <p><2015年度> 切串小学校(屋内運動場) 大柿中学校(屋内運動場)</p>	<p><2018年度> 飛渡瀬小学校 (屋内運動場)</p> <p><2019年度> 江田島中学校 (屋内運動場)</p> <p><2020年度> 三高中学校(屋内運動場)</p>	<p><2023年度> 大柿学校給食共同調理場</p> <p><2024年度> 江田島学校給食共同調理場</p>	<p><2032年度> 高田小学校(屋内運動場) 能美中学校(屋内運動場) 三高小学校(校舎1) 大古小学校(屋内運動場)</p>
建築後60年を迎える施設	—	<p><2019～21年度> 能美中学校(校舎3棟) ※H24, 25年度で建替え中</p>	<p><2026年度> 江田島小学校 (屋内運動場)</p>	<p><2029年度> 柿浦小学校(校舎1) 飛渡瀬小学校(校舎) ※H23年度末閉校</p> <p><2030年度> 三高小学校(屋内運動場)</p> <p><2032年度> 中町小学校(屋内運動場) 鹿川小学校(屋内運動場)</p>

※建築後30年：一般的に大規模改修の必要な時期の目安とされています。

※建築後60年：一般的に建替えの必要な時期の目安とされています。

※2012年度までに築30年を経過した建物のうち★は、新耐震基準建物（1982年度建築）もしくは耐震診断の適合建物。

表 3-19 学校教育系施設一覧

区分	町	施設名 (主な棟)	建築時期 (主な棟)	新耐震基準	延床面積 (㎡)	運営管理経費 (円)	
小学校	江田島	江田島小学校	校舎	2009	○	6,232	7,300,349
			屋内運動場	1966	—		
	江田島	切串小学校	校舎	1984	○	3,437	4,065,970
			屋内運動場	1985	○		
	能美	鹿川小学校	校舎	2005	○	3,517	3,446,353
			屋内運動場	1972	—		
	能美	中町小学校	校舎	1977	○	2,601	2,563,513
			屋内運動場	1972	—		
	能美	高田小学校	校舎	1978	○	2,908	3,220,515
			屋内運動場	2002	○		
	沖美	三高小学校	校舎 1	2002	○	3,761	5,311,832
			校舎 2	1978	—		
			屋内運動場	1970	—		
	大柿	大古小学校	校舎	2003	○	4,363	5,320,878
特別教室			1984	○			
屋内運動場			2002	○			
大柿	柿浦小学校	校舎 1	1969	—	3,032	2,870,239	
		校舎 2	1980	—			
		屋内運動場	1973	○			
大柿	飛渡瀬小学校 ※H23 年度末閉校	校舎	1969	—	2,445	3,700,443	
		屋内運動場	1988	○			
中学校	江田島	江田島中学校	校舎	2008	○	4,955	4,848,428
			屋内運動場	1989	○		
	能美	能美中学校 ※校舎 3 棟は建替え中	校舎 1	1959	—	4,894	17,363,801
			校舎 2	1960	—		
			校舎 3	1961	—		
			屋内運動場	2002	○		
	沖美	三高中学校	校舎	1979	—	3,183	2,509,232
			屋内運動場	1990	○		
	大柿	大柿中学校	校舎	1974	○	7,806	5,797,808
特別教室			1976	○			
屋内運動場			1985	○			
その他	江田島	江田島学校給食共同調理場	1994	○	598	81,986,969	
	能美	西能学校給食共同調理場	2006	○	652	89,507,127	
	大柿	大柿学校給食共同調理場	1993	○	575	44,054,617	

※県費で負担する、小中学校の教職員人件費は除く。

6 子育て支援施設

(1) 立地状況

江田島市における子育て支援施設は18施設が立地しており、内訳としては幼稚園・保育園が12施設（幼稚園1施設、保育園11施設）、幼児・児童施設が6施設となっています。

町別にみると、江田島町が8施設(44.4%)で最も多く、次いで能美町5施設(27.8%)、大柿町4施設(22.2%)、沖美町1施設(5.6%)となっています。

(2) 運営管理経費と利用状況

幼稚園・保育園の運営管理経費（平成23年度）は、大古保育園約6,457万円のほか、中町保育園が約6,041万円、鹿川保育園が約5,625万円などとなっています。

幼児・児童施設についてみると、子育て支援センターが約4,573万円で最も高く、次いで放課後児童クラブ室が約817万円、中町児童館が約579万円などとなっています。

平成23(2011)年度の利用者数は、大古保育園が25,032人、鹿川保育園が20,264人、飛渡瀬保育園が17,284人などとなっていますが、幼児・児童施設のうち児童館についてはいずれも1万人を下回っています。

利用者1人当たりの運営管理経費は、471円/人（柿浦児童館）～5,429円/人（高田保育園）となっています

(3) 建築時期と大規模改修等の検討の必要性

建築時期からみると、18施設中14施設ですでに建築後30年を経過しています。これらを含め、今後15年までに中町児童館を除く17施設が建築後30年以上となります。

今後20年間では、柿浦保育園のみが建築後60時期を迎えますが、子育て施設の多くが1970年代から1980年代前半に建築されており、その後の10年間に建築後60年を迎えることとなります。

表3-20 建築後30年及び60年を迎える施設（今後20年先まで）～子育て支援施設～

区分	今後5年 (2013～2017年度)	今後6～10年 (2018～2022年度)	今後11～15年 (2023～2027年度)	今後16～20年 (2028～2032年度)
建築後30年を迎える施設	<p><2012年度までに築30年を経過した建物> 江田島幼稚園 江田島保育園 小用保育園 切串保育園 宮ノ原保育園 子育て支援センター 津久茂児童館★ 鹿川保育園 中町保育園 高田保育園 大古保育園★ 柿浦保育園 飛渡瀬保育園 柿浦児童館</p> <p><2014年度> ※これ以降については、 すべて新耐震基準建物 高田児童館</p> <p><2015年度> 放課後児童クラブ室</p>	—	<2025年度> 三高保育園	—
建築後60年を迎える施設	—	—	—	<2032年度> 柿浦保育園

※建築後30年：一般的に大規模改修の必要な時期の目安とされています。

※建築後60年：一般的に建替えの必要な時期の目安とされています。

※2012年度までに築30年を経過した建物のうち★は、新耐震基準建物（1982年度建築）もしくは耐震診断の適合建物

表3-21 子育て支援施設一覧

区分	町	施設名	建築時期 (主な棟)	新耐 震基 準	H23年度 利用者 (人)	延床 面積 (㎡)	運営管理経費 (円)	利用者1人当 たりの運営管理経費 (円/人)
幼稚園	江田島	江田島幼稚園 ※H23年度末閉園	1981	—	3,200	634	15,943,900	4,982
保育園	江田島	江田島保育園	1976	—	8,046	929	40,054,403	4,978
	江田島	小用保育園	1979	—	16,092	1,069	54,251,977	3,371
	江田島	切串保育園	1981	—	13,410	1,054	39,382,949	2,937
	江田島	宮ノ原保育園	1975	—	11,622	632	34,938,313	3,006
	能美	鹿川保育園	1975	—	20,264	850	56,253,543	2,776
	能美	中町保育園	1979	—	16,986	883	60,406,852	3,556
	能美	高田保育園	1978	—	6,258	636	33,974,820	5,429
	沖美	三高保育園	1995	○	14,602	1,219	48,348,233	3,311
	大柿	大古保育園	1982	○	25,032	788	64,568,448	2,579
	大柿	柿浦保育園	1972	—	9,238	563	39,429,741	4,268
大柿	飛渡瀬保育園	1977	—	17,284	561	46,764,098	2,706	
幼児・ 児童施 設	江田島	放課後児童クラブ室	1985	○	12,000	255	8,173,658	681
	江田島	子育て支援センター	1977	—	10,556	448	45,730,039	4,332
	江田島	津久茂児童館 (複合：津久茂出張所)	1982	○	1,584	240	1,643,343	1,037
	能美	中町児童館	2004	○	6,423	272	5,788,097	901
	能美	高田児童館	1984	○	3,425	207	2,394,426	699
	大柿	柿浦児童館 (複合：大柿厚生文化センタ ー、柿浦連絡所)	1981	—	4,172	258	1,964,038	471

7 保健・福祉施設

(1) 立地状況

江田島市における保健・福祉施設は7施設が立地しており、内訳としては高齢福祉施設が3施設、保健施設が4施設となっています。

町別にみると、高齢福祉施設は江田島町、能美町、大柿町に各1施設(各33.3%)、保健施設は各町に1施設(各25.0%)ずつ立地しています。

(2) 運営管理経費と利用状況

運営管理経費(平成23年度)は、大柿老人福祉センターが約344万円で最も高く、次いで能美保健センターが約138万円、大柿保健センターが約102万円などとなっています。

平成23(2011)年度の利用者数は、能美保健センターが6,038人で最も多く、次いで江田島老人福祉センターが5,725人、大柿老人福祉センターが2,207人などとなっています。

(注：沖美保健センターは沖美ふれあいセンターと合算のため除く。)

(3) 建築時期と大規模改修等の検討の必要性

建築時期からみると、江田島老人福祉センターがすでに建築後30年を経過しています。

また、今後5年では大柿老人福祉センターが建築後30年を迎え、さらに今後20年では全7施設が建築後30年以上となります。

表3-22 建築後30年及び60年を迎える施設(今後20年先まで)～保健・福祉施設～

区分	今後5年 (2013～2017年度)	今後6～10年 (2018～2022年度)	今後11～15年 (2023～2027年度)	今後16～20年 (2028～2032年度)
建築後30年を迎える施設	<2012年度までに築30年を経過した建物> 江田島老人福祉センター <2016年度> ※これ以降については、 すべて新耐震基準建物 大柿老人福祉センター	—	<2024年度> 沖美保健センター <2025年度> 能美福祉センター	<2028年度> 大柿保健センター <2030年度> 江田島保健センター 能美保健センター
60年を迎える施設	—	—	—	—

※建築後30年：一般的に大規模改修の必要な時期の目安とされています。

※建築後60年：一般的に建替えの必要な時期の目安とされています。

表 3-23 保健・福祉施設一覧

区分	町	施設名	建築時期 (主な棟)	新耐震基準	H23年度 利用者 (人)	延床 面積 (㎡)	運営管理経費 (円)	利用者1人当たり の運営管理経費 (円/人)
高齢福祉施設	江田島	江田島老人福祉センター (複合：江田島公民館)	1980	—	5,725	840	630,890	110
	能美	能美福祉センター	1995	○	—	645	—	—
	大柿	大柿老人福祉センター (複合：灘尾記念文庫)	1986	○	2,207	911	3,443,058	1,560
保健施設	江田島	江田島保健センター	2000	○	1,503	1,435	935,498	622
	能美	能美保健センター	2000	○	6,038	780	1,383,467	229
	沖美	沖美保健センター (複合：沖美ふれあいセンター, 美能出張所)	1994	○	(9,062)	(2,489)	(13,275,514)	(1,465)
	大柿	大柿保健センター	1998	○	1,300	466	1,019,366	784

注：能美福祉センターは、(社)江田島市社会福祉協議会に使用を許可している。

沖美保健センターは沖美ふれあいセンターの内容を掲載。

8 行政系施設

(1) 立地状況

江田島市における行政系施設は庁舎等15施設、消防施設28施設の合計43施設が立地しています。

町別にみると、庁舎等では江田島町が6施設(40.0%)、能美町、沖美町、大柿町に各3施設(各20.0%)ずつ、消防施設では、江田島町が13施設(46.4%)で最も多く、次いで沖美町6施設(21.4%)、大柿町5施設(17.9%)、能美町4施設(14.3%)となっています。

(2) 運営管理経費と利用状況

運営管理経費(平成23年度)としては、市役所本庁が約10億1,649万円でも最も高く、次いで大柿分庁舎・支所の約4億3,139万円、江田島支所の約3億3,276万円となっているほか、出張所については他の施設と窓口兼務であることなどから多くの場合、人件費のみが計上されています。

消防施設については、江田島市消防本部・江田島消防署が約3億5,073万円、江田島消防署能美出張所が約1億2,862万円となっており、消防屯所の多くは10～20万円程度となっています。

利用状況についてみると、本庁を除くと江田島支所が7,211人、大柿支所が6,807人などとなっています。

(3) 建築時期と大規模改修等の検討の必要性

建築時期からみると、すでに建築後30年を経過した建物が、庁舎等では市役所本庁など12施設、消防施設で江田島市消防本部など21施設となっています。これらを含め、庁舎等では今後20年までに全施設が建築後30年以上となります。

また、沖美支所(支所庁舎)など3施設は、今後20年までに建築後60年を迎えることとなります。

表3-24 建築後30年及び60年を迎える施設（今後20年先まで）～行政系施設（庁舎等）～

区分	今後5年 (2013～2017年度)	今後6～10年 (2018～2022年度)	今後11～15年 (2023～2027年度)	今後16～20年 (2028～2032年度)
建築後30年を迎える施設	<2012年度までに築30年を経過した建物> 江田島支所 秋月出張所 切串出張所 大須出張所 津久茂出張所★ 市役所本庁（庁舎） 鹿川出張所 高田出張所 沖美支所（支所・別棟） 三高支所 深江連絡所 柿浦連絡所 <2015年度> ※これ以降については、すべて新耐震基準建物 沖美支所（別館会議室）	<2022年度> 小用出張所 市役所本庁（別館）	<2024年度> 美能出張所	<2029年度> 大柿分庁舎・支所
60年を迎える施設	—	—	<2026年度> 沖美支所（支所庁舎） 三高支所	<2031年度> 鹿川出張所

※建築後30年：一般的に大規模改修の必要な時期の目安とされています。

※建築後60年：一般的に建替えの必要な時期の目安とされています。

※2012年度までに築30年を経過した建物のうち★は、新耐震基準建物（1982年度建築）もしくは耐震診断の適合建物

表3-25 行政系施設一覧（庁舎等）

区分	町	施設名	建築時期 (主な棟)	新耐震基準	延床面積 (㎡)	運営管理経費 (円)	
本庁 支所	江田島	江田島支所	1976	—	2,628	332,759,065	
	能美	市役所本庁	庁舎	1979	—	2,907	1,016,494,108
			別館	1992	○		
	沖美	沖美支所	支所庁舎	1966	—	1,034	40,325,422
			別棟	1980	—		
別館会議室			1985	—			
大柿	大柿分庁舎・支所	1999	○	4,129	431,387,742		
出張所 連絡所	江田島	秋月出張所（複合：秋月公民館）	1977	—	(19)	852,163	
	江田島	小用出張所（複合：江田島コミュニケーション）	1992	○	(74)	839,360	
	江田島	切串出張所（複合：切串公民館）	1979	—	(29)	0	
	江田島	大須出張所 （複合：大須公民館，大須老人集会所）	1977	—	(30)	852,163	
	江田島	津久茂出張所（複合：津久茂児童館）	1982	○	(15)	0	
	能美	鹿川出張所（複合：鹿川公民館）	1971	—	24	904,720	
	能美	高田出張所（複合：高田公民館）	1974	—	53	852,163	
	沖美	三高支所（複合：沖美公民館）	1966	—	(38)	28,585,562	
	沖美	美能出張所 （複合：沖美ふれあいセンター，沖美保健センター）	1994	○	(58)	0	
	大柿	深江連絡所（複合：深江消防屯所）	1981	—	37	928,281	
	大柿	柿浦連絡所 （複合：大柿厚生文化センター，柿浦児童館）	1981	—	(29)	0	

※出張所・連絡所の（ ）付き延床面積は、複合施設の一部を利用しているため参考表記しています。

表3-26 建築後30年及び60年を迎える施設（今後20年先まで）～行政系施設（消防施設）～

区分	今後5年 (2013～2017年度)	今後6～10年 (2018～2022年度)	今後11～15年 (2023～2027年度)	今後16～20年 (2028～2032年度)
建築後30年を迎える施設	<p><2012年度までに築30年を経過した建物> ※ページ最下枠の21施設</p> <p><2013年度> ※これ以降については、すべて新耐震基準建物 中町消防屯所 奥消防屯所</p> <p><2015年度> 鹿川消防屯所 美能消防屯所</p> <p><2016年度> 切串消防屯所</p>	<p><2021年度> 飛渡瀬消防屯所</p>	—	<p><2031年度> 高祖消防屯所</p>
建築後60年を迎える施設	—	—	<p><2027年度> 鷺部消防屯所</p>	<p><2032年度> 小用消防屯所 沖消防屯所</p>

※建築後30年：一般的に大規模改修の必要な時期の目安とされています。

※建築後60年：一般的に建替えの必要な時期の目安とされています。

<2012年度までに築30年を経過した建物：21施設>

★：新耐震基準建物（1982年度建築）もしくは耐震診断の適合建物

江田島市消防本部（消防庁舎・消防車庫），中郷消防屯所★，向側消防屯所，矢ノ浦消防屯所，山田消防屯所，鷺部消防屯所，江南消防屯所，秋月消防屯所，小用消防屯所，大幸消防屯所・分団車庫，津久茂消防屯所，宮ノ原消防屯所，江田島消防署能美出張所，高田消防屯所★，沖消防屯所，是長消防屯所，三高消防屯所，深江消防屯所，大古消防屯所，大君消防屯所，柿浦消防屯所

表3-27 行政施設一覽（消防施設）

町	施設名	建築時期 (主な棟)	新耐 震基準	延床面積 (㎡)	運営管理経費 (円)
江田島	江田島市消防本部・ 江田島消防署	1974	—	1,310	350,730,623
	消防庁舎 消防車庫	1978	—		
能美	江田島消防署能美出張所	1974	—	469	128,618,654
江田島	中郷消防屯所	1982	○	92	180,382
江田島	向側消防屯所	1981	—	109	172,532
江田島	矢ノ浦消防屯所	1977	—	78	960,283
江田島	山田消防屯所	1976	—	61	151,402
江田島	鷺部消防屯所	1967	—	97	175,915
江田島	江南消防屯所（複合：江南農業集会所）	1978	—	60	115,199
江田島	秋月消防屯所	1975	—	93	211,704
江田島	小用消防屯所	1972	—	146	178,207
江田島	切串消防屯所	1986	○	109	151,410
江田島	大幸分団消防屯所 （複合：大須コミュニティホーム） 分団車庫	1979	—	40	108,562
		1978	—	51	136,492
江田島	津久茂消防屯所	1978	—	69	172,928
江田島	宮ノ原消防屯所	1977	—	96	172,928
能美	鹿川消防屯所	1985	○	108	155,772
能美	中町消防屯所	1983	○	108	110,324
能美	高田消防屯所	1982	○	78	154,673
沖美	沖消防屯所	1972	—	240	226,644
沖美	是長消防屯所	1973	—	156	128,598
沖美	高祖消防屯所（複合：高祖多目的集会所）	2002	○	67	49,972
沖美	奥消防屯所（複合：奥多目的集会所）	1983	○	26	64,864
沖美	三高消防屯所	1973	—	320	127,275
沖美	美能消防屯所	1985	○	71	127,762
大柿	深江消防屯所（複合：深江連絡所）	1981	—	111	117,778
大柿	大古消防屯所	1974	—	144	198,428
大柿	大君消防屯所	1977	—	233	256,070
大柿	柿浦消防屯所	1980	—	113	318,530
大柿	飛渡瀬消防屯所	1991	○	89	261,460

9 その他

(1) 立地状況

江田島市におけるその他に分類される建物は19施設あり、江田島町に7施設(36.8%)、能美町に1施設(5.3%)、沖美町5施設(26.3%)、大柿町6施設(31.6%)となっています。

(2) 運営管理経費と利用状況

運営管理経費(平成23年度)は、高田教職員住宅が約1,057万円のほか、鷲部教職員住宅が約607万円、旧沖小学校が約172万円、旧大君小学校が約148万円などとなっています。

(3) 建築時期と大規模改修等の検討の必要性

建築時期からみると、13施設ですでに建築後30年を迎えています。利用停止している建物も多く、今後の取り扱いの検討が必要となります。

また、本来の利用を継続している教職員住宅については、大原、高田、三高、鷲部の4施設で今後15年までに建築後30年を迎えます。

さらに、今後おおむね6年～20年の間に4施設が建築後60年となります。

表3-28 建築後30年及び60年を迎える施設(今後20年先まで)～その他～

区分	今後5年 (2013～2017年度)	今後6～10年 (2018～2022年度)	今後11～15年 (2023～2027年度)	今後16～20年 (2028～2032年度)
建築後30年を迎える施設	<2012年度までに築30年を経過した建物> 旧山本医院 旧秋月小学校★ 旧津久茂小学校 旧切串中学校 (校舎・特別教室) 旧江能広域事務組合事務所 旧沖中学校 (校舎・体育館) 旧沖小学校(校舎) 旧沖保育園 旧深江保育園 旧大君小学校 旧大君保育園 旧楠田会館 旧広島県大柿土木事務所庁舎 <2013年度> ※これ以降については、すべて新耐震基準建物 旧宮ノ原小学校	<2018年度> 大原教職員住宅 <2022年度> 高田教職員住宅	<2023年度> 三高教職員住宅 <2027年度> 鷲部教職員住宅	—
60年を迎える施設	—	<2019年度> 旧広島県大柿土木事務所庁舎	—	<2029年度> 旧沖小学校(校舎) 旧切串中学校(校舎) <2032年度> 旧沖保育園

※大規模改修：築30年を目途に実施を検討(機能を維持する場合)

※建替え：築60年を目途に実施を検討(機能を維持・更新する場合)

※2012年度までに築30年を経過した建物のうち★は、新耐震基準建物(1982年度建築)もしくは耐震診断の適合建物

表3-29 その他一覧

区分	町	施設名	建築時期 (主な棟)	新耐 震基準	延床面積 (㎡)	運営管理経費 (円)	
教職員 住宅	江田島	鷺部教職員住宅	1997	○	255	6,068,715	
	能美	高田教職員住宅	1992	○	365	10,566,663	
	沖美	三高教職員住宅	1993	○	56	31,500	
	大柿	大原教職員住宅	1988	○	209	234,164	
その他	江田島	旧江能広域事務組合事務所	1976	—	656	1,108,639	
	江田島	旧秋月小学校	1982	○	1,783	—	
	江田島	旧山本医院	1977	—	479	—	
	江田島	旧切串中学校	校舎	1969	—	2,524	—
			特別教室	1975	—		
	江田島	旧津久茂小学校	1979	—	1,756	—	
	江田島	旧宮ノ原小学校	1983	○	1,889	—	
	沖美	旧沖中学校	校舎	1973	—	2,111	—
			体育館	1974	—	826	—
	沖美	旧沖小学校	1969	—	2,399	1,720,565	
	沖美	旧沖保育園	1972	—	604	281,400	
	大柿	旧深江保育園	1974	—	310	—	
	大柿	旧広島県大柿土木事務所庁舎	1959	—	270	—	
	大柿	旧大君小学校	1977	—	1,684	1,475,636	
	大柿	旧大君保育園	1975	—	514	—	
大柿	旧楠田会館	1977	—	139	—		

※投資効果

かけた費用に対して、どのくらい効果があるかをいいます。費用対効果ともいいます。本答申では、数値的な指標として、江田島市が投じた税金を投資（費用）とし、効果を利用者数でみています。

第3節 公共施設の現状のまとめ

江田島市の公共施設は、前述のような状況にあり、また、人口の推移や市民ニーズ、社会経済状況など取り巻く環境を関連づけて、江田島市の公共施設が抱える現状を整理すると、大きくは以下の点に集約できます。

- 公共施設の老朽化とコスト負担の増加
- 公共施設の利用状況の変化
- 公共施設の受益者負担・投資効果の格差
- 公共施設の偏在
- 運営管理方法の違い

(1) 公共施設の老朽化とコスト負担の増加

江田島市の公共施設は、築30年以上を経過した施設が145棟あり、全体の52.5%を占めています。今後、耐用年数に達するまでに、維持補修、さらには一般的には大規模改修などが必要になるとともに、建替えるとなるとより多額の費用がかかることとなります。

このため、今後の大規模改修や建替えの費用を試算すると、現在の投資的経費（平成23年度決算額：約14.4億円）を超える年度が多数あり、耐用年数的に建替えが必要となる年度においては、20億円または30億円を超えるケース（2036～2041年度）も想定されます。

また、新耐震基準に適合していない建物が多数あるとともに、学校屋内運動場を除けば、備蓄倉庫のある建物は限定されます。

(2) 公共施設の利用状況の変化

江田島市の公共施設の多くは、1970年代に整備されていますが、その当時と比較すると人口が約40%減少するとともに、高齢化率が約20ポイント上昇しています。

公共施設アンケート調査によると、「公共施設を利用していない理由」として、各施設とも「利用する機会がない」と答えた人が圧倒的に多く、各施設の機能や利用方法が市民ニーズに応じ切れていない面もあると考えられます。

また、市制移行に伴って行政サービスの場や施設を統廃合したことで、各町にある保健センターなどでは利用者数に大きな差が生じるとともに、学校の統廃合等により、未利用になっている施設が増加しています。

加えて、各地区にある集会所の利用者数は、横ばい又は減少傾向にあり、1年間当たりの利用者が100人に満たない施設が7か所あります。

(3) 公共施設の受益者負担・投資効果の格差

公共施設の中には、義務教育施設のように、市民が等しく利益を受けるものもありますが、多くはスポーツセンターや公民館などのように市民が必要に応じて選択的に利用する施設です。

こうした施設において運営管理経費に占める使用料収入の割合をみると、市民文化系施設では2.6%と低く、スポーツ・レクリエーション系施設でも20.9%にとどまっています。

また、公共施設が活かされる前提は、その目的にあった形で多くの人が利用することですが、同一規模の集会施設であっても利用者数や市職員の配置状況などにより、利用者1人当たりの運営管理経費に大きなバラつきがあります。

(4) 公共施設の偏在

江田島市の公共施設は、1970年代から合併前の4町の地域特性に応じた施設整備が行われたため、現状の配置をみると、町ごとに施設規模の構成が異なっています。

公共施設の立地状況を町別にみると、江田島町と能美町では、公民館が複数の地区に整備されているのに対し、沖美町と大柿町では、町内に1施設のみが整備されています。また、集会施設についても、同一地区内に複数の施設が配置されているケースがあるなど、施設の偏在もみられます。

表3-30 町別の集会施設の規模と施設数

集会施設の規模	施設数	江田島	能美	沖美	大柿
500㎡以上～	14	6 (24.0%)	3 (33.3%)	3 (27.3%)	2 (11.1%)
150㎡以上～500㎡未満	20	9 (36.0%)	4 (44.4%)	3 (27.3%)	4 (22.2%)
～150㎡未満	29	10 (40.0%)	2 (22.2%)	5 (45.5%)	12 (66.7%)
計	63	25	9	11	18

(5) 運営管理方法の違い

江田島市の公共施設の運営管理は、それぞれの所管課で対応しているため、施設の利用申し込み窓口や鍵の管理などに違いが生じています。

さらに、公共施設の空き情報なども一括管理されていないため、利用申し込みをする際には、各所管課を把握してから照会する必要があります。

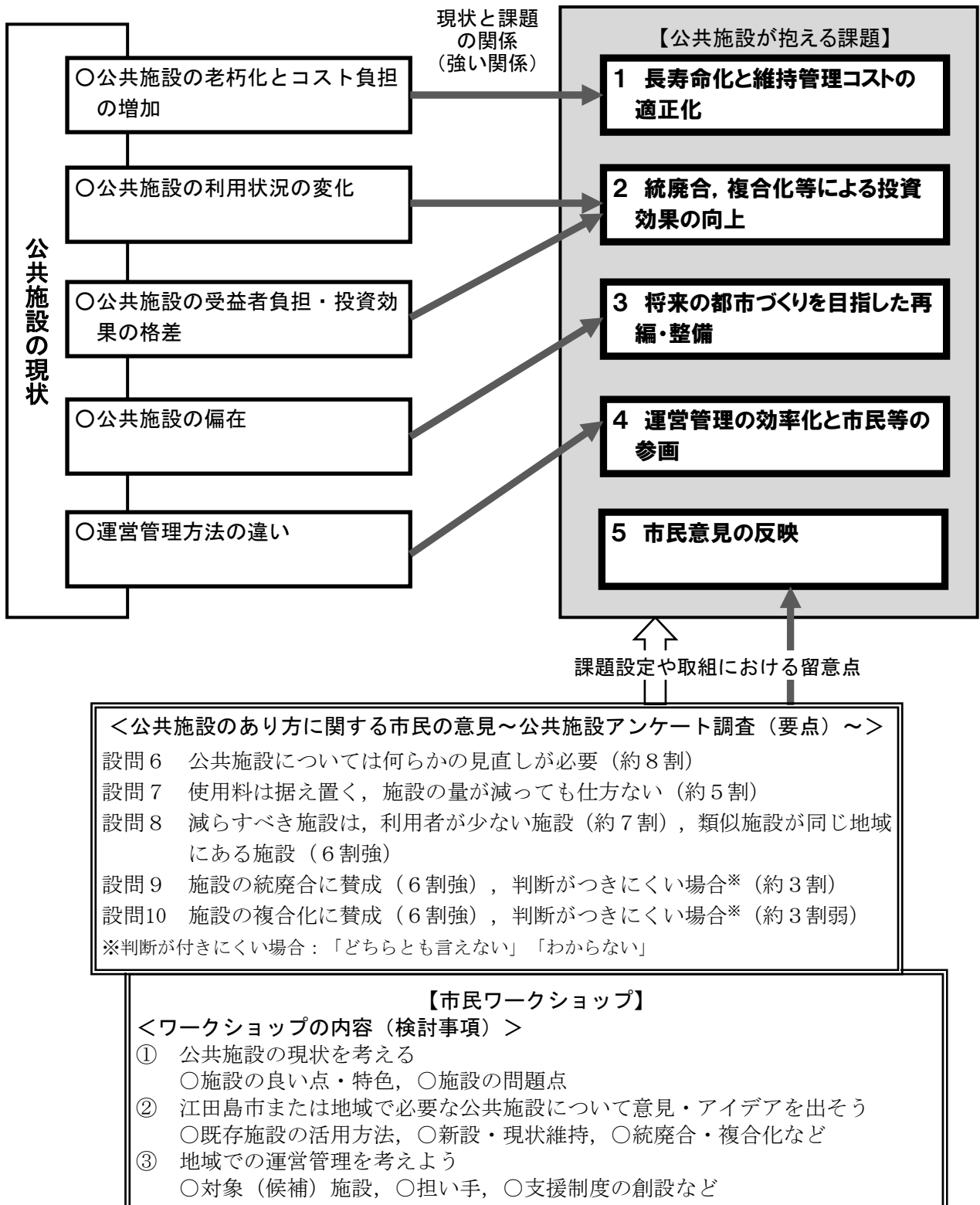
また、同じ集会施設であっても地元自治会が自主的に運営管理を担うものもあれば、職員がすべて対応するものもあります。

第4章 公共施設が抱える課題

第1節 江田島市の公共施設が抱える課題の設定

江田島市の公共施設が抱える課題を、公共施設の現状及び公共施設アンケート調査、市民ワークショップを踏まえながら、以下の5点に集約します。

図4-1 公共施設が抱える課題の設定



第2節 江田島市の公共施設が抱える課題

第3章で整理したとおり、江田島市にある公共施設のすべてを維持管理していくことは非常に困難な状況です。

ここでは、未来のまちづくりや公共施設の将来像を描いていくために、公共施設が抱える課題を整理していきます。

1 長寿命化と維持管理コストの適正化

江田島市の公共施設は、今後10年程度をみても、築年数による大規模改修（築30年）または建替え（築60年）を想定した場合の経費が、平成23(2011)年度の投資的経費（14.4億円）を大きく超えることとなります。

このため、将来における施設の必要性やあり方を検討するとともに、ライフサイクルコストの視点を持ちながら、計画的な点検と修繕によって維持管理コストの抑制を図る必要があります。

2 統廃合、複合化等による投資効果の向上

税を投じて建設した公共施設は、その目的に応じた利用がなされることが重要です。とりわけ、「市民の福祉を増進する目的で、市民が利用するための施設」である公共用財産は、消防署、屯所などの公用財産とは異なり、日常的な利用などが意図されるものです。江田島市の公共施設（公共用財産）の利用状況をみると、平成23(2011)年度において利用者数がゼロの施設や、年間利用者数が1桁台、2桁台の施設もあります。

また、集会などに利用されている施設については、近くに類似した施設がある場合があります。

このため、利用者が全くいない施設、少ない施設は、設置目的が時代や市民ニーズに合っているか、場所や施設・設備の状況は利用に対応できているかなど、なぜそのような状況にあるかといったことを把握した上で、施設の必要性を判断し、統廃合や複合化等により投資効果を高める方法を検討する必要があります。

さらに、施設の統廃合・複合化においては、アクセスを含めた利便性の向上や施設の高次化、設備の機能向上、バリアフリー化及び防災性の強化などを進めることが求められます。

※維持管理コスト

建物を維持保全及び管理するための経費。ここでは点検・保全費、維持補修・修繕費及び建物の維持保全・管理に関わる人件費をいいます。施設の運営（企画事業、行事など）に関わる経費は除きます。

※ライフサイクルコスト (Life cycle cost)

建物に関しては、企画・設計費、建設費などの初期投資（イニシャルコスト）と、点検・保全費、維持補修・修繕費、運営費などの運営管理経費（ランニングコスト）及び解体処分までの「建物の生涯に必要な総費用」のことを意味します。

また、公民館など地域や町レベル、全市レベルの施設については、建設費等のイニシャルコストよりも、運営管理経費（ランニングコスト）の方が多額であることが多いといえます。

3 将来の都市づくりを目指した再編・整備

現在ある公共施設は、人口が4万人を超えていた時代に建設したものが半数以上あり、また、合併前に建設したものが大半です。したがって、多くの公共施設が、江田島市全体としての観点に立ち、過疎化や少子高齢化が現在ほど進んだ状況で建設したものではありません。

このため、公共施設一つ一つの用途や規模、必要性などを踏まえながら、江田島市全体の将来の都市構造を形成していく観点から、公共施設のあり方を検討する必要があります。

4 運営管理の効率化と市民等の参画

江田島市の公共施設の運営管理は、各所管課がそれぞれで対応しているため、管理方法や予算計上が異なるケースがあります。

同じ集会施設でも、行政が運営管理している場合と地元が運営管理している場合があり、税の投入も異なっています。また、すべての公共施設を、行政だけで運営管理できる状況ではなくなっています。

このため、公共施設全般にわたって、運営管理の指針等を作成するとともに、施設の統廃合や複合化などに際しては、より効率的な体制づくりに取り組むことが求められます。

また、公共施設の運営管理における市民や地域活動団体等の協力、さらには役割分担や協働などを全体にわたり検討するとともに、市民等の参画を促進する制度づくりも必要です。

5 市民意見の反映

公共施設アンケート調査では、公共施設のあり方の見直し、使用料、減らすべき施設の考え方、施設の統廃合や複合化などに関して、全体的には大きな方向性が示されていると捉えることができますが、判断がつきにくい場合も一定割合を占めています。

このため、廃止・縮小や統廃合等の方針決定過程においては、市民の思い・意見を把握しながら、個々の公共施設ごとに市民の利用目的や利便性の確保などに配慮し、判断していく必要があります。

また、市民等が希望や必要性に応じて選択的に利用する施設については、利用内容や利用者の状況、市民意識・ニーズなどを考慮しながら、公共施設における受益者負担の適正化について検討する必要があります。その際、公共施設アンケート調査では、「使用料は据え置く、施設の量が減っても仕方ない（約5割）」となっていることを鑑み、市民へ丁寧に説明する必要があります。

資料

江田島市における公共施設の利用状況・ 住民意識アンケート調査結果概要

1	アンケート調査の実施概要	75
2	回答者の属性	76
3	公共施設の利用状況（最近1年間）	80
4	今後の公共施設のあり方	99

1 アンケート調査の実施概要

(1) 調査の目的

本市の既存公共施設における利用状況や市民の意向などを把握することで今後の公共施設のあり方を検討する上での判断材料とします。

(2) 実施主体

江田島市公共施設のあり方市民委員会

(3) 調査対象

18歳以上の江田島市民 2,700人（居住地域・年齢階層分布比率に応じて無作為に抽出）

(4) 調査の実施方法

前記の対象者への無記名アンケート調査方式

(5) 調査日程

- ① 広報9月号やホームページによる事前告知
- ② 郵送送付：9月21日
- ③ 締切日：10月5日 ※10月29日郵送分まで受付

(6) 回答結果

回答数 1,119（回収率41.4%）
うち有効回答 1,111（回答率41.1%）

(7) 集計結果の表記

各回答の割合（%）は、小数点以下第2位を四捨五入して表記しています。

したがって、端数処理の関係から、各回答の割合（%）の合計が100%にならない場合があります。

2 回答者の属性

(1) 居住地

回答者の居住地を町別でみると、江田島町が41.2%と最も多く、次いで大柿町27.3%、能美町19.1%、沖美町12.4%となっています。

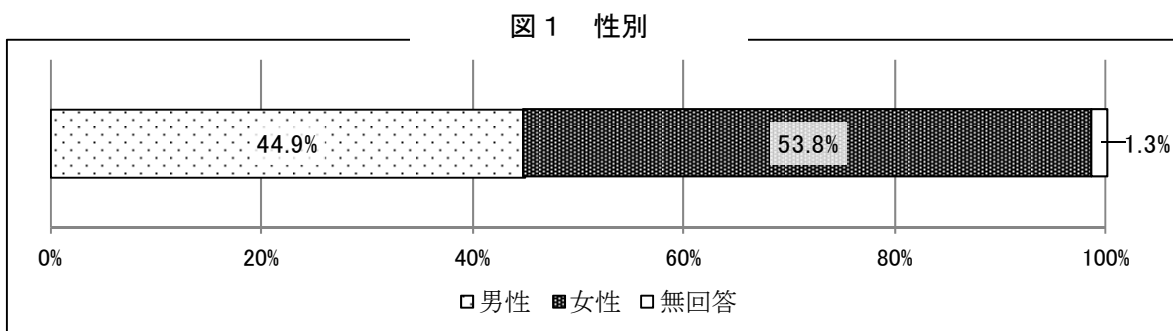
これを現在の人口割合（平成24年9月現在、住民基本台帳）と比べると、江田島町がやや高い割合で、他の3町がやや低くなっていますが、ほぼ人口構成に近い形となっています。

表1 居住地

町名・地区別		回答者数 (人)	構成比 (%)
江田島町	中央	107	9.8
	鷺部	44	4.0
	江南	34	3.1
	秋月	33	3.0
	小用	75	6.8
	切串	84	7.7
	幸ノ浦, 大須	17	1.6
	津久茂	25	2.3
	宮ノ原	33	3.0
小計	452	41.2	
能美町	鹿川	79	7.2
	中町	81	7.4
	高田	49	4.5
	小計	209	19.1
沖美町	岡大王	25	2.3
	畑	11	1.0
	是長	23	2.1
	三吉	40	3.6
	高祖	20	1.8
	美能	17	1.6
	小計	136	12.4
大柿町	深江	38	3.5
	大原	93	8.5
	小古江	14	1.3
	大君	37	3.4
	柿浦	58	5.3
	飛渡瀬	59	5.4
	小計	299	27.3
不明	15	—	
合計	1,111	100.0	

(2) 性別

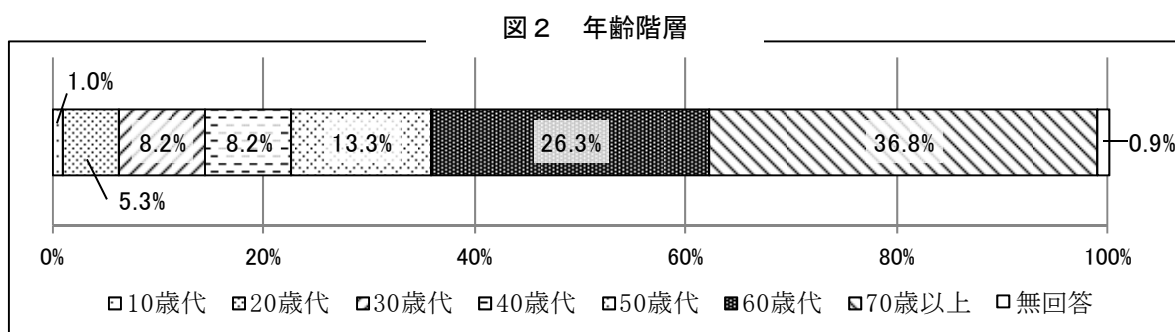
回答者の性別は、全体では女性が53.8%を占め、男性よりも8.9ポイント高くなっています。



(3) 年齢階層

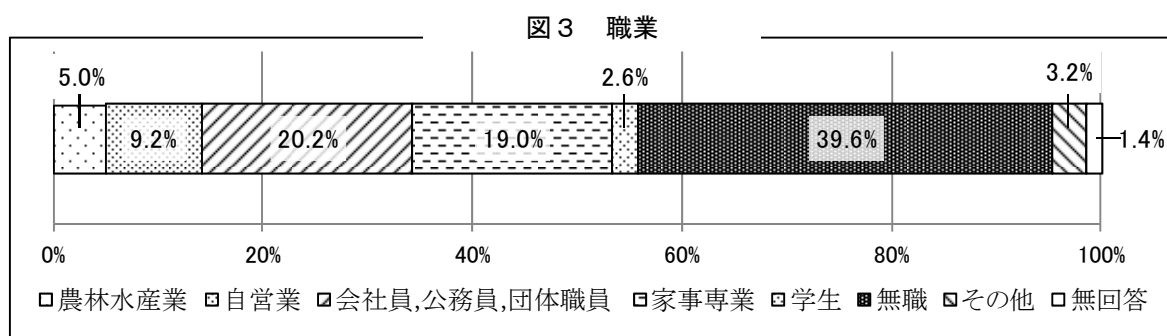
回答者の年齢階層は、全体では70歳以上36.8%、60歳代26.3%、50歳代13.3%が上位になっています。

これを現在の年齢階層（平成24年9月現在、住民基本台帳）と比べると、60歳代、70歳代が約6%多くなり、20歳代が約5%、その他の年代がやや低くなっていますが、ほぼ現況に近い形となっています。



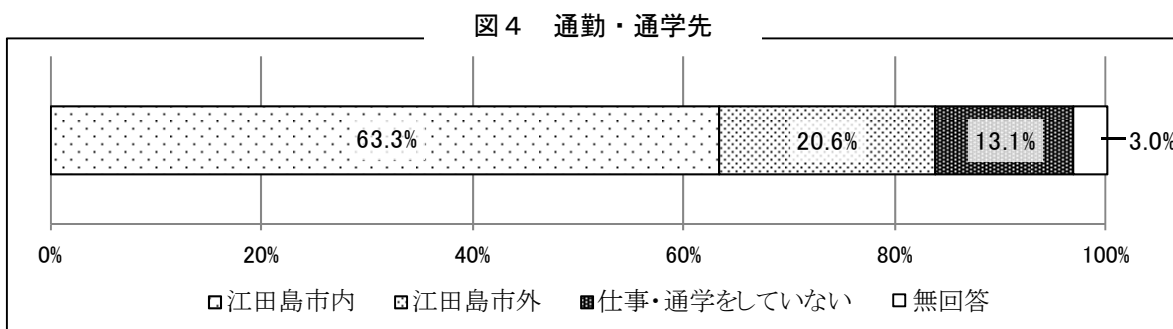
(4) 職業

回答者の職業は、全体では「無職」が39.6%と最も多く、続いて「会社員、公務員、団体職員」が20.2%と多くなっています。逆に「農林水産業」は5.0%にとどまっています。



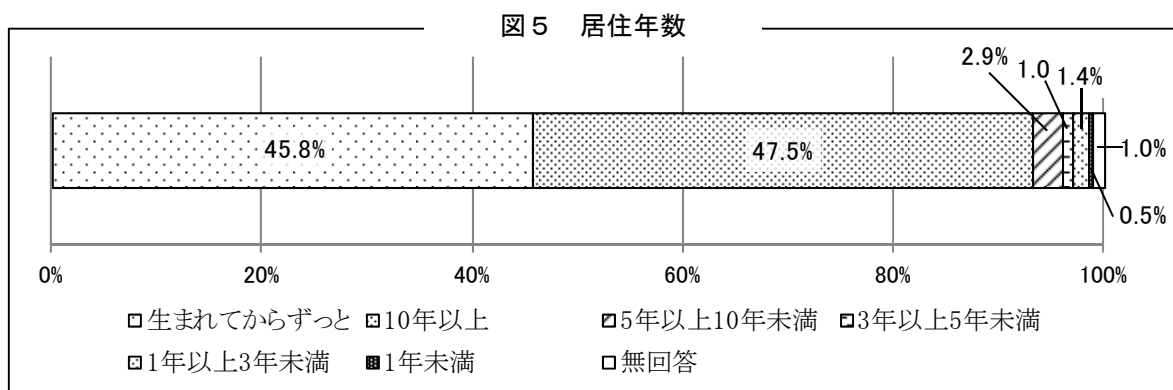
(5) 勤務・通学先

回答者の勤務・通学先は、「江田島市内」が63.3%と最も多く、「江田島市外」の20.6%の約3倍となっています。



(6) 居住年数

回答者の居住年数は、全体では「10年以上」が47.5%と最も多く、次いで「生まれてからずっと」が45.8%を占め、この両方で93.3%を占めています。



(7) 居住地区別の回答者の属性

居住地区別に回答者の属性（性別，年齢階層，職業，勤務・通学先，居住年数）をみると，性別，年齢階層では居住地区の間で差は小さくなっています。職業についてみると，沖美町で「農林水産業」が10.9%，「無職」が45.3%と他の地区と比べてやや高く，また「会社員，公務員，団体職員」がやや低くなっています。勤務・通学先についてみると，「江田島市外」と回答した割合は江田島町で高く，沖美町で低くなっています。居住年数をみると，どの地区においても「生まれてからずっと」，「10年以上」が多くなっていますが，大柿町では「生まれてからずっと」の割合が，能美町では「10年以上」の割合が高くなっています。

表2 居住地区別回答者属性

区分		居住地区				合計
		江田島町	能美町	沖美町	大柿町	
性別	男性	214	89	59	135	497
	居住地区別%	47.7%	42.6%	43.7%	45.5%	45.6%
	女性	235	120	76	162	593
	居住地区別%	52.3%	57.4%	56.3%	54.5%	54.4%
合計		449	209	135	297	1090
	居住地区別%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
年齢階層	10-20歳代	28	14	6	22	70
	居住地区別%	6.2%	6.7%	4.4%	7.4%	6.4%
	30歳代	43	15	11	22	91
	居住地区別%	9.5%	7.1%	8.1%	7.4%	8.3%
	40歳代	34	24	9	23	90
	居住地区別%	7.5%	11.4%	6.6%	7.7%	8.2%
	50歳代	68	27	15	36	146
	居住地区別%	15.1%	12.9%	11.0%	12.0%	13.3%
60歳代		117	61	39	75	292
	居住地区別%	25.9%	29.0%	28.7%	25.1%	26.6%
	70歳以上	161	69	56	121	407
	居住地区別%	35.7%	32.9%	41.2%	40.5%	37.1%
合計	451	210	136	299	1096	
居住地区別%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
職業	農林水産業	20	13	15	7	55
	居住地区別%	4.5%	6.3%	10.9%	2.4%	5.0%
	自営業	41	19	7	35	102
	居住地区別%	9.2%	9.1%	5.1%	11.8%	9.4%
	会社員、公務員、団体職員	101	45	18	59	223
	居住地区別%	22.5%	21.6%	13.1%	19.9%	20.5%
	家事専業	86	31	32	61	210
	居住地区別%	19.2%	14.9%	23.4%	20.5%	19.3%
	学生	11	8	2	8	29
居住地区別%	2.5%	3.8%	1.5%	2.7%	2.7%	
無職	173	84	62	117	436	
居住地区別%	38.6%	40.4%	45.3%	39.4%	40.0%	
その他	16	8	1	10	35	
居住地区別%	3.6%	3.8%	0.7%	3.4%	3.2%	
合計	448	208	137	297	1090	
居住地区別%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
勤務・通学先	江田島市内	178	96	58	133	465
	居住地区別%	43.5%	49.2%	46.0%	48.5%	46.3%
	江田島市外	68	26	10	32	136
	居住地区別%	16.6%	13.3%	7.9%	11.7%	13.5%
	仕事・通学をしていない	163	73	58	109	403
居住地区別%	39.9%	37.4%	46.0%	39.8%	40.1%	
合計	409	195	126	274	1004	
居住地区別%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
居住年数	生まれてからずっと	211	80	56	159	506
	居住地区別%	47.0%	38.1%	41.2%	53.4%	46.3%
	10年以上	207	119	68	130	524
	居住地区別%	46.1%	56.7%	50.0%	43.6%	47.9%
	5年以上10年未満	10	7	10	5	32
	居住地区別%	2.2%	3.3%	7.4%	1.7%	2.9%
	3年以上5年未満	7	2	0	2	11
	居住地区別%	1.6%	1.0%	0.0%	0.7%	1.0%
	1年以上3年未満	11	1	2	1	15
居住地区別%	2.4%	0.5%	1.5%	0.3%	1.4%	
1年未満	3	1	0	1	5	
居住地区別%	0.7%	0.5%	0.0%	0.3%	0.5%	
合計	449	210	136	298	1,093	
居住地区別%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

3 公共施設の利用状況（最近1年間）

(1) 利用頻度

【設問1-1】

最近1年間における公共施設の利用状況について、利用する頻度をお答えください。

回答者のよく利用する公共施設は、「公民館」、「本庁」、「図書館、学習施設」です。ただ「本庁」は「年に数回程度」が多いのに比べて、「公民館」、「図書館、学習施設」では利用する頻度が高くなっています。逆に利用が少ない施設は、「消防本部」、「コミュニティホーム」、「子育て支援センター、児童館」の順になっています。

図6 公共施設の利用頻度（「利用したことがある」または「利用していない」での区分）

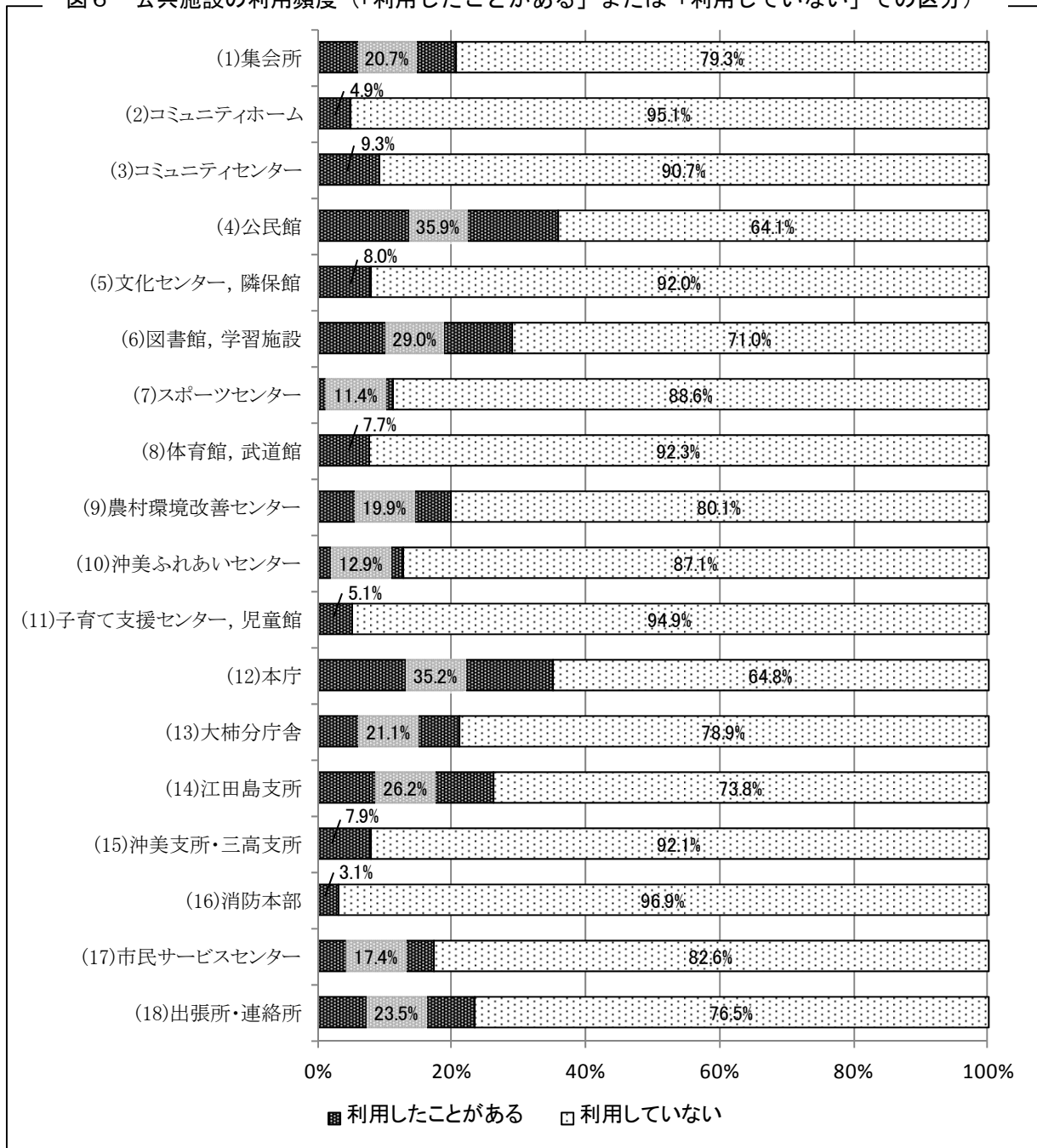
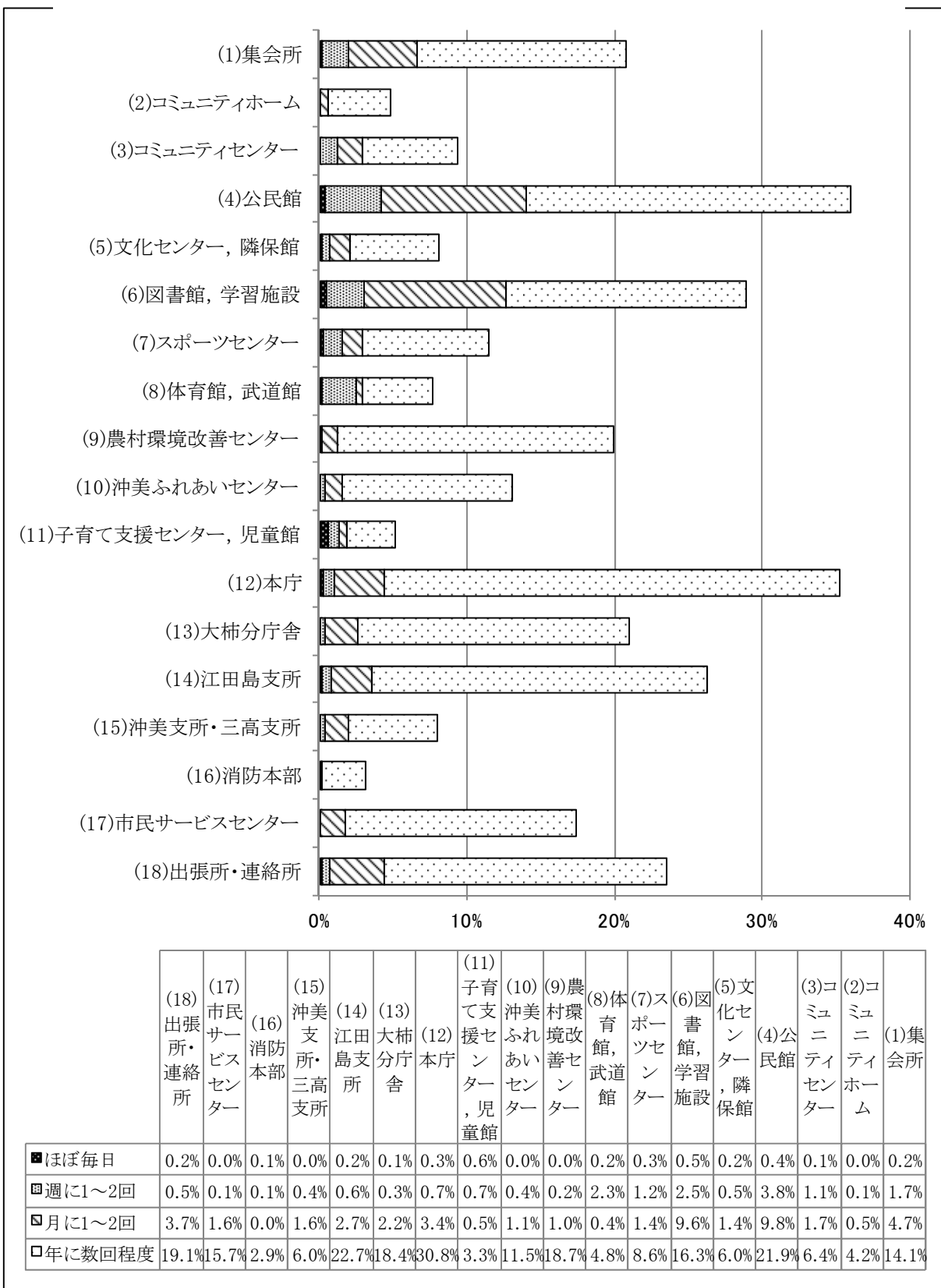


図7 公共施設の利用頻度（「利用したことがある」の回答を利用頻度毎に区分）



これを回答者の居住地区別にみると、江田島町では「コミュニティホーム」、「コミュニティセンター」、「江田島支所」、「出張所・連絡所」が、能美町では「本庁」が、沖美町では「集会所」、「沖美ふれあいセンター」、「沖美支所・三高支所」が、大柿町では「集会所」、「大柿分庁舎」が、他の居住地区と比べて利用頻度が高くなっています。

図8 居住地区別公共施設の利用頻度（「利用したことがある」の回答を利用頻度毎に区分）（1/2）

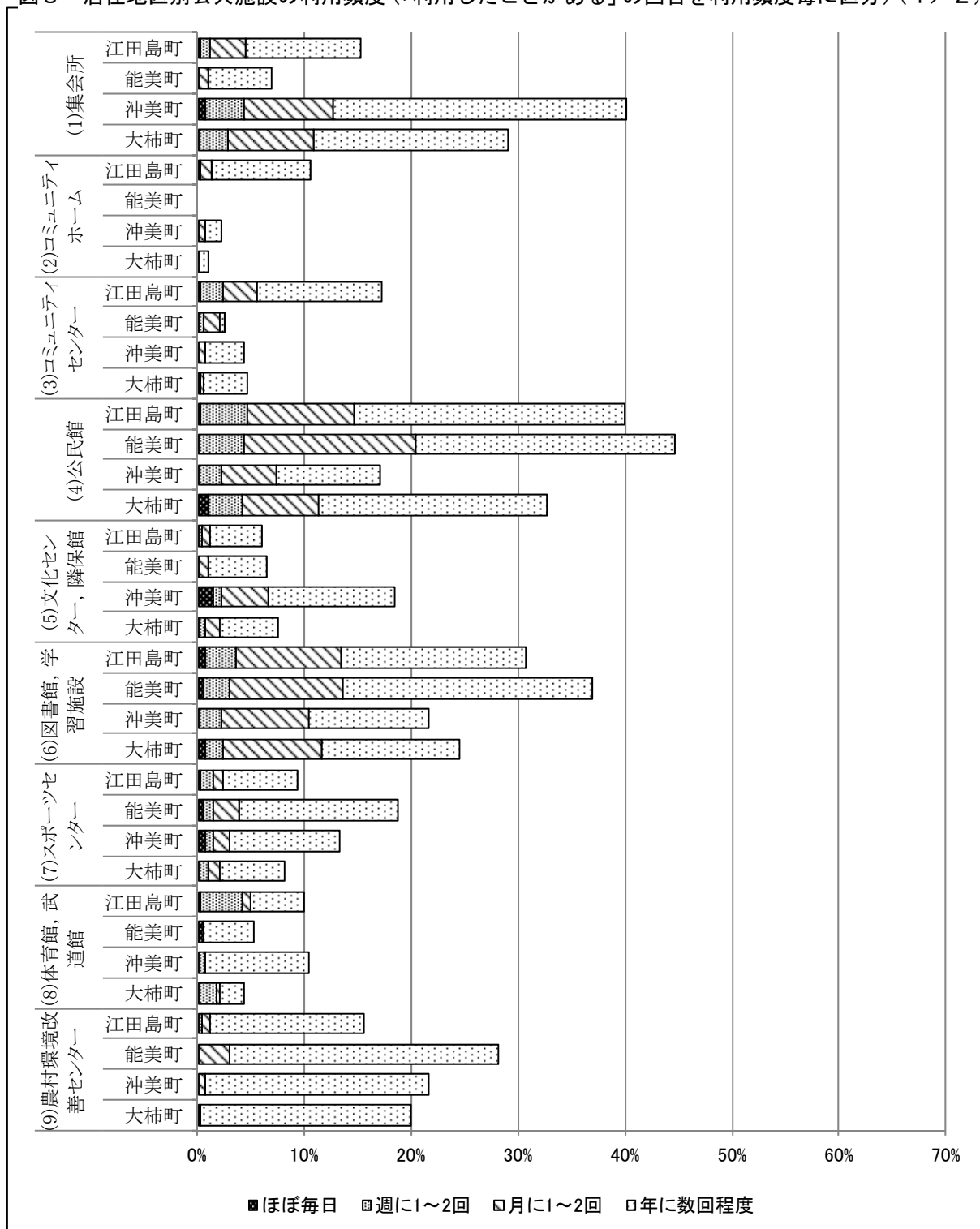
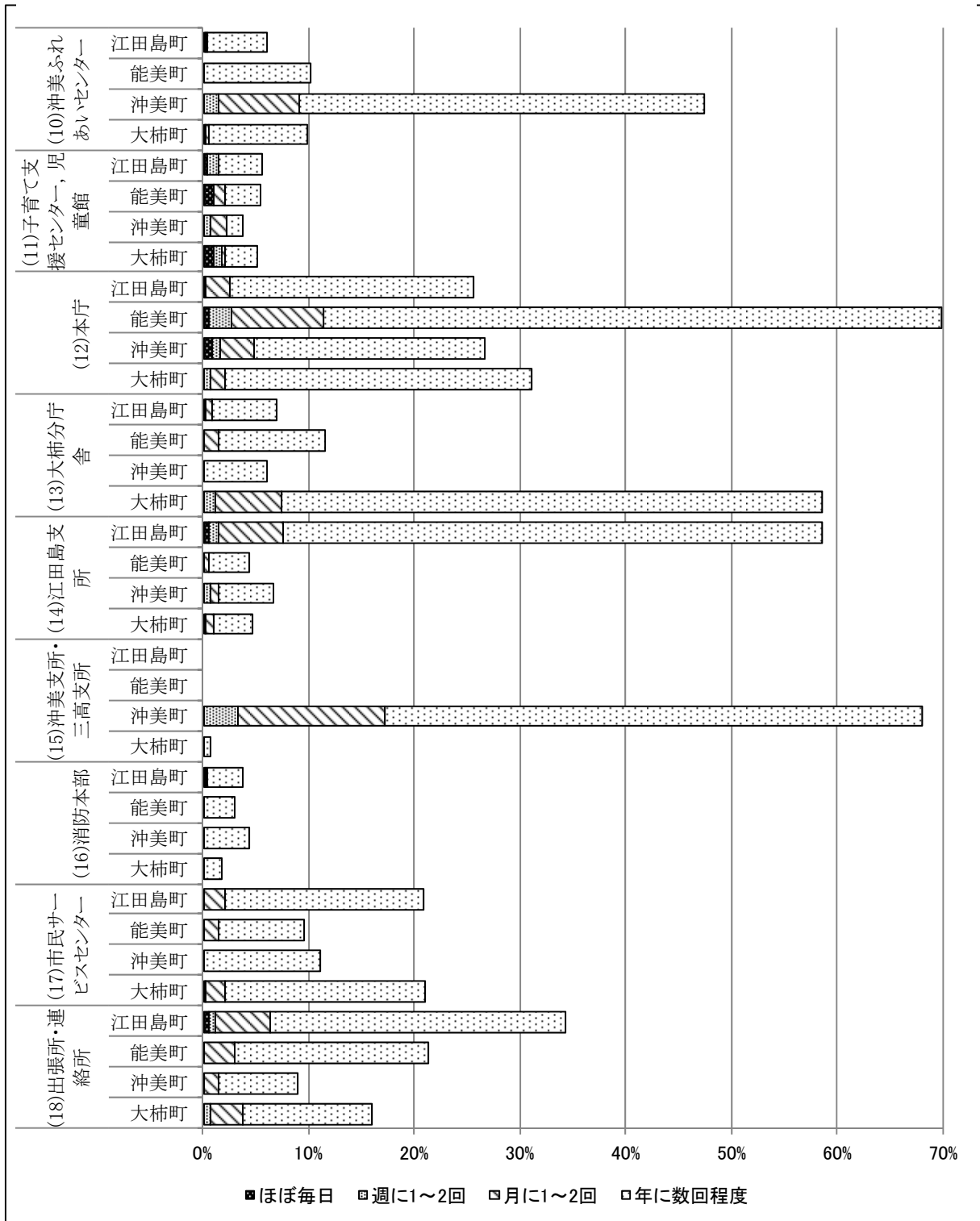


図8 居住地区別公共施設の利用頻度（「利用したことがある」の回答を利用頻度毎に区分）（2/2）



(2) 施設を利用していない理由

【設問 1-2】

「施設を利用していない」場合、施設を利用していない理由は何ですか。

施設を利用していない理由として「利用する機会がない」を選んだ回答者の割合は、ほぼ全ての施設で8割を超えています。それ以外の理由はいずれも1割前後と少数ですが、「施設の場所が自宅や職場から遠くて不便」(沖美ふれあいセンター, 本庁, 大柿分庁舎, 各支所, 農村環境改善センター, スポーツセンター), 「どんなサービスが利用できるか知らない」(コミュニティホーム, コミュニティセンター, 市民サービスセンター, 文化センター, 隣保館, 集会所) が、「利用する機会がない」に次いで回答が多くなっています。

図9 公共施設を利用していない理由 (複数回答可)

(1/2)

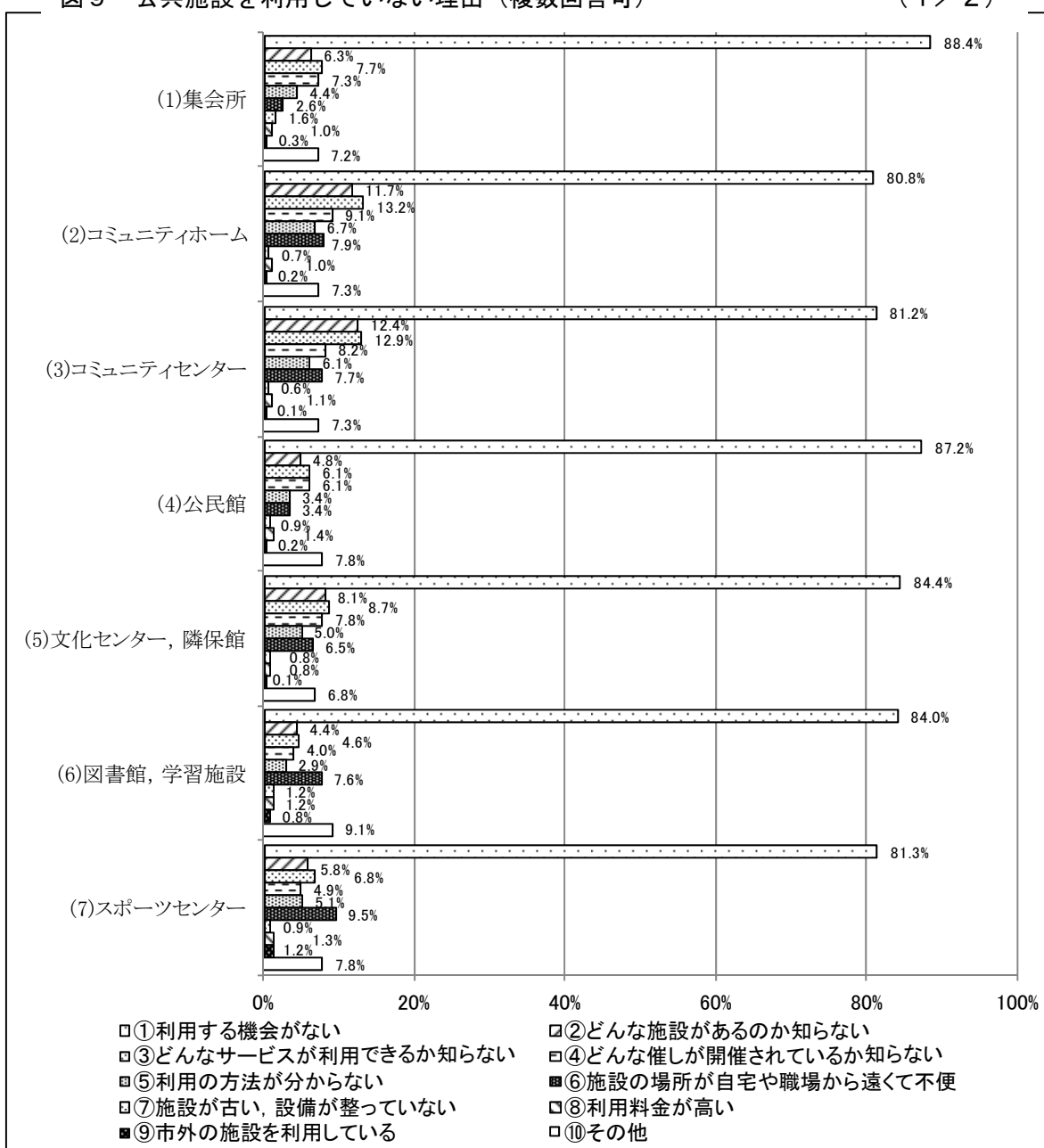
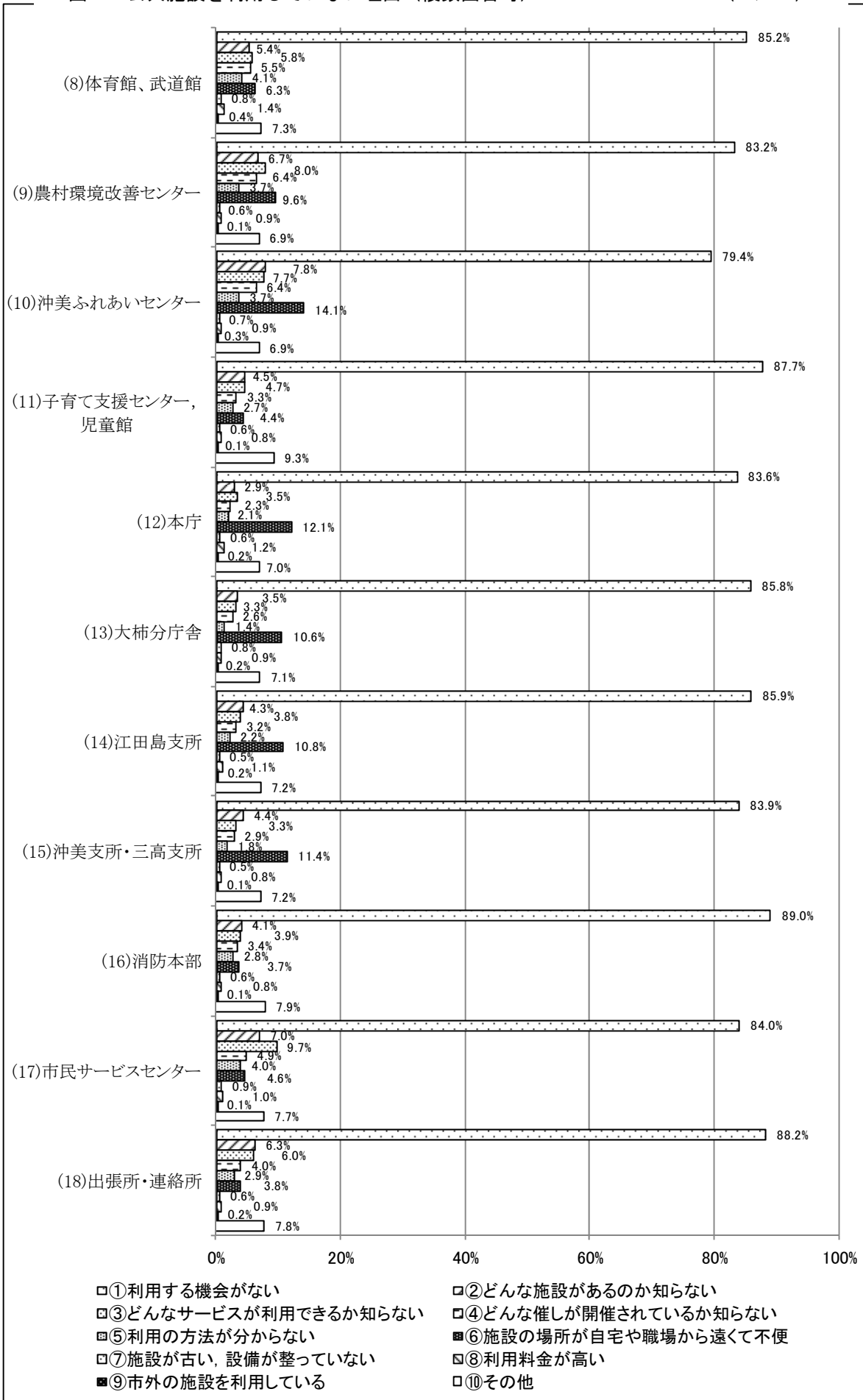


図9 公共施設を利用していない理由（複数回答可）

(2 / 2)



居住地区別にみると、「集会所」、「コミュニティセンター」、「コミュニティホーム」、「公民館」、「文化センター、隣保館」では、施設やそのサービス内容、利用方法が分からないことを理由にあげる回答が多くなっていますが、「コミュニティセンター」、「コミュニティホーム」、「公民館」、「文化センター、隣保館」では沖美町で施設の遠さを理由にあげる回答が多くなっています。「図書館、学習施設」、「スポーツセンター」、「体育館、武道館」、「農村環境改善センター」、「沖美ふれあいセンター」、「子育て支援センター、児童館」では、江田島町、沖美町で施設の遠さを理由にあげる回答が多くなっています。「本庁」、「大柿分庁舎」、各支所では、施設の遠さを理由にあげる回答が多く、「市民サービスセンター」では、利用できるサービスがわからないという理由が多くなっています。

表3 居住地区別にみる「施設を利用しない理由」（複数回答可）（1/2）

公共施設	居住地区	有効回答数合計に対する割合(%)										有効回答数 合計(件)
		理由①	理由②	理由③	理由④	理由⑤	理由⑥	理由⑦	理由⑧	理由⑨	理由⑩	
(1)集会所	江田島町	88%	3%	5%	5%	3%	3%	2%	1%	0%	6%	291
	能美町	88%	8%	9%	7%	4%	3%	2%	1%	1%	8%	163
	沖美町	88%	2%	5%	9%	0%	5%	2%	2%	0%	9%	65
	大柿町	89%	12%	12%	11%	10%	1%	1%	1%	0%	8%	173
(2)コミュニティホーム	江田島町	82%	4%	9%	6%	4%	5%	1%	1%	0%	7%	314
	能美町	84%	12%	11%	7%	5%	5%	0%	1%	1%	10%	168
	沖美町	78%	21%	18%	10%	8%	22%	1%	1%	0%	7%	106
	大柿町	78%	18%	19%	13%	11%	8%	1%	1%	0%	7%	240
(3)コミュニティセンター	江田島町	84%	5%	8%	5%	3%	3%	1%	1%	0%	7%	280
	能美町	84%	10%	12%	6%	4%	7%	0%	1%	1%	10%	163
	沖美町	78%	20%	17%	11%	7%	22%	1%	1%	0%	7%	103
	大柿町	77%	20%	18%	12%	12%	8%	1%	1%	0%	7%	226
(4)公民館	江田島町	87%	2%	4%	5%	1%	4%	1%	0%	0%	7%	220
	能美町	88%	6%	6%	5%	2%	2%	0%	2%	1%	11%	108
	沖美町	85%	2%	7%	9%	3%	9%	1%	1%	0%	7%	89
	大柿町	87%	9%	9%	8%	8%	1%	1%	2%	0%	8%	159
(5)文化センター、隣保館	江田島町	83%	4%	7%	6%	3%	6%	1%	0%	0%	6%	321
	能美町	87%	10%	8%	6%	4%	6%	1%	1%	1%	8%	156
	沖美町	87%	8%	9%	9%	6%	16%	1%	1%	0%	6%	85
	大柿町	83%	12%	12%	10%	9%	4%	1%	0%	0%	7%	222
(6)図書館、学習施設	江田島町	84%	0%	0%	1%	0%	9%	2%	0%	1%	7%	219
	能美町	84%	6%	6%	3%	1%	5%	0%	2%	2%	13%	103
	沖美町	85%	4%	6%	4%	4%	15%	1%	1%	0%	9%	82
	大柿町	83%	9%	8%	8%	7%	5%	1%	1%	1%	10%	179
(7)スポーツセンター	江田島町	79%	3%	5%	4%	4%	14%	1%	1%	1%	7%	307
	能美町	84%	5%	6%	2%	1%	3%	0%	3%	4%	9%	140
	沖美町	85%	3%	4%	4%	3%	15%	1%	2%	0%	9%	93
	大柿町	80%	12%	11%	9%	10%	5%	1%	0%	1%	8%	221
(8)体育館、武道館	江田島町	85%	1%	3%	5%	3%	5%	1%	1%	0%	7%	310
	能美町	86%	7%	6%	3%	1%	6%	0%	2%	2%	8%	159
	沖美町	85%	6%	5%	5%	3%	16%	1%	2%	0%	7%	94
	大柿町	85%	10%	10%	9%	8%	5%	1%	1%	0%	8%	226
(9)農村環境改善センター	江田島町	80%	5%	5%	4%	1%	13%	1%	0%	0%	6%	287
	能美町	88%	5%	8%	4%	3%	5%	0%	2%	1%	10%	120
	沖美町	86%	4%	9%	5%	2%	12%	0%	0%	0%	7%	81
	大柿町	83%	12%	13%	12%	8%	7%	1%	1%	0%	6%	187

表3 居住地区別にみる「施設を利用しない理由」(複数回答可)

(2/2)

公共施設	居住地区	有効回答数合計に対する割合(%)										有効回答数 合計(件)
		理由①	理由②	理由③	理由④	理由⑤	理由⑥	理由⑦	理由⑧	理由⑨	理由⑩	
(10) 沖美ふれあいセンター	江田島町	76%	6%	5%	5%	2%	19%	1%	1%	0%	6%	323
	能美町	84%	9%	9%	5%	3%	9%	0%	1%	1%	9%	152
	沖美町	87%	0%	4%	6%	2%	9%	0%	0%	0%	9%	54
	大柿町	79%	13%	13%	10%	7%	11%	1%	1%	0%	7%	215
(11) 子育て支援センター、児童館	江田島町	88%	2%	2%	2%	1%	5%	1%	0%	0%	8%	324
	能美町	87%	7%	6%	3%	2%	4%	0%	1%	1%	11%	161
	沖美町	90%	2%	5%	3%	1%	8%	1%	1%	0%	9%	103
	大柿町	86%	8%	8%	6%	7%	3%	1%	1%	0%	11%	228
(12) 本庁	江田島町	82%	0%	1%	0%	0%	16%	0%	0%	0%	5%	236
	能美町	82%	4%	4%	2%	0%	7%	0%	4%	2%	13%	45
	沖美町	89%	0%	1%	0%	0%	10%	0%	0%	0%	11%	72
	大柿町	84%	8%	8%	7%	7%	9%	1%	1%	0%	7%	153
(13) 大柿分庁舎	江田島町	84%	1%	1%	1%	0%	13%	1%	0%	0%	5%	316
	能美町	85%	6%	4%	3%	1%	7%	0%	1%	1%	8%	150
	沖美町	86%	2%	3%	2%	1%	19%	1%	1%	0%	10%	100
	大柿町	91%	10%	11%	8%	8%	1%	1%	1%	0%	8%	88
(14) 江田島支所	江田島町	89%	1%	1%	1%	0%	8%	0%	1%	0%	4%	131
	能美町	86%	5%	3%	3%	1%	7%	0%	1%	1%	9%	162
	沖美町	86%	1%	1%	1%	0%	18%	1%	1%	0%	9%	99
	大柿町	83%	7%	7%	6%	6%	12%	1%	1%	0%	7%	228
(15) 沖美支所・三高支所	江田島町	82%	2%	1%	1%	0%	15%	1%	0%	0%	6%	349
	能美町	86%	6%	3%	3%	1%	6%	0%	1%	1%	8%	173
	沖美町	85%	0%	4%	0%	0%	4%	0%	0%	0%	11%	27
	大柿町	84%	8%	7%	5%	5%	10%	1%	1%	0%	8%	238
(16) 消防本部	江田島町	89%	2%	2%	2%	2%	2%	1%	0%	0%	8%	331
	能美町	90%	6%	5%	4%	2%	3%	0%	1%	1%	7%	164
	沖美町	91%	1%	2%	4%	1%	9%	1%	1%	0%	8%	103
	大柿町	88%	8%	7%	5%	5%	4%	1%	1%	0%	8%	237
(17) 市民サービスセンター	江田島町	85%	4%	6%	3%	2%	4%	1%	0%	0%	7%	257
	能美町	86%	7%	8%	4%	3%	3%	0%	1%	1%	8%	152
	沖美町	85%	3%	9%	3%	3%	11%	1%	1%	0%	8%	92
	大柿町	81%	14%	17%	10%	9%	4%	1%	1%	0%	9%	187
(18) 出張所・連絡所	江田島町	88%	4%	3%	2%	1%	3%	1%	0%	0%	8%	218
	能美町	89%	7%	6%	5%	2%	2%	0%	2%	1%	9%	128
	沖美町	88%	4%	5%	1%	1%	9%	0%	0%	0%	8%	96
	大柿町	88%	10%	9%	7%	6%	3%	1%	1%	0%	6%	202

【選択肢】

- 理由① 利用する機会がない
- 理由② どんな施設があるのか知らない
- 理由③ どんなサービスが利用できるか知らない
- 理由④ どんな催しが開催されているか知らない
- 理由⑤ 利用の方法が分からない
- 理由⑥ 施設の場所が自宅や職場から遠くて不便
- 理由⑦ 施設が古い、設備が整っていない
- 理由⑧ 利用料金が低い
- 理由⑨ 市外の施設を利用している
- 理由⑩ その他

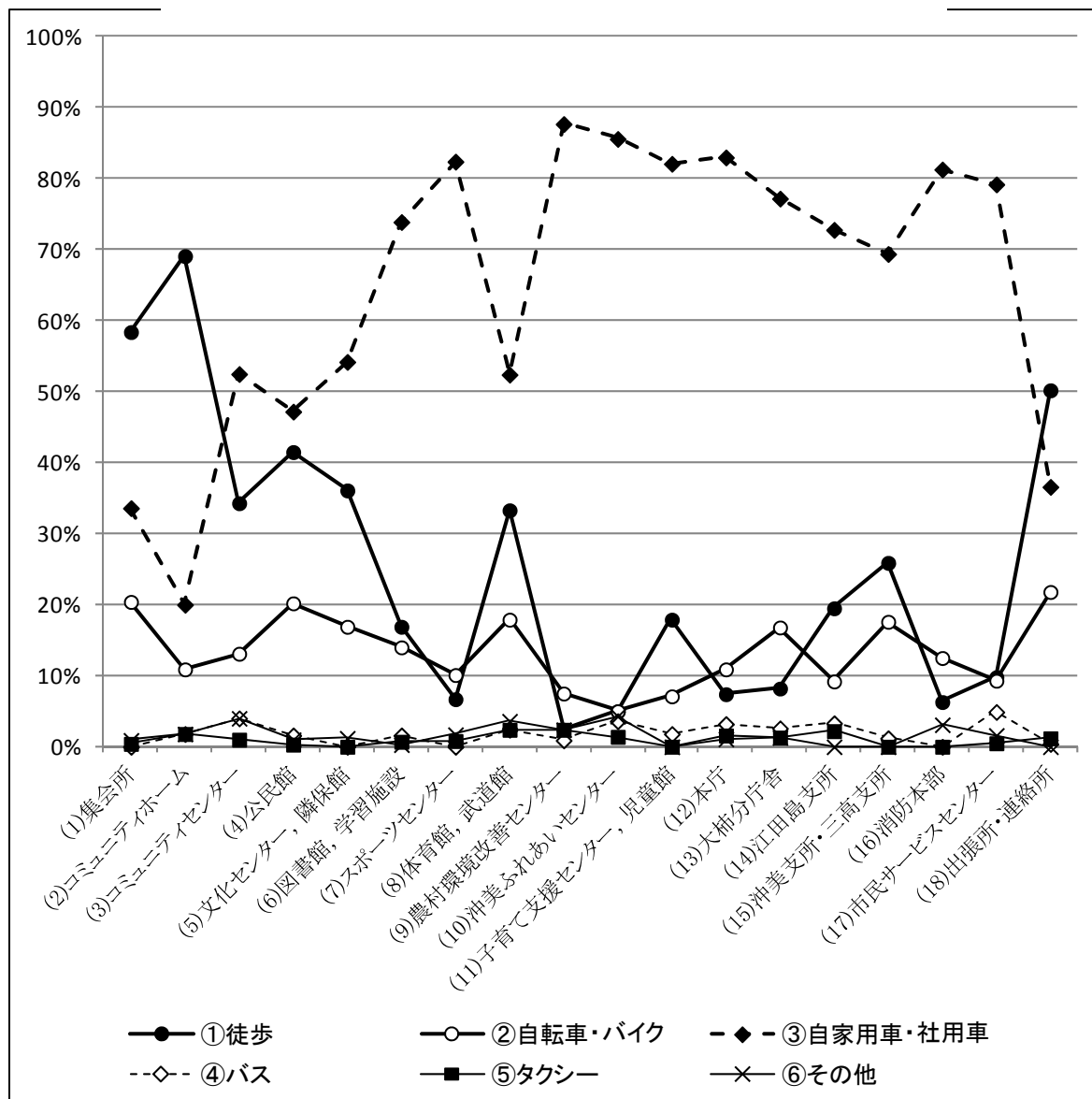
(3) 交通手段

【設問2】

施設を利用する時の交通手段は。

回答者の施設を利用する時の交通手段は、市民に身近な集会所やコミュニティホーム、出張所・連絡所で「徒歩」の割合が最も高く、それ以外の施設については、「自家用車・社用車」の割合が最も高くなっています。

図10 施設を利用する時の交通手段（複数回答可）



居住地区別にみると、公共施設の立地場所による居住地区間での利用状況の差がありますが、集会所やコミュニティホーム、出張所・連絡所で「徒歩」の割合が、それ以外の施設では「自家用車・社用車」の割合が高くなるという全体的な傾向と同じ様子がみられます。

表4 居住地区別にみる施設利用時の交通手段（複数回答可） (1/2)

公共施設	居住地区	交通手段												有効回答数 合計 (件)
		①徒歩		②自転車・バイク		③自家用車・社用車		④バス		⑤タクシー		⑥その他		
			%		%		%		%		%		%	
(1) 集会所	江田島町	47	61%	10	13%	20	26%	0	0%	0	0%	0	0%	77
	能美町	15	71%	0	0%	3	14%	0	0%	1	5%	2	10%	21
	沖美町	29	48%	8	13%	24	39%	0	0%	0	0%	0	0%	61
	大柿町	41	44%	25	27%	28	30%	0	0%	0	0%	0	0%	94
(2) コミュニティホーム	江田島町	38	73%	5	10%	8	15%	1	2%	0	0%	0	0%	52
	能美町	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	100%	1
	沖美町	0	0%	1	33%	2	67%	0	0%	0	0%	0	0%	3
	大柿町	0	0%	0	0%	1	50%	0	0%	1	50%	0	0%	2
(3) コミュニティセンター	江田島町	33	39%	12	14%	33	39%	4	5%	0	0%	2	2%	84
	能美町	0	0%	0	0%	5	71%	0	0%	0	0%	2	29%	7
	沖美町	0	0%	1	17%	5	83%	0	0%	0	0%	0	0%	6
	大柿町	1	9%	0	0%	9	82%	0	0%	1	9%	0	0%	11
(4) 公民館	江田島町	92	48%	29	15%	64	33%	5	3%	0	0%	3	2%	193
	能美町	47	45%	25	24%	33	31%	0	0%	0	0%	0	0%	105
	沖美町	5	20%	4	16%	16	64%	0	0%	0	0%	0	0%	25
	大柿町	14	14%	17	17%	67	66%	1	1%	1	1%	1	1%	101
(5) 文化センター、隣保館	江田島町	7	24%	6	21%	16	55%	0	0%	0	0%	0	0%	29
	能美町	8	47%	1	6%	7	41%	0	0%	0	0%	1	6%	17
	沖美町	8	32%	3	12%	14	56%	0	0%	0	0%	0	0%	25
	大柿町	7	37%	4	21%	8	42%	0	0%	0	0%	0	0%	19
(6) 図書館、学習施設	江田島町	29	20%	10	7%	100	69%	3	2%	1	1%	1	1%	144
	能美町	16	20%	18	22%	48	59%	0	0%	0	0%	0	0%	82
	沖美町	0	0%	4	13%	27	84%	1	3%	0	0%	0	0%	32
	大柿町	7	10%	10	14%	51	73%	1	1%	1	1%	0	0%	70
(7) スポーツセンター	江田島町	0	0%	3	7%	38	90%	0	0%	0	0%	1	2%	42
	能美町	8	21%	5	13%	24	63%	0	0%	0	0%	1	3%	38
	沖美町	0	0%	1	6%	14	88%	0	0%	1	6%	0	0%	16
	大柿町	0	0%	2	9%	21	91%	0	0%	0	0%	0	0%	23
(8) 体育館、武道館	江田島町	18	35%	9	17%	22	42%	2	4%	0	0%	1	2%	52
	能美町	2	17%	1	8%	7	58%	0	0%	1	8%	1	8%	12
	沖美町	6	35%	2	12%	8	47%	0	0%	1	6%	0	0%	17
	大柿町	2	17%	3	25%	6	50%	0	0%	0	0%	1	8%	12
(9) 農村環境改善センター	江田島町	0	0%	2	3%	63	91%	0	0%	1	1%	3	4%	69
	能美町	5	8%	8	13%	44	72%	0	0%	2	3%	2	3%	61
	沖美町	0	0%	2	7%	27	90%	0	0%	1	3%	0	0%	30
	大柿町	0	0%	4	7%	50	88%	2	4%	1	2%	0	0%	57

表4 居住地区別にみる施設利用時の交通手段（複数回答可）

（2 / 2）

公共施設	居住地区	交通手段												有効回答数 合計 (件)
		①徒歩		②自転車・バイク		③自家用車・社用車		④バス		⑤タクシー		⑥その他		
			%		%		%		%		%		%	
(10) 沖美ふれあセンター	江田島町	0	0%	0	0%	24	92%	0	0%	0	0%	2	8%	26
	能美町	0	0%	0	0%	18	86%	0	0%	2	10%	1	5%	21
	沖美町	7	10%	7	10%	49	70%	5	7%	0	0%	2	3%	70
	大柿町	0	0%	0	0%	27	96%	0	0%	0	0%	1	4%	28
(11) 子育て支援センター、児童館	江田島町	9	33%	2	7%	16	59%	0	0%	0	0%	0	0%	27
	能美町	1	7%	2	14%	11	79%	0	0%	0	0%	0	0%	14
	沖美町	0	0%	0	0%	5	100%	0	0%	0	0%	0	0%	5
	大柿町	0	0%	0	0%	14	93%	1	7%	0	0%	0	0%	15
(12) 本庁	江田島町	0	0%	2	2%	110	94%	3	3%	1	1%	1	1%	117
	能美町	26	17%	29	18%	92	59%	5	3%	3	2%	2	1%	157
	沖美町	0	0%	2	5%	34	92%	1	3%	0	0%	0	0%	37
	大柿町	2	2%	8	9%	72	82%	3	3%	2	2%	1	1%	88
(13) 大柿分庁舎	江田島町	0	0%	1	3%	29	97%	0	0%	0	0%	0	0%	30
	能美町	0	0%	2	9%	20	87%	0	0%	0	0%	1	4%	23
	沖美町	0	0%	0	0%	10	100%	0	0%	0	0%	0	0%	10
	大柿町	18	10%	36	20%	117	64%	6	3%	3	2%	2	1%	182
(14) 江田島支所	江田島町	52	20%	22	9%	169	66%	9	3%	6	2%	0	0%	258
	能美町	1	11%	1	11%	7	78%	0	0%	0	0%	0	0%	9
	沖美町	0	0%	0	0%	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	8
	大柿町	0	0%	1	7%	13	93%	0	0%	0	0%	0	0%	14
(15) 沖美支所・三高支所	江田島町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	能美町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	沖美町	22	23%	15	16%	57	60%	1	1%	0	0%	0	0%	95
	大柿町	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	1
(16) 消防本部	江田島町	2	11%	2	11%	14	74%	0	0%	0	0%	1	5%	19
	能美町	0	0%	1	14%	6	86%	0	0%	0	0%	0	0%	7
	沖美町	0	0%	1	20%	4	80%	0	0%	0	0%	0	0%	5
	大柿町	0	0%	0	0%	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	2
(17) 市民サービスセンター	江田島町	4	4%	6	6%	78	83%	5	5%	1	1%	0	0%	94
	能美町	0	0%	1	5%	17	81%	2	10%	0	0%	1	5%	21
	沖美町	0	0%	0	0%	14	82%	2	12%	0	0%	1	6%	17
	大柿町	14	23%	10	16%	36	59%	0	0%	0	0%	1	2%	61
(18) 出張所・連絡所	江田島町	89	54%	27	16%	47	28%	1	1%	1	1%	0	0%	165
	能美町	20	42%	10	21%	16	33%	0	0%	2	4%	0	0%	48
	沖美町	4	40%	1	10%	5	50%	0	0%	0	0%	0	0%	10
	大柿町	9	21%	12	29%	21	50%	0	0%	0	0%	0	0%	42

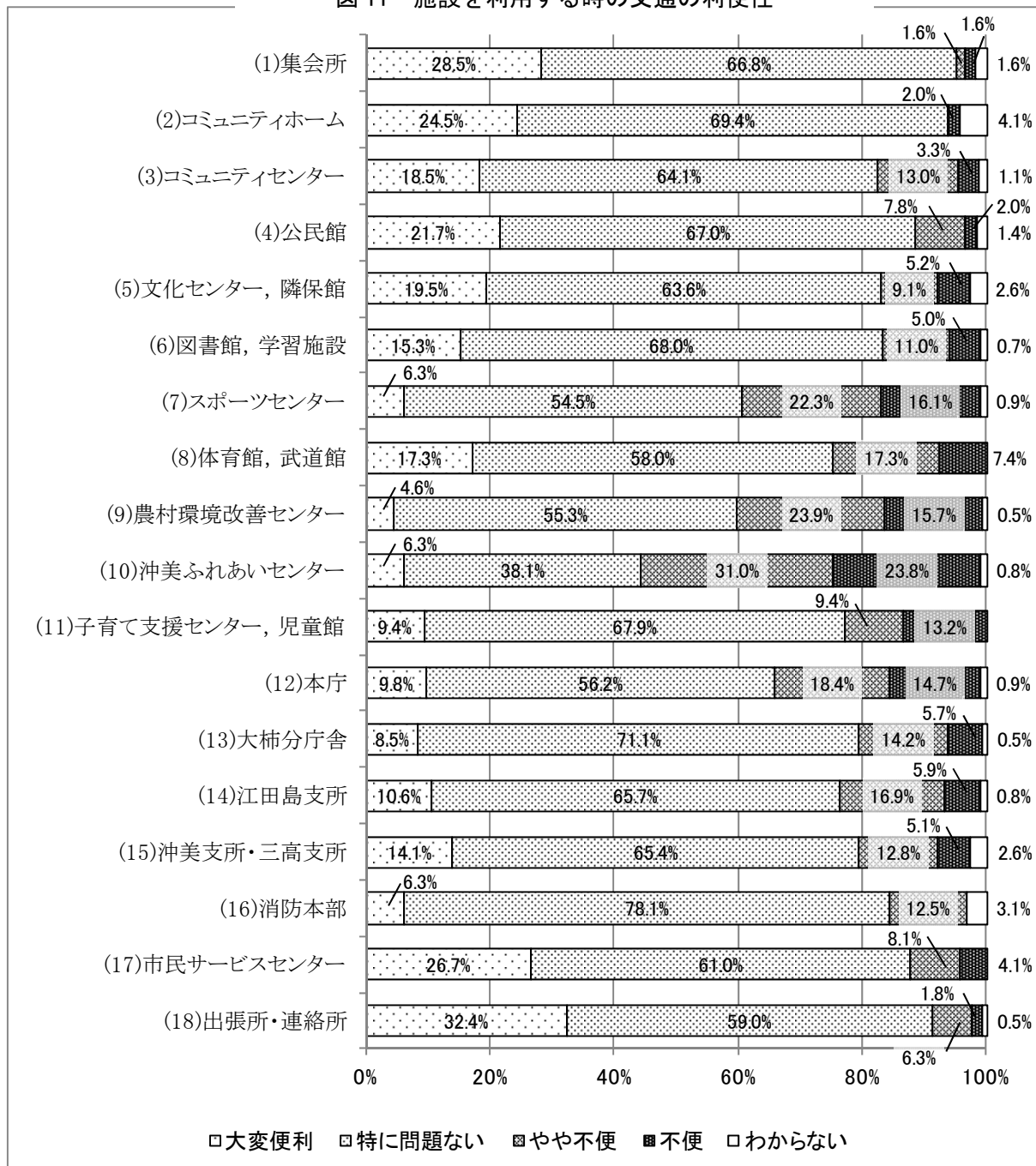
(4) 交通の利便性

【設問3】

施設を利用する時の交通の利便性は。

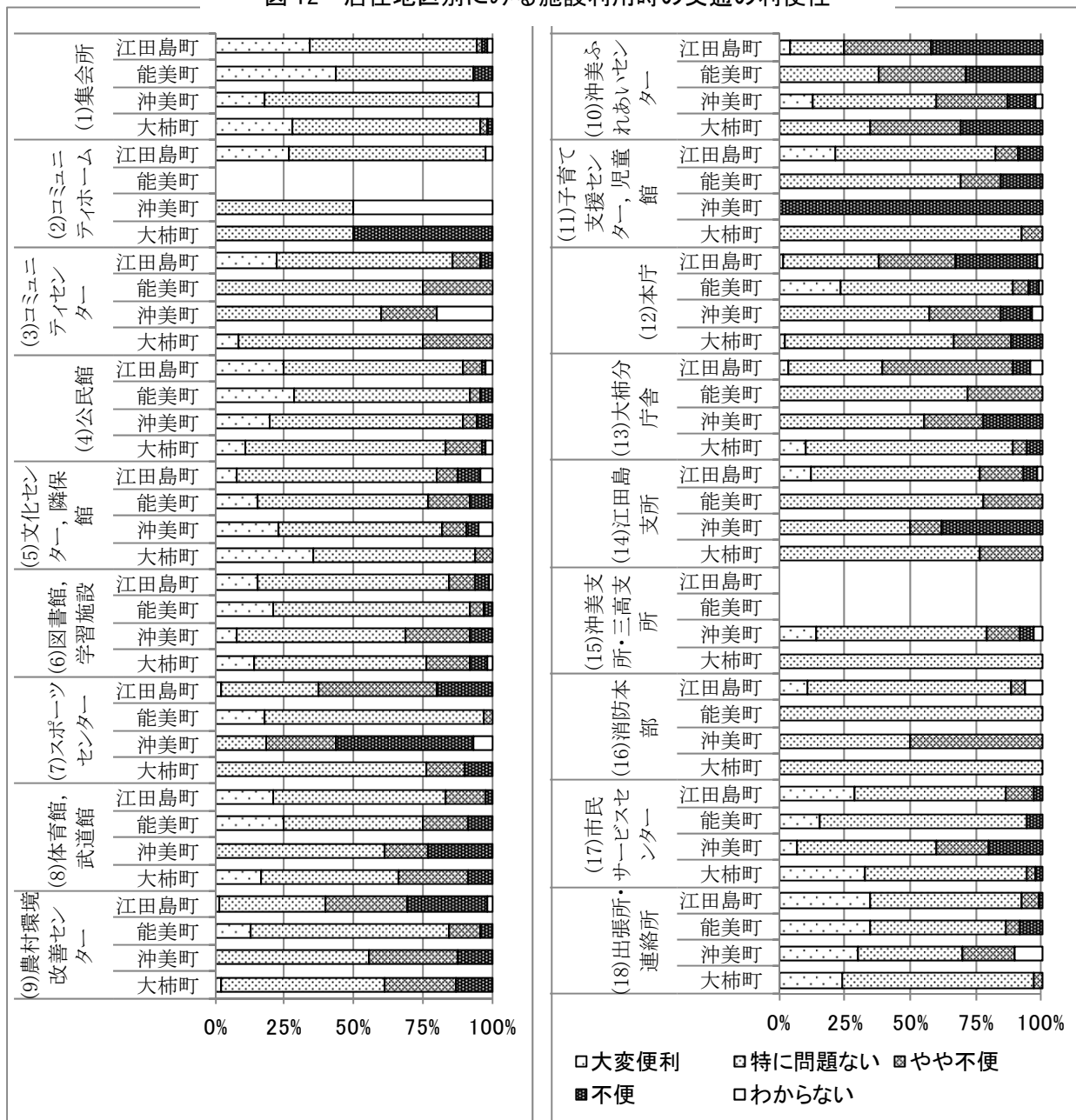
施設を利用する時の交通の利便性は、ほとんどの施設で「大変便利」，「特に問題ない」が50%以上の割合となっていますが，沖美ふれあいセンターとスポーツセンター，農村環境改善センターの3つの施設については「やや不便」，「不便」の割合が高くなっています。

図 11 施設を利用する時の交通の利便性



居住地区別にみると、施設の立地場所によって回答が大きく異なっており、スポーツセンターでは能美町、大柿町で「大変便利」、「特に問題ない」の割合が非常に高く、沖美町、江田島町で「やや不便」、「不便」の割合が高くなっています。同様に農村環境改善センターでは、能美町で「便利」、その他では「不便」という回答が高くなり、沖美ふれあいセンターでは、沖美町で「便利」、その他では「不便」という回答が高くなっています。本庁、支所等についてみても同様で、例えば、本庁では、能美町で「大変便利」、「特に問題ない」という回答の割合が最も高いものの、大柿町、沖美町の順に低くなり、江田島町で「不便」「やや不便」の割合の方が高くなっています。

図 12 居住地区別にみる施設利用時の交通の利便性



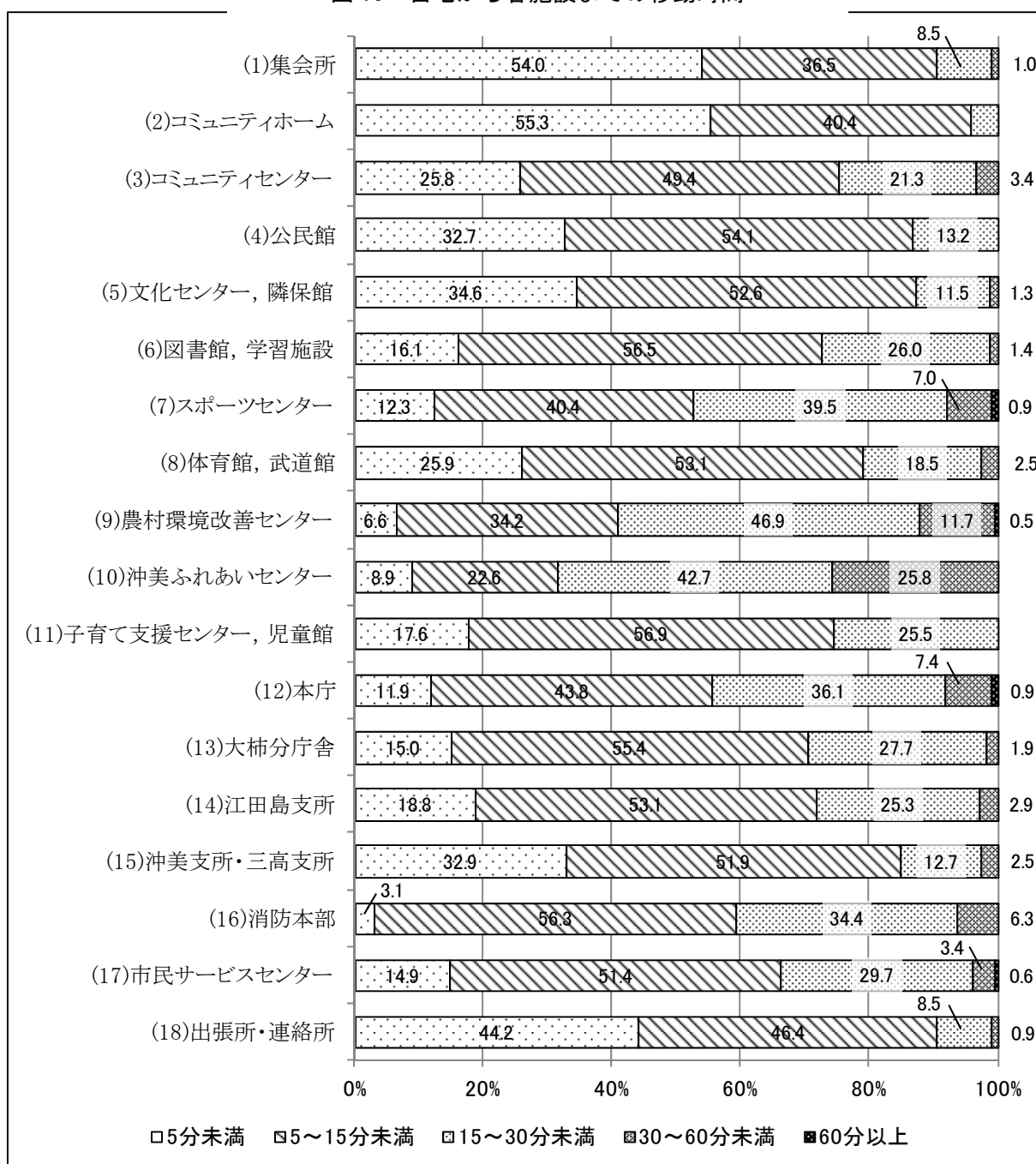
(5) 自宅からの移動時間

【設問4】

自宅から各施設までの移動時間は。

沖美ふれあいセンターや農村環境改善センターを除く施設については、50%以上の回答者が「5分未満」、「5分以上15分未満」で移動できると回答しています。逆に沖美ふれあいセンターと農村環境改善センターでは、移動に30分以上かかる回答者の割合が他の施設より高くなっています。

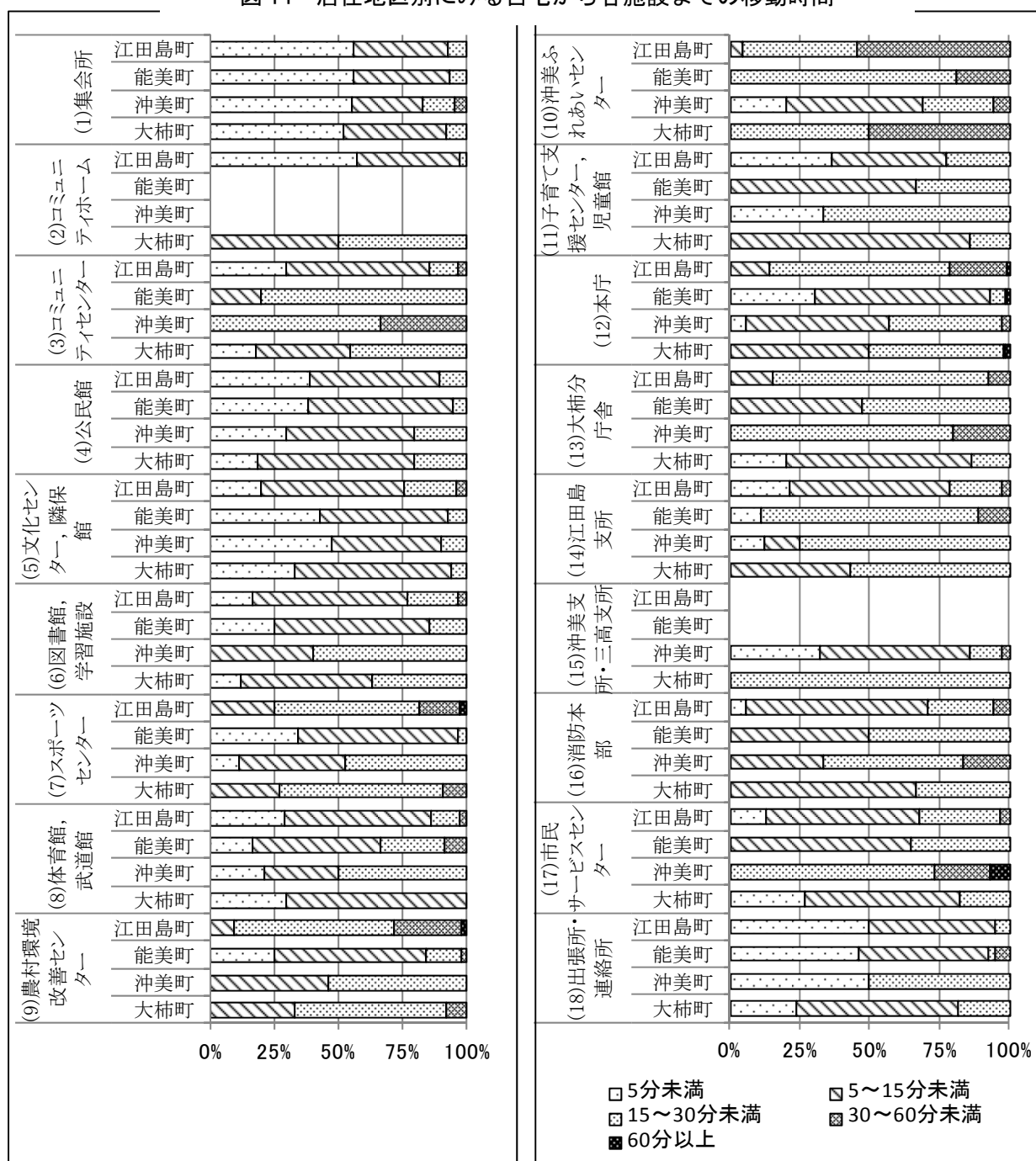
図13 自宅から各施設までの移動時間



居住地区別にみると、沖美ふれあいセンターでは江田島町、大柿町で、農村環境改善センター、スポーツセンターでは江田島町で、30分以上かかる回答者の割合が高くなっていますが、集会所、公民館、文化センター、隣保館では、移動時間が15分未満とする回答の割合が、すべての地区で高くなっています。

本庁、支所等についてみると、本庁では能美町で、大柿分庁舎では大柿町で、江田島支所では江田島町で、沖美支所・三高支所では沖美町で、移動時間が15分未満とする回答の割合が高くなっています。市民サービスセンターでは、沖美町が他の居住地区よりも多く移動時間がかかるとする回答が多くなっています。

図 14 居住地区別にみる自宅から各施設までの移動時間



(6) 施設の利用目的

【設問5-1】

庁舎以外の施設の利用目的は。

集会所やコミュニティホーム，コミュニティセンター，公民館では，「自治会，女性会，老人クラブ，PTA等の地域活動」での利用が多くなっています。また，スポーツセンターや体育館，武道館では，「趣味などの自主グループ活動」の利用が多くなっています。

また，居住地区別にみても同様の傾向となっています。

図 15 庁舎以外の施設の利用目的（複数回答可）

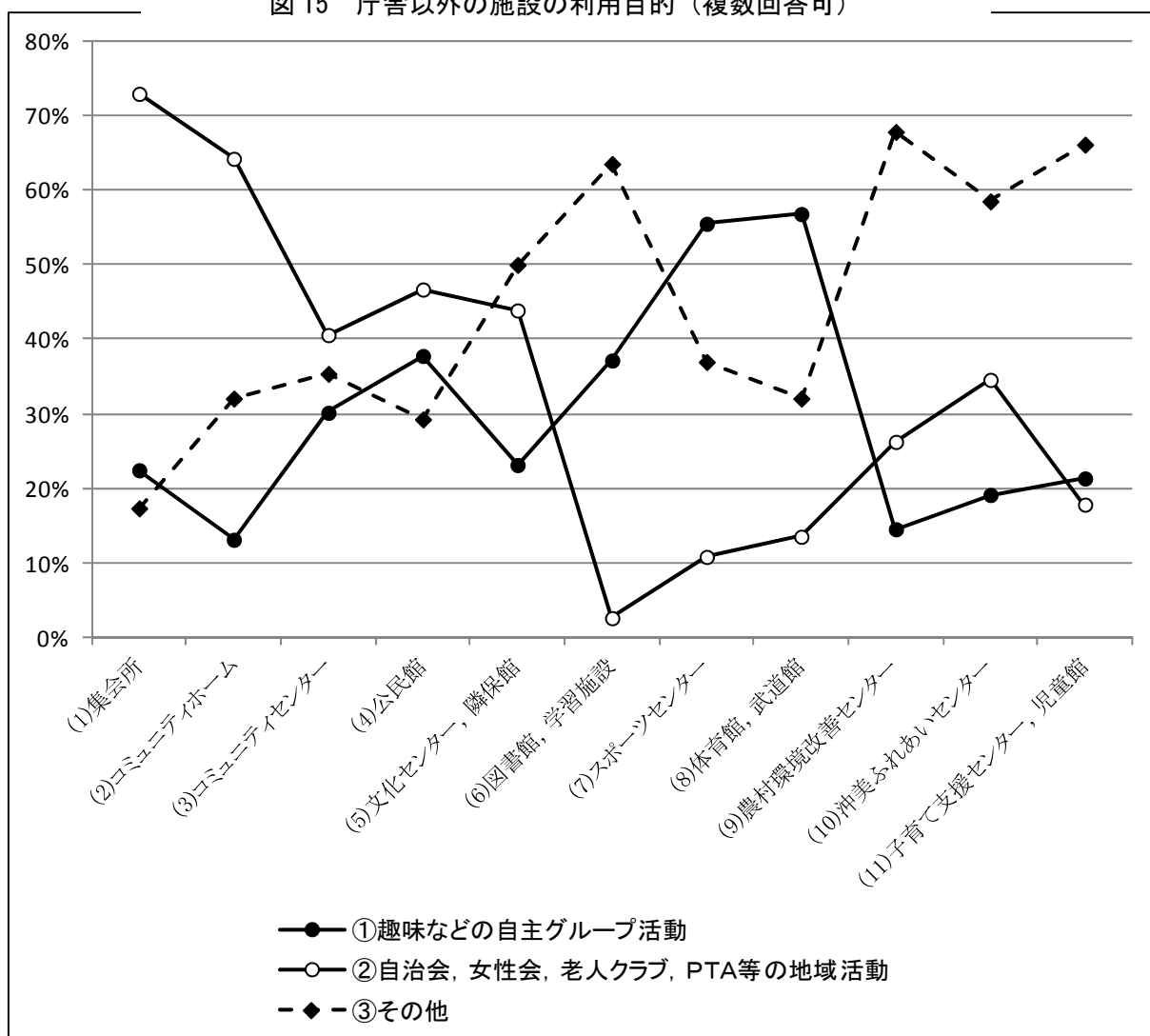


表5 居住地区別にみる庁舎以外の施設の利用目的（複数回答可）

回答項目		回答者の居住地区			
		江田島町	能美町	沖美町	大柿町
(1) 集会所	①趣味などの自主グループ活動	2.7%	1.0%	11.7%	6.4%
	②自治会、女性会、老人クラブ、PTA等の地域活動	10.8%	5.2%	25.5%	20.4%
	③その他	2.2%	1.9%	7.3%	4.7%
	④利用していない	82.1%	90.5%	58.4%	68.6%
(2) コミュニティホーム	①趣味などの自主グループ活動	1.3%	0.0%	0.7%	0.0%
	②自治会、女性会、老人クラブ、PTA等の地域活動	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	③その他	2.7%	0.5%	1.5%	0.7%
	④利用していない	87.6%	98.6%	96.4%	97.7%
(3) コミュニティセンター	①趣味などの自主グループ活動	4.2%	2.4%	0.7%	1.3%
	②自治会、女性会、老人クラブ、PTA等の地域活動	8.2%	0.0%	0.0%	0.7%
	③その他	5.3%	1.0%	3.6%	1.0%
	④利用していない	81.4%	95.7%	94.2%	94.0%
(4) 公民館	①趣味などの自主グループ活動	13.1%	19.5%	5.1%	10.0%
	②自治会、女性会、老人クラブ、PTA等の地域活動	17.3%	27.6%	6.6%	7.4%
	③その他	10.8%	4.8%	6.6%	12.7%
	④利用していない	58.6%	54.3%	81.8%	65.2%
(5) 文化センター、隣保館	①趣味などの自主グループ活動	1.1%	1.4%	4.4%	1.7%
	②自治会、女性会、老人クラブ、PTA等の地域活動	1.8%	4.8%	7.3%	2.7%
	③その他	2.4%	2.9%	10.2%	3.3%
	④利用していない	92.5%	91.0%	80.3%	91.0%
(6) 図書館、学習施設	①趣味などの自主グループ活動	10.0%	13.3%	8.0%	8.4%
	②自治会、女性会、老人クラブ、PTA等の地域活動	1.1%	0.5%	0.7%	0.3%
	③その他	18.6%	21.0%	13.9%	12.7%
	④利用していない	67.9%	61.9%	76.6%	74.6%
(7) スポーツセンター	①趣味などの自主グループ活動	6.4%	7.1%	6.6%	4.3%
	②自治会、女性会、老人クラブ、PTA等の地域活動	0.7%	3.8%	0.0%	0.3%
	③その他	2.2%	7.6%	6.6%	3.0%
	④利用していない	89.6%	80.5%	84.7%	90.3%
(8) 体育館、武道館	①趣味などの自主グループ活動	6.0%	3.8%	2.9%	2.3%
	②自治会、女性会、老人クラブ、PTA等の地域活動	0.9%	0.5%	2.9%	0.7%
	③その他	2.7%	1.4%	5.8%	0.7%
	④利用していない	88.9%	93.3%	87.6%	94.0%
(9) 農村環境改善センター	①趣味などの自主グループ活動	1.1%	4.3%	5.8%	2.7%
	②自治会、女性会、老人クラブ、PTA等の地域活動	3.1%	8.6%	2.9%	5.7%
	③その他	10.0%	18.6%	14.6%	11.4%
	④利用していない	83.2%	70.5%	76.6%	77.3%
(10) 沖美ふれあいセンター	①趣味などの自主グループ活動	0.4%	3.3%	8.8%	1.3%
	②自治会、女性会、老人クラブ、PTA等の地域活動	2.0%	3.3%	15.3%	2.7%
	③その他	3.1%	5.7%	25.5%	4.7%
	④利用していない	92.7%	89.0%	51.1%	88.0%
(11) 子育て支援センター、児童館	①趣味などの自主グループ活動	0.9%	1.4%	1.5%	1.0%
	②自治会、女性会、老人クラブ、PTA等の地域活動	1.8%	0.5%	0.7%	0.0%
	③その他	3.3%	4.3%	1.5%	3.7%
	④利用していない	93.1%	93.3%	94.9%	93.6%
有効回答数	合計(件)	452	210	137	299

【設問 5 - 2】

庁舎施設の利用目的は。

庁舎施設の利用目的は、消防本部を除くと「各種証明書の発行手続き」が最も多く、次いで「税金や保険料などの納付手続き」、「許認可の申請や届出」が多くなっています。また、居住地区別にみても同様の傾向となっています。

図 16 庁舎施設の利用目的（複数回答可）

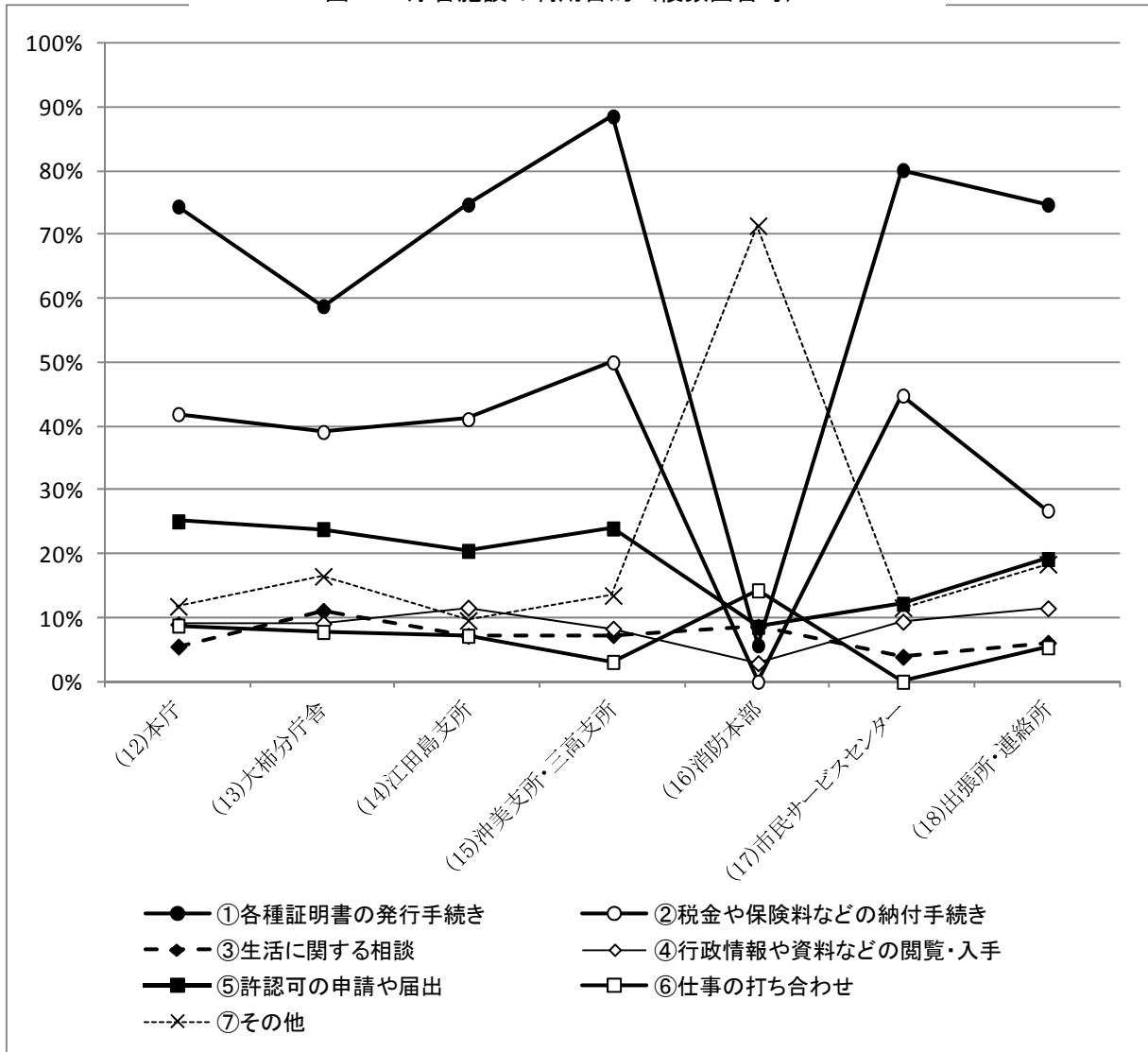


表6 居住地区別にみる庁舎の施設の利用目的（複数回答可）

回答項目	回答者の居住地区				
	江田島町	能美町	沖美町	大柿町	
(12) 本庁	①各種証明書の発行手続き	17.3%	61.4%	15.3%	22.1%
	②税金や保険料などの納付手続き	7.7%	35.7%	15.3%	11.4%
	③生活に関する相談	0.7%	4.8%	1.5%	2.3%
	④行政情報や資料などの閲覧・入手	1.3%	8.6%	3.6%	2.3%
	⑤許認可の申請や届出	4.9%	22.9%	7.3%	6.4%
	⑥仕事の打ち合わせ	3.1%	4.3%	2.9%	2.7%
	⑦その他	2.7%	6.2%	5.1%	4.7%
	⑧利用していない	71.5%	26.7%	66.4%	65.6%
(13) 大柿分庁舎	①各種証明書の発行手続き	1.5%	3.8%	0.0%	42.5%
	②税金や保険料などの納付手続き	0.7%	1.9%	0.7%	29.1%
	③生活に関する相談	1.3%	0.5%	0.0%	6.7%
	④行政情報や資料などの閲覧・入手	0.4%	0.5%	0.0%	6.4%
	⑤許認可の申請や届出	2.0%	3.3%	2.2%	13.0%
	⑥仕事の打ち合わせ	1.5%	2.4%	1.5%	1.7%
	⑦その他	0.7%	1.9%	2.9%	8.7%
	⑧利用していない	91.6%	87.6%	91.2%	37.5%
(14) 江田島支所	①各種証明書の発行手続き	46.2%	1.0%	0.0%	1.7%
	②税金や保険料などの納付手続き	25.2%	0.5%	0.7%	1.3%
	③生活に関する相談	4.2%	0.5%	0.0%	0.3%
	④行政情報や資料などの閲覧・入手	6.2%	1.9%	0.0%	0.7%
	⑤許認可の申請や届出	12.2%	1.0%	0.7%	0.7%
	⑥仕事の打ち合わせ	3.3%	1.9%	1.5%	0.0%
	⑦その他	3.8%	1.0%	2.2%	1.7%
	⑧利用していない	38.7%	92.9%	92.0%	93.6%
(15) 沖美支所・三高支所	①各種証明書の発行手続き	0.0%	0.0%	61.3%	0.3%
	②税金や保険料などの納付手続き	0.0%	0.0%	33.6%	0.3%
	③生活に関する相談	0.0%	0.0%	5.1%	0.0%
	④行政情報や資料などの閲覧・入手	0.0%	0.0%	5.8%	0.0%
	⑤許認可の申請や届出	0.0%	0.0%	16.1%	0.3%
	⑥仕事の打ち合わせ	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%
	⑦その他	0.0%	0.5%	8.0%	0.3%
	⑧利用していない	98.7%	98.6%	28.5%	98.0%
(16) 消防本部	①各種証明書の発行手続き	0.0%	0.0%	0.7%	0.3%
	②税金や保険料などの納付手続き	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	③生活に関する相談	0.4%	0.5%	0.0%	0.0%
	④行政情報や資料などの閲覧・入手	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	⑤許認可の申請や届出	0.4%	0.0%	0.0%	0.3%
	⑥仕事の打ち合わせ	0.4%	1.0%	0.7%	0.0%
	⑦その他	2.9%	2.4%	2.9%	1.0%
	⑧利用していない	94.9%	95.7%	94.2%	97.0%
(17) 市民サービスセンター	①各種証明書の発行手続き	16.2%	7.1%	8.8%	15.1%
	②税金や保険料などの納付手続き	8.6%	2.9%	5.1%	9.7%
	③生活に関する相談	0.7%	0.5%	0.0%	1.0%
	④行政情報や資料などの閲覧・入手	1.1%	1.4%	2.2%	2.0%
	⑤許認可の申請や届出	1.8%	0.5%	2.2%	3.3%
	⑥仕事の打ち合わせ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	⑦その他	2.2%	1.4%	0.7%	2.3%
	⑧利用していない	77.2%	89.0%	87.6%	77.6%
(18) 出張所・連絡所	①各種証明書の発行手続き	25.7%	19.5%	2.9%	10.7%
	②税金や保険料などの納付手続き	10.2%	6.7%	1.5%	2.7%
	③生活に関する相談	1.8%	1.0%	0.0%	1.7%
	④行政情報や資料などの閲覧・入手	4.2%	2.4%	0.7%	1.7%
	⑤許認可の申請や届出	5.8%	5.2%	1.5%	3.3%
	⑥仕事の打ち合わせ	0.9%	2.9%	0.0%	1.3%
	⑦その他	6.9%	1.9%	2.2%	3.0%
	⑧利用していない	61.9%	74.3%	89.8%	81.6%
有効回答数	合計(件)	452	210	137	299

4 今後の公共施設のあり方

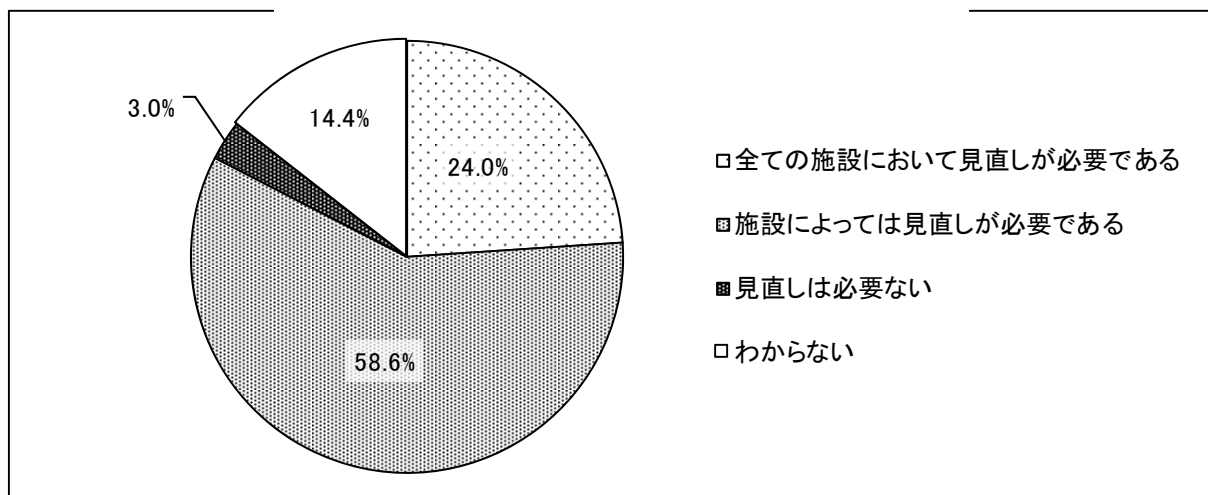
(1) 公共施設の見直しについて

【設問 6】

江田島市にある 200 棟以上の公共施設について、何らかの見直しが必要だと思いますか。

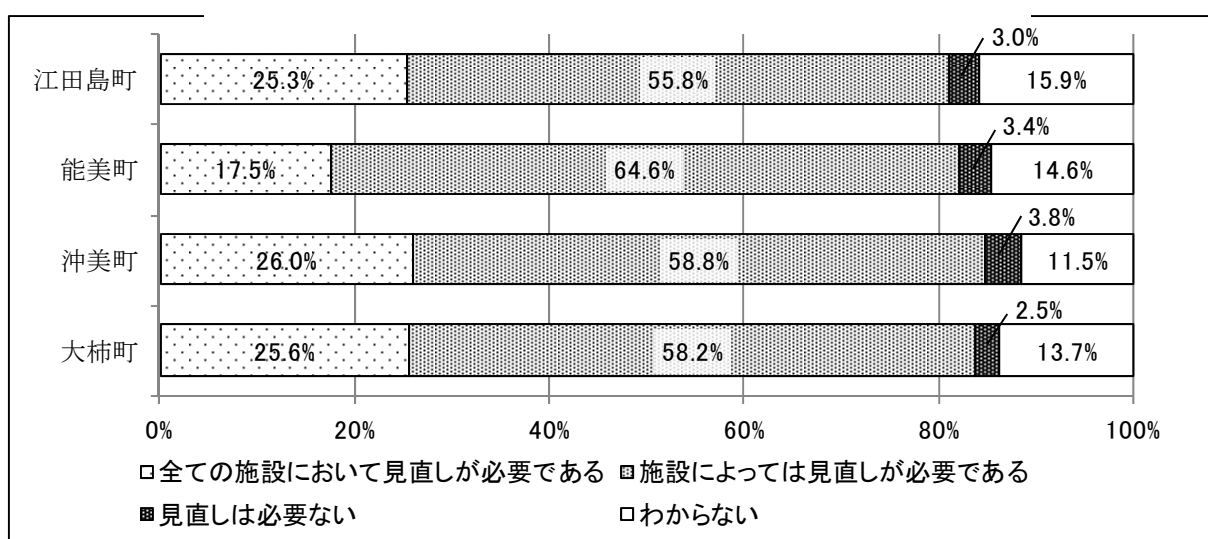
市の公共施設の見直しについて、「施設によっては見直しが必要である」とする回答が半数以上、「全ての施設において見直しが必要である」という回答が 24.0% であることから、何らかの見直しが必要とする意見が多くを占めていると考えられます。

図 17 公共施設の見直しについて



居住地区別にみても、全ての地区において「何らかの見直しが必要」とする意見が多くなっています。能美町では、「施設によっては見直しが必要である」とする回答が他の地区よりもやや高く、逆に「全ての施設において見直しが必要である」とする回答がやや低くなっています。

図 18 居住地区別にみる公共施設の見直しについて



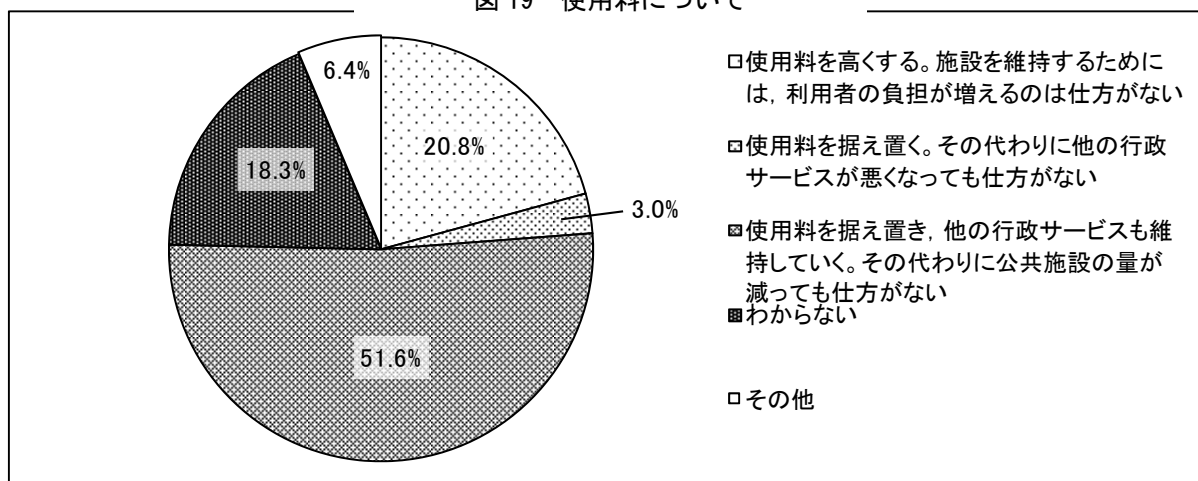
(2) 使用料について

【設問 7】

今ある公共施設を維持し続けるとしたら何らかの財源が必要になります。
 その場合、施設の使用料をどのようにしていくべきだと思いますか。
 あなたの考えに最も近いものをお答えください。

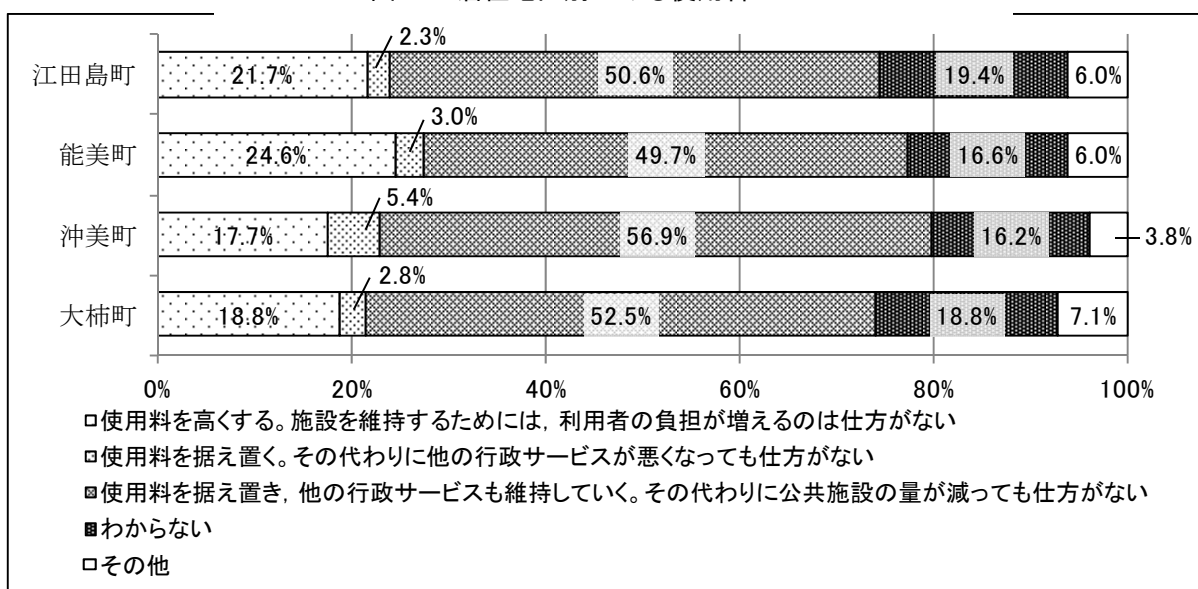
施設の使用料については、「使用料を高くする。施設を維持するためには、利用者の負担が増えるのは仕方がない」という選択肢を選ぶ回答が 20.8% だったのに対して、「使用料を据え置き、他の行政サービスも維持していく。その代わりに公共施設の量が減っても仕方がない」が 51.6%、「使用料を据え置く。その代わりに他の行政サービスが悪くなっても仕方がない」が 3.0% と、全回答者の約半数が「使用料の据え置き」がよいと回答しており、その代わりに公共施設の数減らしても仕方がないのではと考えておられるようです。ただし「わからない」や「その他」も合わせて 24.7% あります。

図 19 使用料について



居住地区別にみると、4 地区とも「使用料を据え置き、他の行政サービスも維持していく。その代わりに公共施設の量が減っても仕方がない」という回答が約半数を占めています。

図 20 居住地区別にみる使用料について



(3) 減らすべき公共施設

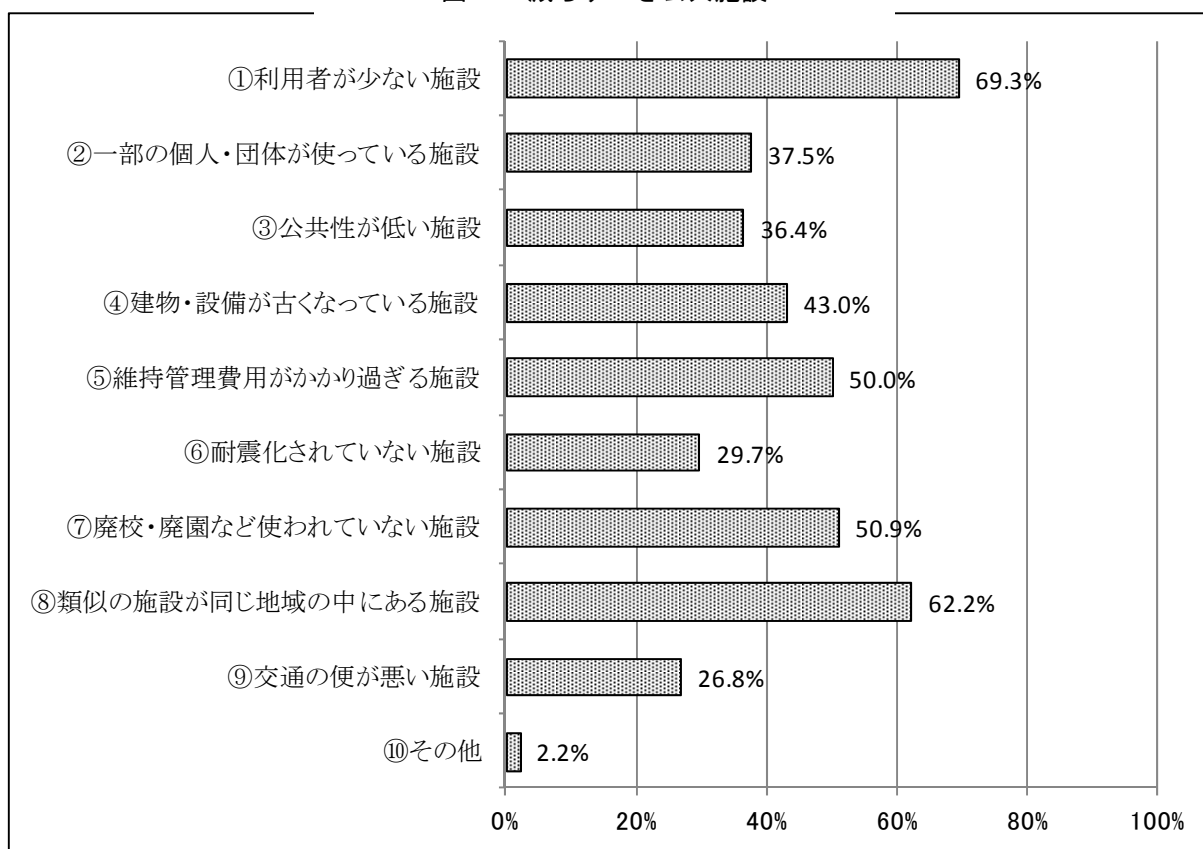
【設問 8】

将来的に公共施設を減らしていくとしたら、どのような公共施設を減らしていくべきだと考えますか。

あなたの考えに最も近いものをお答えください（最大で5つまで選択）。

もし減らすとすればどのような公共施設かという設問に対して、「利用者の少ない施設」、「類似の施設が同じ地域の中にある施設」という回答が6割を超えています。また「維持管理費用がかかり過ぎる施設」、「廃校・廃園など使われていない施設」という回答も約半数となっています。

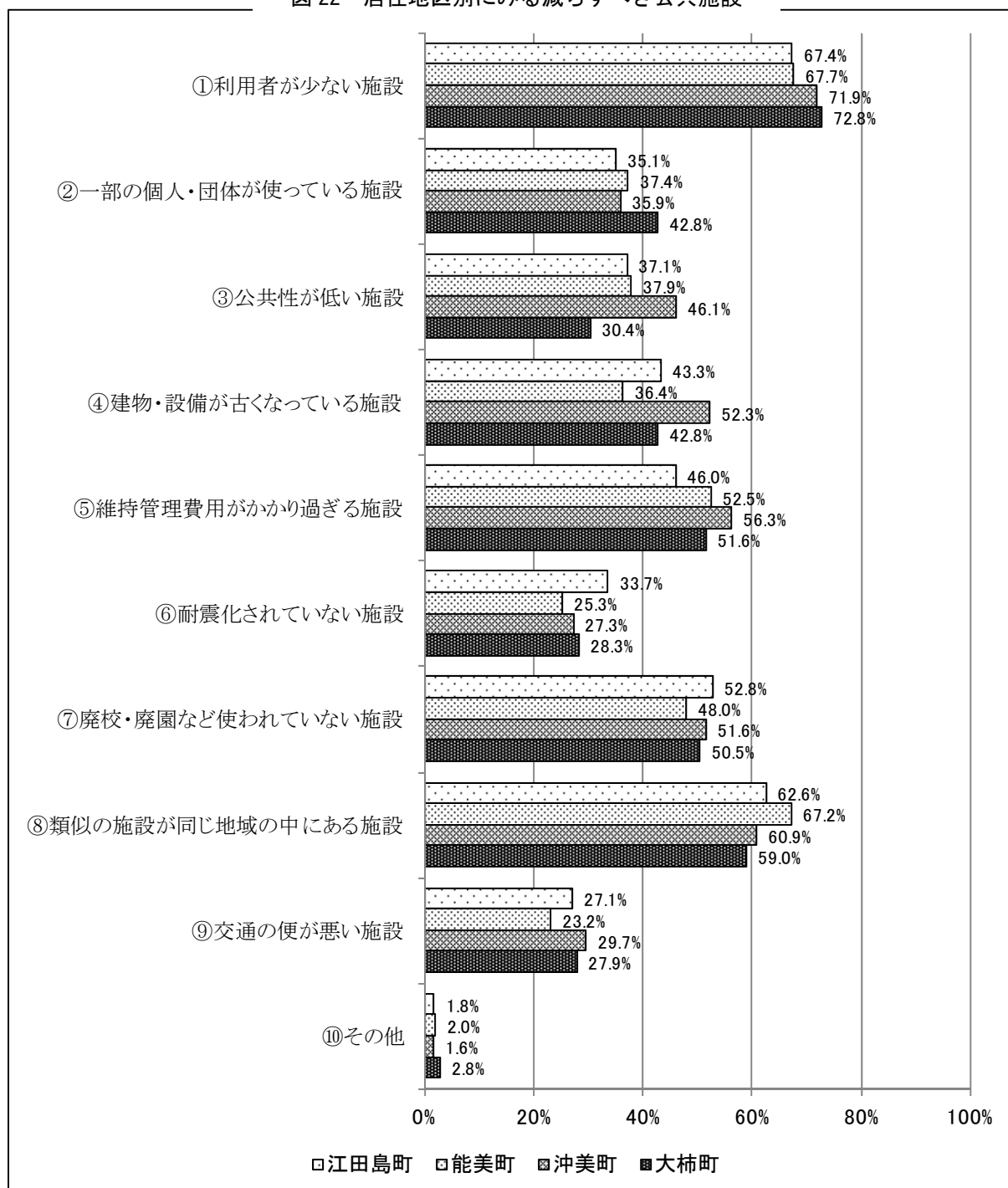
図 21 減らすべき公共施設



居住地区別にみると、「利用者の少ない施設」、「類似の施設が同じ地域の中にある施設」という回答が6割を超え、また「維持管理費用がかかり過ぎる施設」、「廃校・廃園など使われていない施設」という回答も約半数あります。

江田島町では「耐震化されていない施設」、「廃校・廃園など使われていない施設」という回答が他の地区よりも多くなっています。能美町では「類似の施設」という回答がやや多い一方、「建物・設備が古くなっている施設」という回答はやや少なくなっています。沖美町では、「公共性の低い施設」、「建物・設備が古くなっている施設」、「維持管理費用がかかり過ぎる施設」という回答が他の地区よりも多くなっています。大柿町では「一部の個人・団体が使っている施設」という回答がやや多い一方、「公共性の低い施設」という回答がやや少なくなっています。

図 22 居住地区別にみる減らすべき公共施設



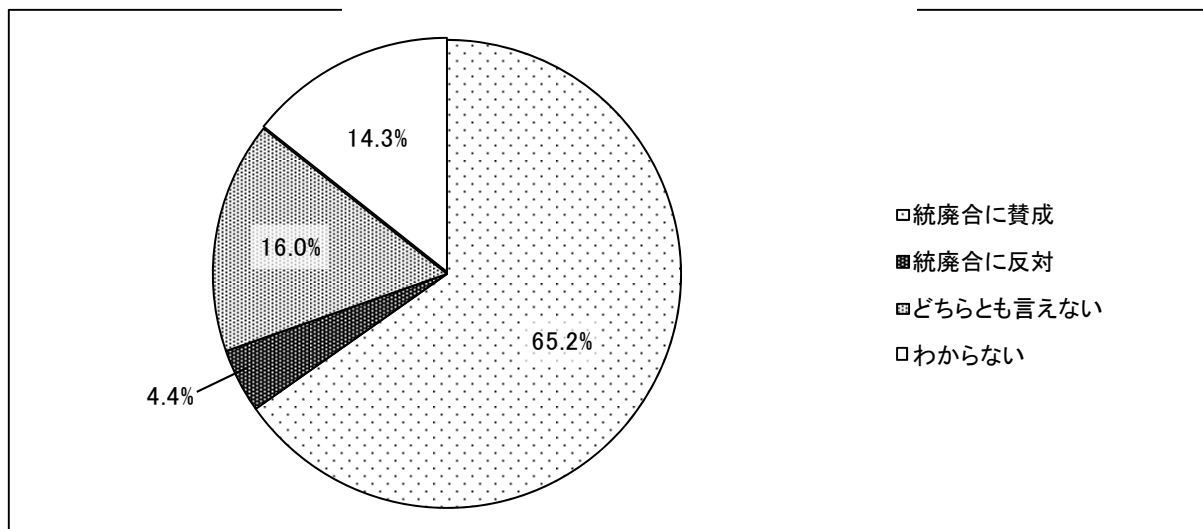
(4) 公共施設の統廃合について

【設問 9】

公共施設の統廃合について、あなたはどのように考えますか。

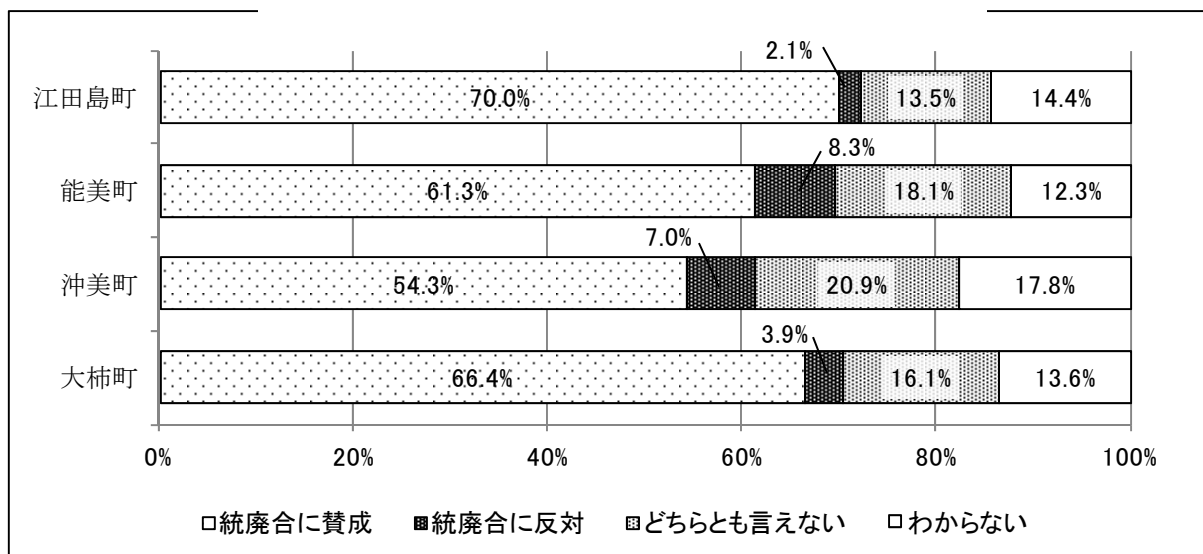
公共施設の統廃合について、「統廃合に賛成」という回答が 65.2%と最も多くなっています。「統廃合に反対」という回答は 4.4%と、賛成の回答と比べてかなり少ないですが、他方、「どちらとも言えない」16.0%、「わからない」14.3%という統廃合に慎重な意見も、回答者全体の約3割あります。

図 23 公共施設の統廃合について



居住地区別にみると、「統廃合に賛成」という回答はいずれの地区でも最も高くなっていますが、沖美町は他の地区と比べて低く「どちらとも言えない」という回答が多くなっています。

図 24 居住地区別にみる公共施設の統廃合について



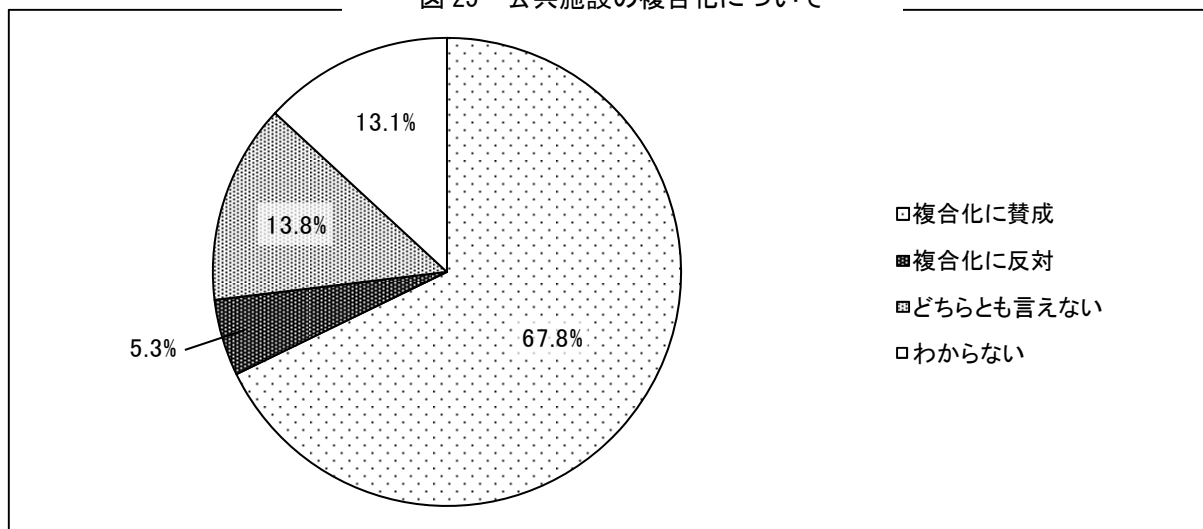
(5) 公共施設の複合化について

【設問 10】

公共施設の複合化について、あなたはどのように考えますか。

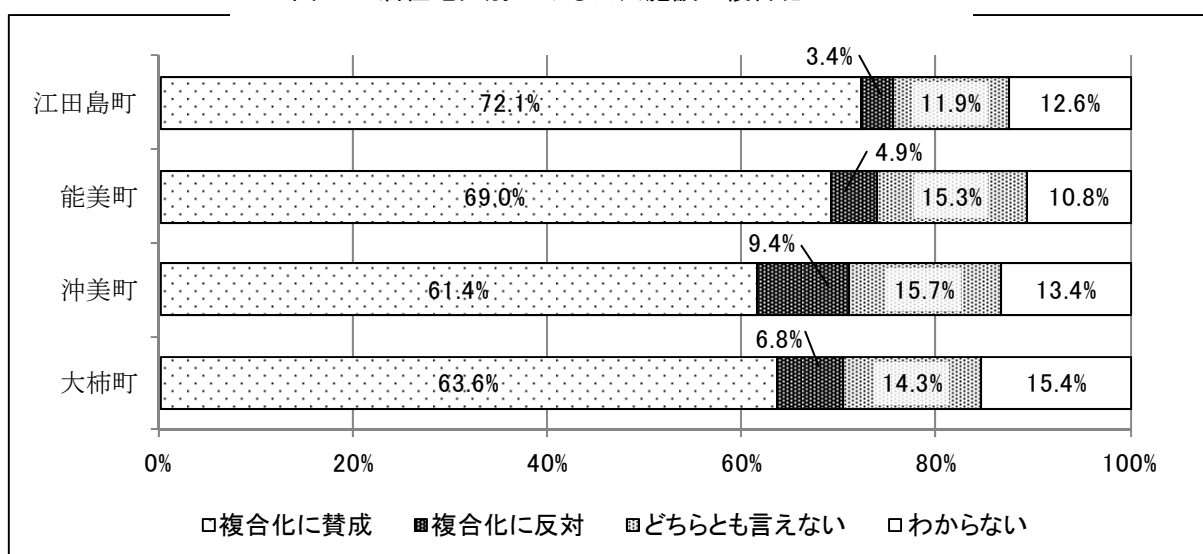
公共施設の複合化については、「複合化に賛成」という回答が 67.8%と最も多くなっていますが、設問 9「公共施設の統廃合」と同様に、「どちらとも言えない」13.8%、「わからない」13.1%と、回答者全体の約 1 / 4 が複合化に慎重な回答をしています。

図 25 公共施設の複合化について



居住地区別にみると、「複合化に賛成」という回答がどの地区でも最も多くなっていますが、沖美町ではその割合はやや低くなり「複合化に反対」という回答がやや高くなっています。

図 26 居住地区別にみる公共施設の複合化について



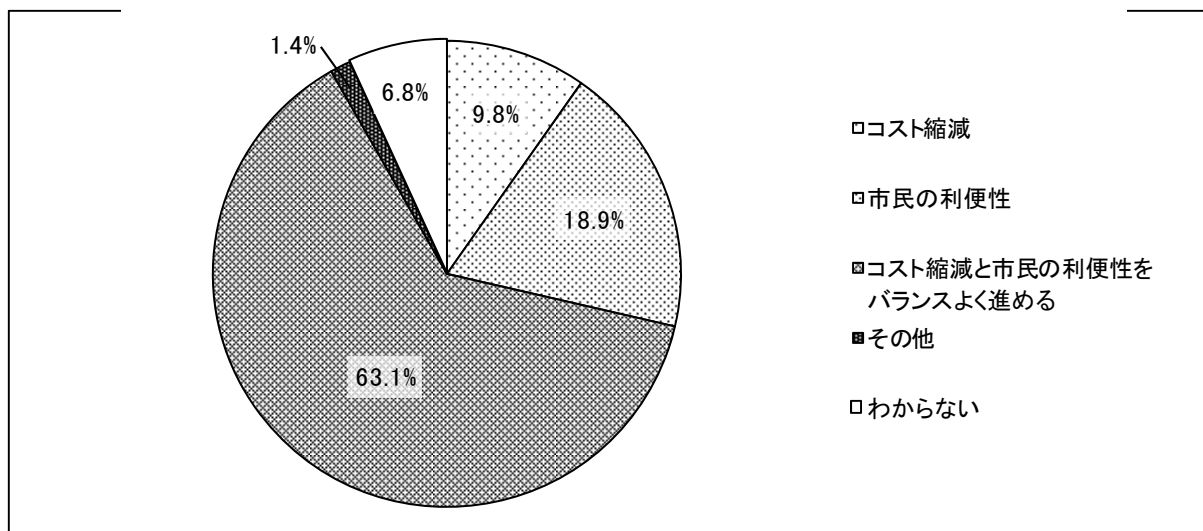
(6) 今後の公共施設のあり方を考える上で最も大切なこと

【設問 11】

今後の公共施設のあり方を考える上で、最も大切なことは何ですか。

今後の公共施設のあり方を考える上で、最も大切なことは何かについては、「コスト削減と市民の利便性をバランスよく進める」とする回答が 63.1%と最も多く、その後「市民の利便性」18.9%、「コスト削減」9.8%がつづきます。

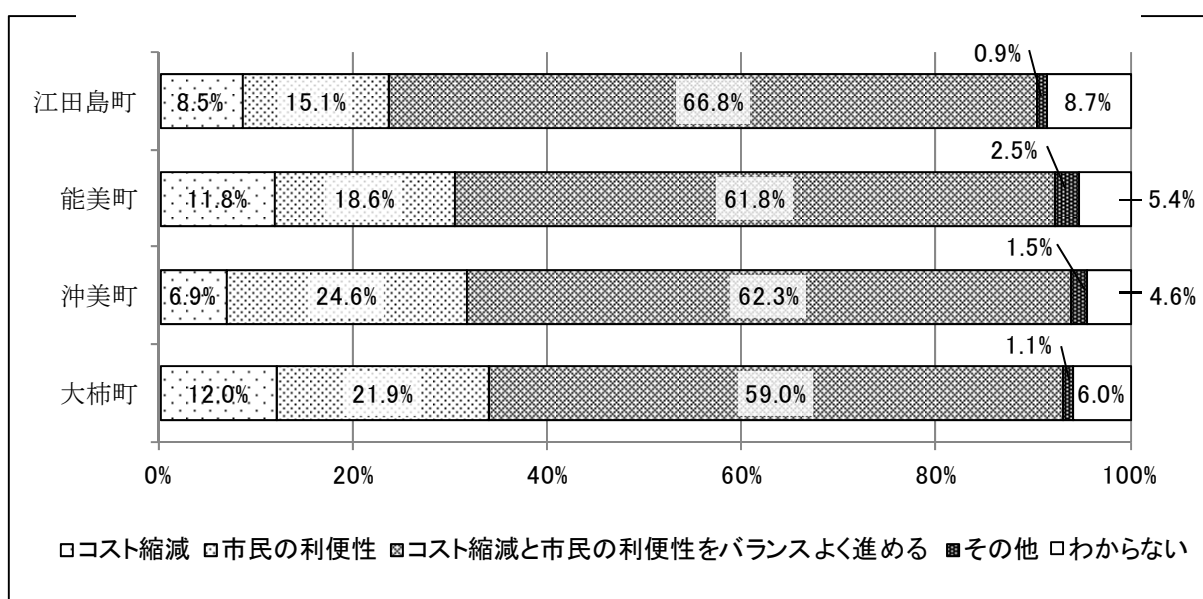
図 27 今後の公共施設のあり方を考える上で最も大切なこと



居住地区別にみると「コスト削減と市民の利便性をバランスよく進める」とする回答が各地区とも約6割を占めています。

沖美町では「市民の利便性」という回答も2割強を占めています。

図 28 居住地区別にみる今後の公共施設のあり方を考える上で最も大切なこと



(7) 自由意見

【設問12】

その他、今後の公共施設のあり方について、ご意見がありましたらご自由に記入してください。

自由意見は、合計で330件（複数記述を含む）寄せられました。「公共施設の再編・検討に関する意見」が122件（36.4%）で最も多く、次いで「行政や施策に関する意見」が57件（17.3%）、「公共施設の運営管理方法の見直しを求める意見」が50件（15.2%）、「公共施設の整備・充実を求める意見」が36件（10.9%）などとなっています。

細分類毎にみると、「施設の統廃合・複合化に肯定的な意見」が56件（17.0%）で最も多く、次いで「行政の体制に関する意見」が28件（8.5%）、「地域性・地区バランスに配慮した再編の検討」が18件（5.5%）などとなっています。

表 自由意見の分類

(1/2)

意見分類	件数
公共施設の運営管理方法の見直しを求める意見	50
使い方の工夫や利用手続きなどの見直しによる利便性向上	8
使用料が高い、値上げへの反対	8
使用料の受益者負担、値上げに賛成	6
使用料の一体化、バランスを考えた見直し	5
無駄、コストの削減	5
イベントや催しの充実	4
地域管理の導入を検討	3
その他運営管理方法・利用などに関する意見	11
公共施設の再編・検討に関する意見	122
施設の複合化・多目的化に肯定的な意見	56
地域性・地区バランスに配慮した再編の検討	18
利用者視点での再編の検討	12
施設の必要性の精査	10
交通アクセス（高齢者等）を考えた再編の検討	6
市民意見の尊重・議論のオープン化	5
デザインや建物の簡素化（新規整備時など）	3
再編・検討に関するその他の意見	12
公共施設の有効活用を求める意見	27
用途廃止施設の活用検討	10
用途廃止施設の民間への売却・貸出	7
用途廃止施設の解体と跡地活用	5
耐震化などでの既存建物の継続利用	5

表 自由意見の分類

(2/2)

意見分類	件数
公共施設の整備・充実を求める意見	36
防災・避難施設，総合病院の整備	8
子ども向け施設の整備・充実	6
集会所の建替え・改修・設備充実	4
図書館の機能充実	3
その他の施設の新規整備	9
その他既存施設の充実（支所，公民館など）	6
公共施設の整備抑制を求める意見	11
公共施設建設の抑制	6
新庁舎建設への反対	5
公共施設に関する情報発信を求める意見	9
交通アクセスの充実を求める意見（公共施設へ以外も含む）	6
行政や施策に関する意見	57
行政の体制に関する意見	28
将来を考えた計画，行動の必要性に関する意見	6
人口増加への施策の必要性に関する意見	4
その他の施策に関する意見	5
アンケートに関する意見	7
行政や施策に関するその他の意見	7
その他の意見	12
合計	330

江田島市公共施設白書
平成25年3月

発行：江田島市

編集：江田島市総務部政策推進室

〒737-2392 江田島市能美町中町4859番地9

電 話 0823-40-2778(直)

ファクス 0823-40-2072

<http://www.city.etajima.hiroshima.jp/>
